

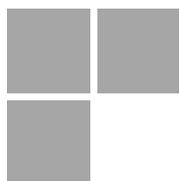
子どものいる世帯の生活状況等に関する調査

結果報告書

令和3年3月
ふじみ野市

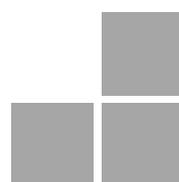
目 次

第1章 保護者向け調査	1
調査の概要	3
1. 世帯のことについて	4
2. 世帯の就労や収入のことについて	7
3. お子さんのことについて	15
4. あなたのことについて	17
5. お子さんのいる世帯への支援のあり方について	23
第2章 児童・生徒向け調査	41
調査の概要	43
1. あなたの家族のことについて	44
2. あなたのことについて	46
3. 学校や勉強のことについて	51
4. あなたが考えていることについて	58
第3章 ヒアリング調査	67
調査の概要	69



第1章

保護者向け調査



調査の概要

1. 調査の目的

0歳から令和3年4月1日までに18歳になるお子さんがいらっしゃる保護者の方から、経済的な状況やお子さんの様子、子育て世帯への支援等のご意見をお伺いし、「第2期ふじみ野市子どもの未来応援プラン(第2期ふじみ野市子どもの貧困対策推進計画)」策定のための基礎資料とするために実施しました。

2. 調査対象者

0歳から令和3年4月1日までに18歳になるお子さんがいらっしゃる一般世帯保護者(無作為抽出)、公的支援世帯(児童扶養手当受給世帯(全世帯)、生活保護世帯(全世帯))

3. 調査方法、実施期間

調査方法：郵送配布、郵送回収

実施期間：令和2年7月2日(木) ～ 令和2年7月20日(月)

4. 回収率

地 区	配布件数	有効回収件数	有効回収率
一般世帯	1,271 票	678 票	53.3%
公的支援世帯(全世帯)	729 票	310 票	42.4%
合 計	2,450 票	988 票	49.4%

5. 報告書を読むにあたっての留意点

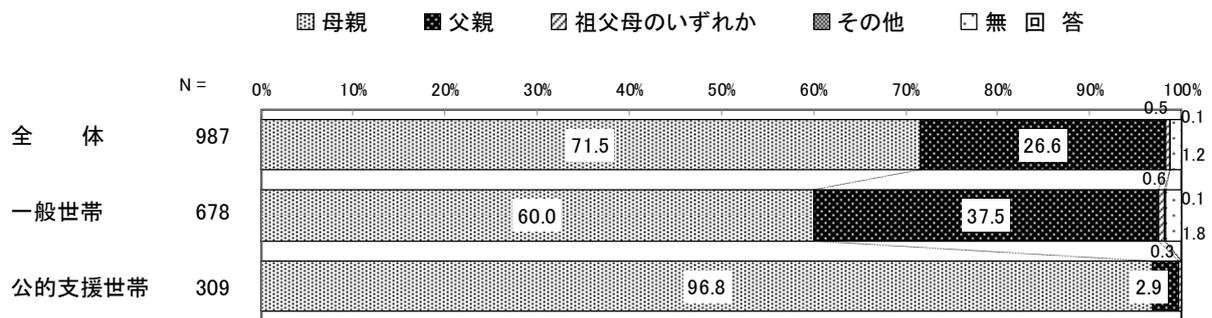
- 「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比(百分率)で表しています。
- 「N」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。
- 百分率による集計では、回答者数を100%として算出し、本文及び図表の数字に関しては、全て小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表記しています。このため、全ての割合の合計が100%にならないことがあります。
また、複数回答(2つ以上選択)の設問では、全ての割合の合計が100%を超えることがあります。
- 図表中の「0.0」は、四捨五入の結果又は回答者が皆無であることを表します。
- クロス集計グラフでは、見やすさを優先し「0.0%」の数値表示を省略しているものがあります。

1. 世帯のことについて

問1 0歳から令和3年4月1日までに18歳になるお子さんのうち一番上のお子さんからみた、あなたの続柄について教えてください。(〇は1つだけ)

回答者の子どもとの続柄については、一般世帯では「母親」が60.0%、「父親」が37.5%、公的支援世帯では、「母親」が96.8%、「父親」が2.9%となっています。

問1 調査対象の一番上のお子さんからみた続柄[%]

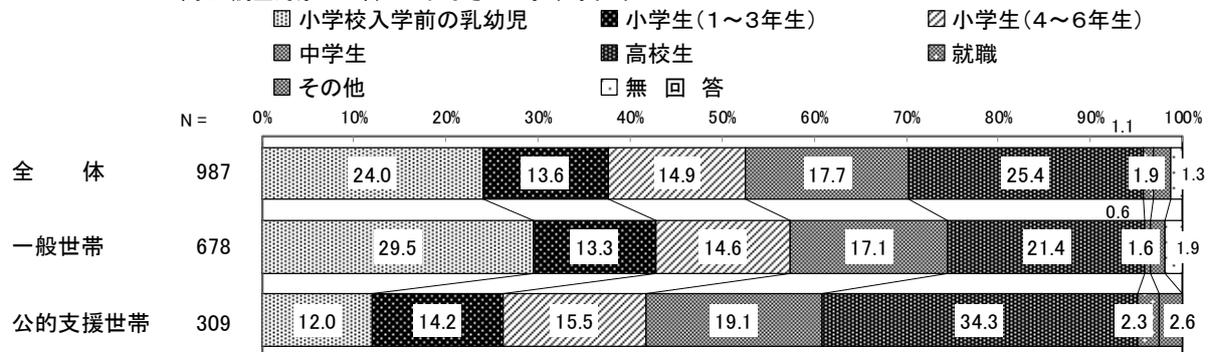


問2 0歳から令和3年4月1日までに18歳になるお子さんのうち一番上のお子さんの学年等について教えてください。また、0歳から令和3年4月1日までに18歳になるお子さんは、全部で何人いらっしゃいますか。(〇は1つだけ)

【①一番上の子どもの学年】

一番上の子どもの学年については、一般世帯では「小学校入学前の乳幼児」が29.5%、「高校生」が21.4%、「中学生」が17.1%の順となっています。また、公的支援世帯では、「高校生」が34.3%、「中学生」が19.1%、「小学生(4～6年生)」が15.5%の順となっています。

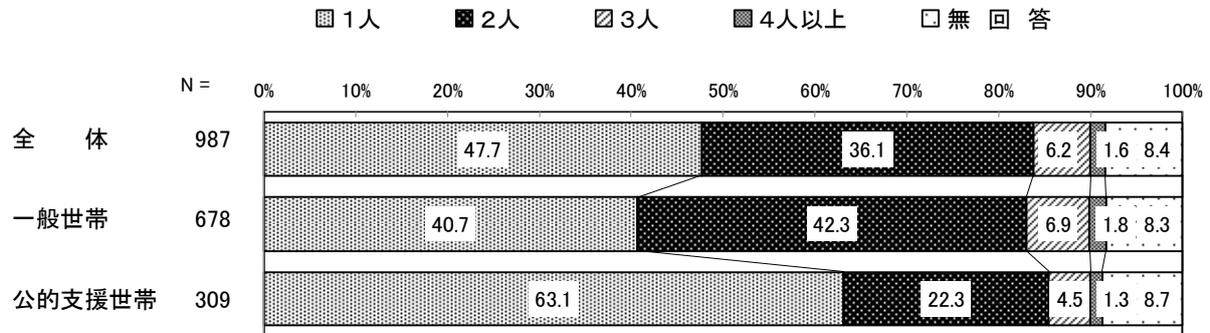
問2 調査対象の一番上のお子さんの学年等[%]



【②18歳までの子どもの人数】

18歳までの子どもの人数については、一般世帯では「2人」が42.3%、「1人」が40.7%、「3人」が6.9%の順となっています。また、公的支援世帯では、「1人」が63.1%、「2人」が22.3%、「3人」が4.5%の順となっています。

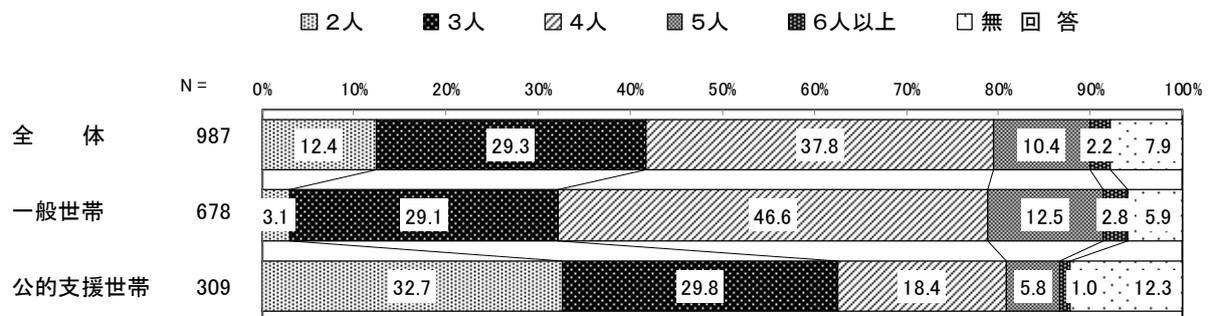
問2 調査対象世帯の18歳まで児童数[%]



問3 普段一緒にお住まいで、生計を共にしている方は回答者ご自身も含めて何人ですか。

普段一緒に住んでいて、生計を共にしている人数については、一般世帯では「4人」が46.6%、「3人」が29.1%、「5人」が12.5%の順となっています。また、公的支援世帯では、「2人」が32.7%、「3人」が29.8%、「4人」が18.4%の順%となっています。

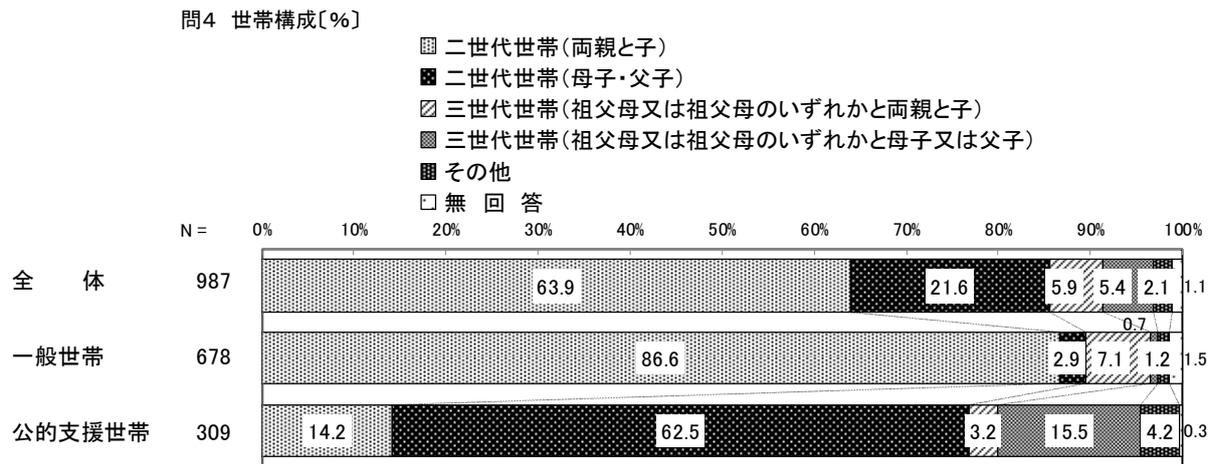
問3 普段一緒にお住まいで、生計を共にしている方の人数[%]



問4 世帯構成について教えてください。(○は1つだけ)

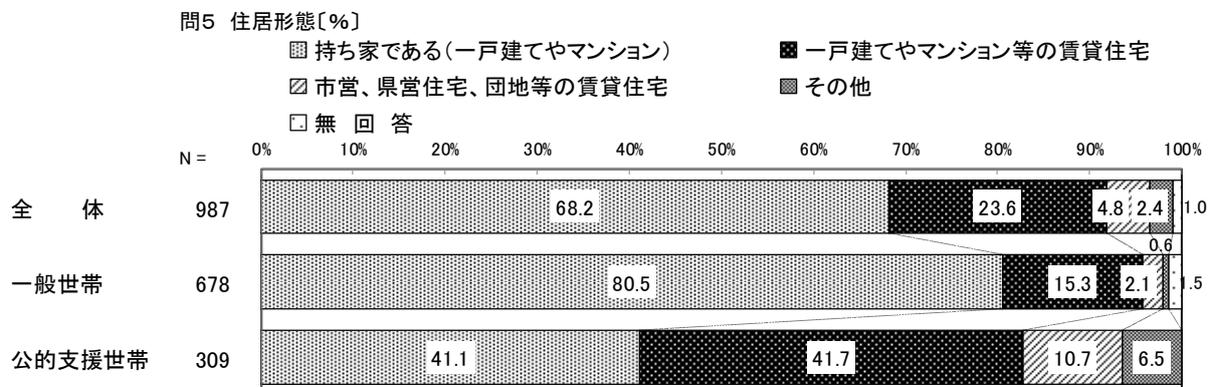
世帯構成については、一般世帯では「二世帯世帯(両親と子)」が86.6%、「三世帯世帯(祖父母又は祖父母のいずれかと両親と子)」が7.1%、「二世帯世帯(母子・父子)」が2.9%の順となっています。また、公的支援世帯では、「二世帯世帯(母子・父子)」が62.5%、「三世帯世帯(祖父母又は祖父母のいずれかと母子又は父子)」が15.5%、「二世帯世帯(両親と子)」が14.2%の順となっています。

公的支援世帯では、二世帯及び三世帯の母子・父子家庭が78.0%と約8割となっています。



問5 お住まいの形態について教えてください。(○は1つだけ)

住まいの形態については、一般世帯では「持ち家である(一戸建てやマンション)」が80.5%、「一戸建てやマンション等の賃貸住宅」が15.3%、「市営、県営住宅、団地等の賃貸住宅」が2.1%の順となっています。また、公的支援世帯では、「一戸建てやマンション等の賃貸住宅」が41.7%、「持ち家である(一戸建てやマンション)」が41.1%、「市営、県営住宅、団地等の賃貸住宅」が10.7%の順となっています。



2. 世帯の就労や収入のことについて

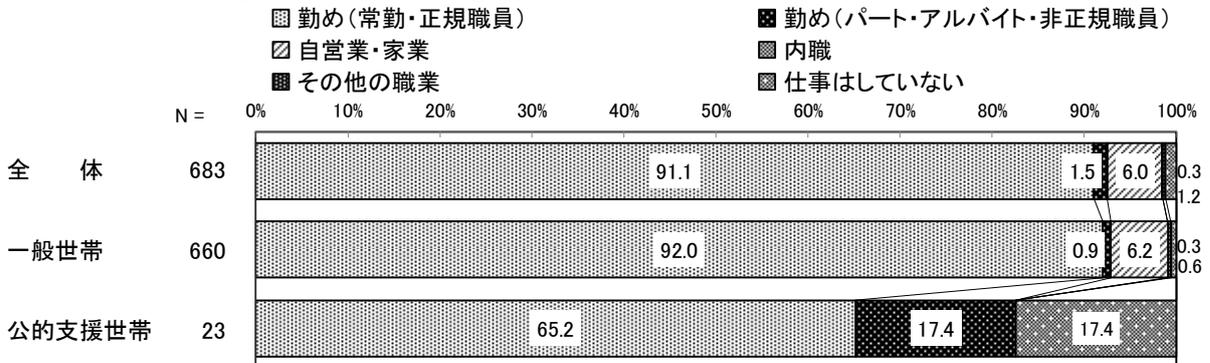
問6 お子さんのお父さんとお母さんの現在の主たる就業状況について教えてください。(それぞれ1つずつ)

【①父親】

父親の就業状況については、一般世帯では「勤め(常勤・正規職員)」が92.0%、「自営業・家業」が6.2%、「勤め(パート・アルバイト・非正規職員)」が0.9%の順となっています。また、公的支援世帯では、「勤め(常勤・正規職員)」が65.2%、「勤め(パート・アルバイト・非正規職員)」、「仕事はしていない」がともに17.4%となっています。

公的支援世帯は、一般世帯に比べ、「勤め(パート・アルバイト・非正規職員)」、「仕事はしていない」が高くなっています。

問6 現在の主たる就業状況<①父親>[%]

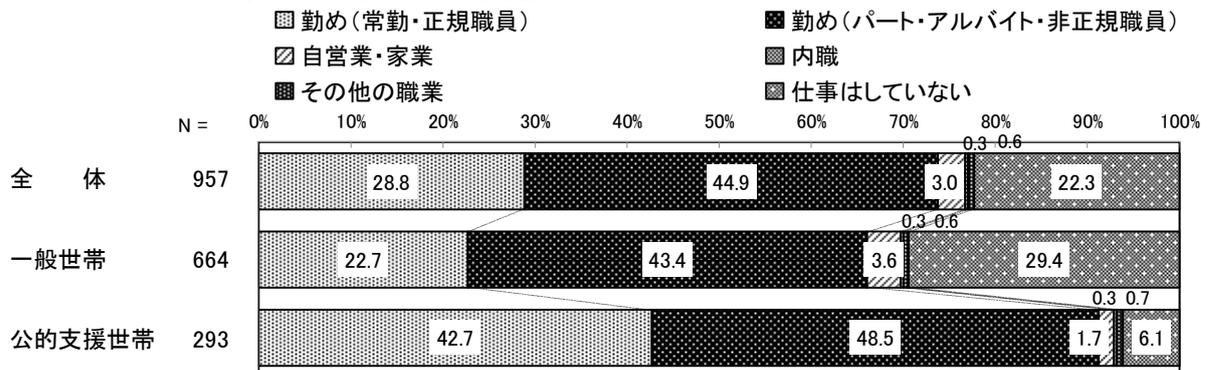


【②母親】

母親の就業状況については、一般世帯では「勤め(パート・アルバイト・非正規職員)」が43.4%、「仕事はしていない」が29.4%、「勤め(常勤・正規職員)」が22.7%の順となっています。また、公的支援世帯では、「勤め(パート・アルバイト・非正規職員)」が48.5%、「勤め(常勤・正規職員)」が42.7%、「仕事はしていない」が6.1%となっています。

公的支援世帯は、一般世帯に比べ、「勤め(常勤・正規職員)」が高くなっています。

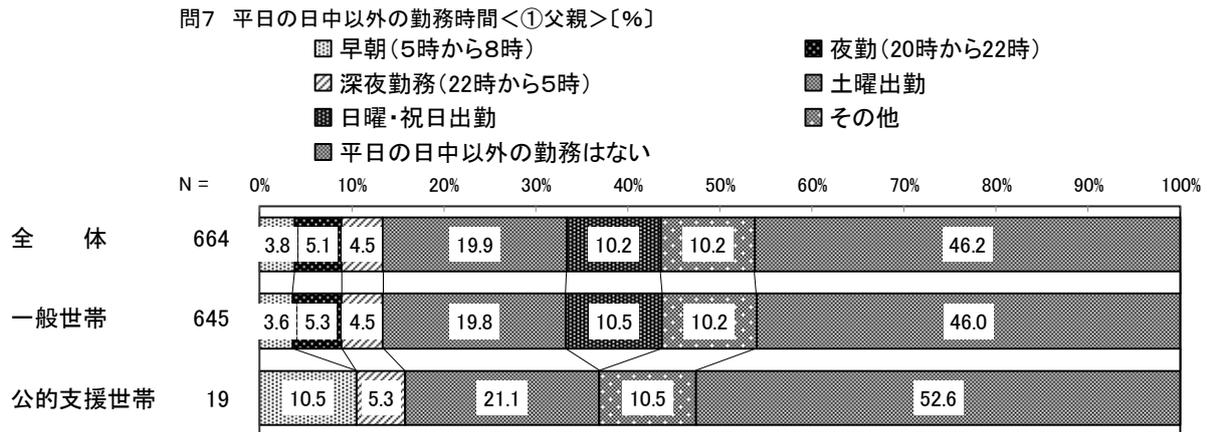
問6 現在の主たる就業状況<②母親>[%]



問7 お子さんのお父さんとお母さんの平日の日中以外の主たる勤務時間がありますか。(それぞれ1つずつ)

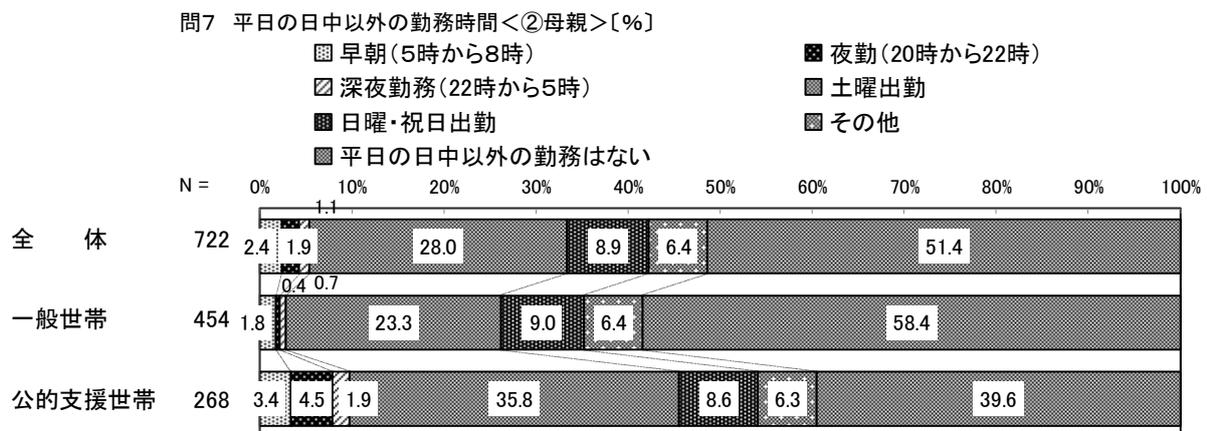
【①父親】

父親の平日の日中以外の主たる勤務時間については、一般世帯では「土曜出勤」が19.8%、「日曜・祝日出勤」が10.5%の順となっています。なお、「平日の日中以外の勤務はない」は46.0%です。また、公的支援世帯では、「土曜出勤」が21.1%、「早朝(5時から8時)」、「その他」がともに10.5%の順となっています。なお、「平日の日中以外の勤務はない」は52.6%です。



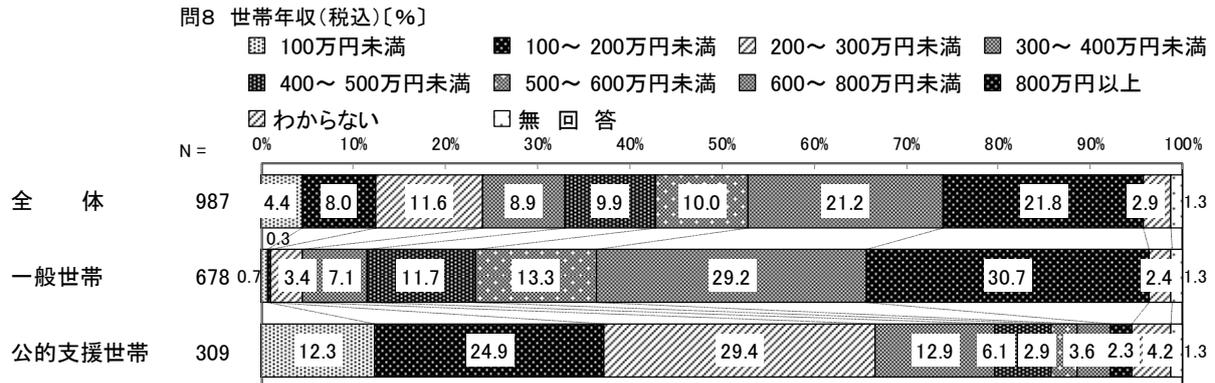
【②母親】

母親の平日の日中以外の主たる勤務時間については、一般世帯では「土曜出勤」が23.3%、「日曜・祝日出勤」が9.0%の順となっています。なお、「平日の日中以外の勤務はない」は58.4%です。また、公的支援世帯では、「土曜出勤」が35.8%、「日曜・祝日出勤」が8.6%の順となっています。なお、「平日の日中以外の勤務はない」は39.6%です。



問8 お子さんと生計を共にしている世帯全員の方の、昨年（2019年1月から12月）のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。（〇は1つだけ）

世帯全員の年間収入については、一般世帯では「800万円以上」が30.7%、「600から800万円未満」が29.2%、「500～600万円未満」が13.3%の順となっています。また、公的支援世帯では、「200～300万円未満」が29.4%、「100～200万円未満」が24.9%、「300～400万円未満」が12.9%となっています。



一般世帯

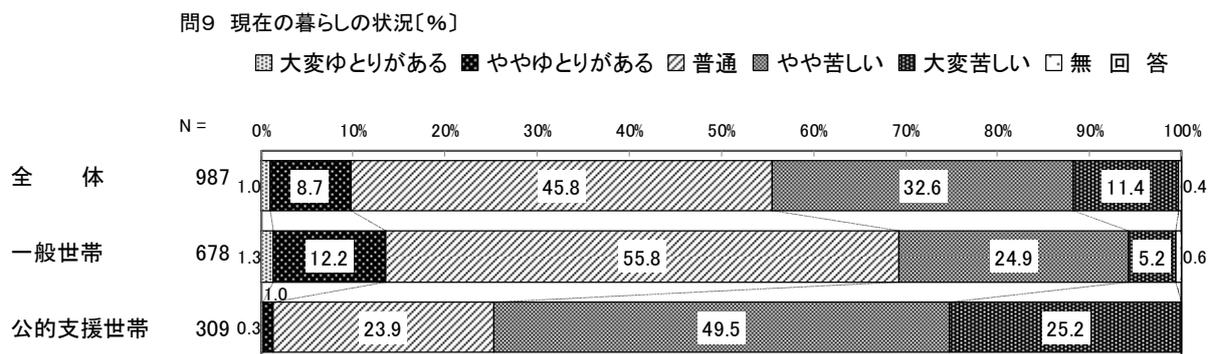
順位	世帯年収	割合
1	800万円以上	30.7
2	600～800万円未満	29.2
3	500～600万円未満	13.3
4	400～500万円未満	11.7
5	300～400万円未満	7.1

公的支援世帯

順位	世帯年収	割合
1	200～300万円未満	29.4
2	100～200万円未満	24.9
3	300～400万円未満	12.9
4	100万円未満	12.3
5	400～500万円未満	6.1

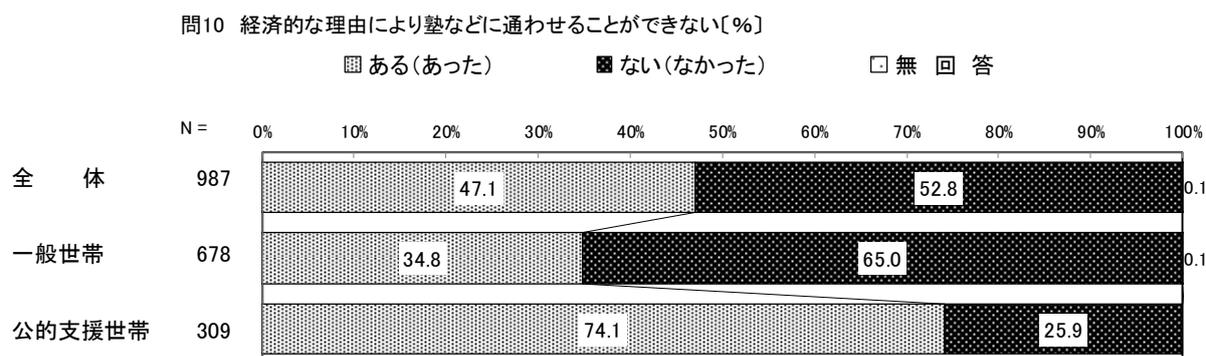
問9 あなたの世帯の現在の暮らしの状況について、どのように感じていますか。（〇は1つだけ）

暮らしの状況については、一般世帯では「普通」が55.8%、「やや苦しい」と「大変苦しい」を合わせた『苦しい』は30.1%、「大変ゆとりがある」と「ややゆとりがある」を合わせた『ゆとりがある』は13.5%となっています。また、公的支援世帯では、「やや苦しい」と「大変苦しい」を合わせた『苦しい』は74.7%、「普通」が23.9%、「大変ゆとりがある」と「ややゆとりがある」を合わせた『ゆとりがある』は1.3%となっています。



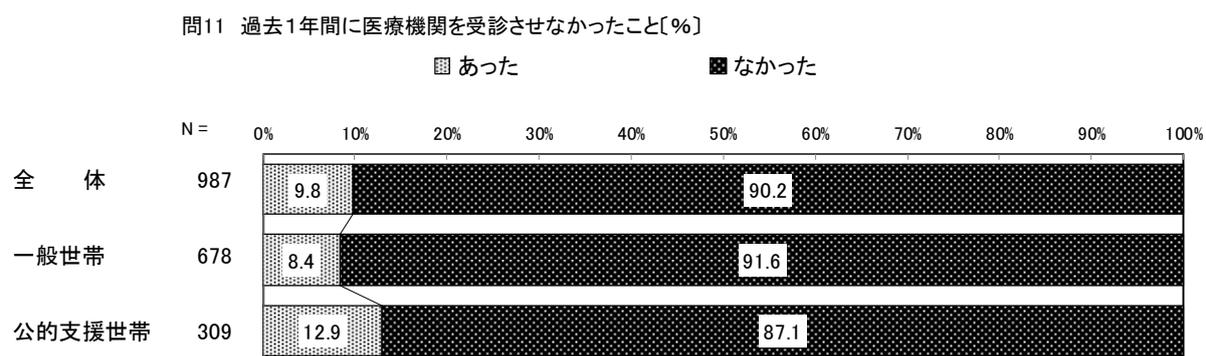
問10 あなたの世帯では、経済的な理由により、お子さんを塾や習い事に通わせることができなかつたことがありますか。(○は1つだけ)

経済的な理由により、子どもを塾や習い事に通わせることができなかつたことの有無については、一般世帯では「ある(あつた)」が34.8%、「ない(なかつた)」が65.0%となっています。また、公的支援世帯では、「ある(あつた)」が74.1%、「ない(なかつた)」が25.9%となっています。



問11 過去1年間に、お子さんを医療機関で受診させた方がよいと思つたが、実際に受診させなかつたことがありますか。(○は1つだけ)

過去一年間に子どもを医療機関で受診させなかつたことの有無については、一般世帯では「あつた」が8.4%、「なかつた」が91.6%となっています。また、公的支援世帯では、「あつた」が12.9%、「なかつた」が87.1%となっています。

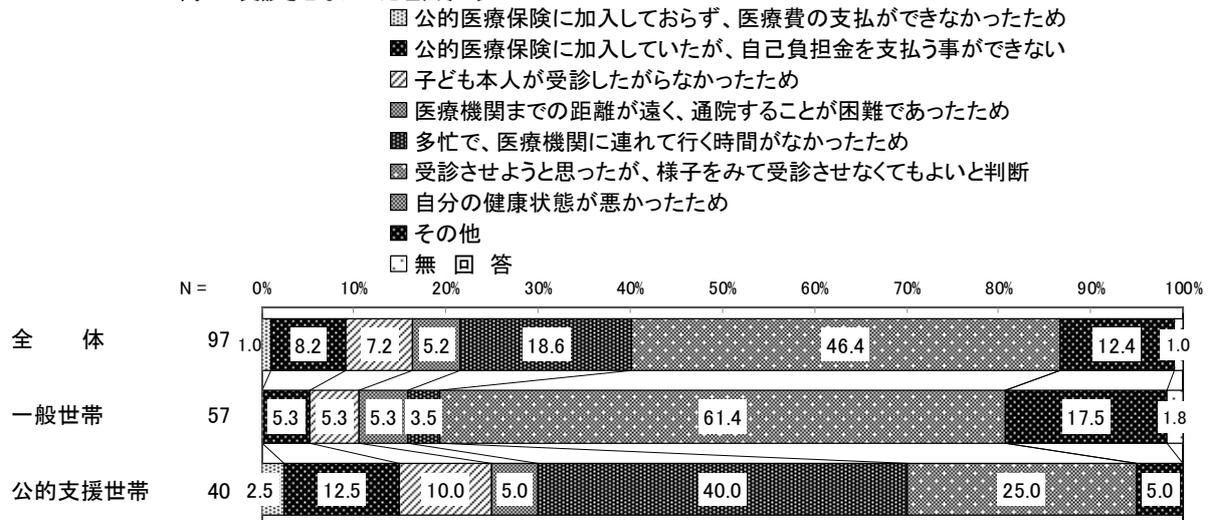


【問11で「1. あった」を選んだ方におうかがいします。】

問12 実際に受診させなかった理由は何ですか。(○は1つだけ)

過去一年間に子どもを医療機関で受診させなかった理由については、一般世帯では「受診させようと思ったが、様子を見て受診させなくてもよいと判断」が61.4%、公的支援世帯では、「多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため」が40.0%とそれぞれ最も高くなっています。経済的理由とする「公的医療保険に加入しておらず、医療費の支払ができなかったため」、「公的医療保険に加入していたが、自己負担金を支払うことができない」を合わせると、一般世帯では5.3%(3人)、公的支援世帯では15.0%(6人)となっています。

問12 受診させなかった理由[%]



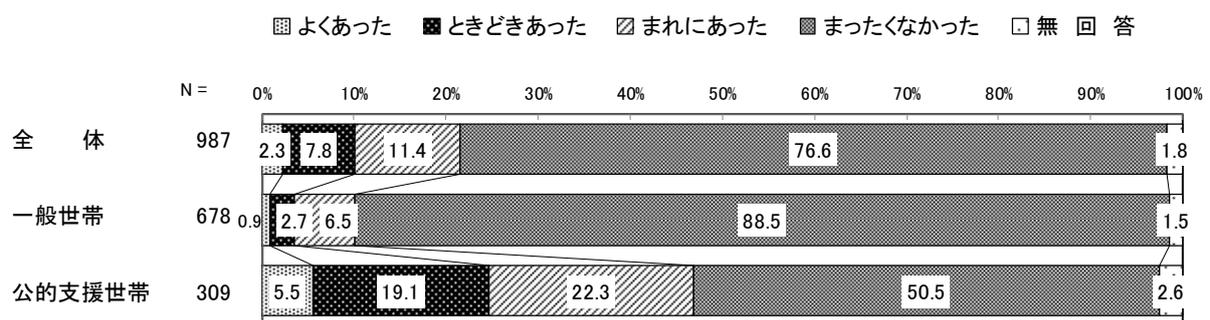
問13 あなたの世帯では、過去1年間に経済的な理由により、家族が必要とする以下の①、②の物が買えないようなことがありましたか。(①、②それぞれに○は1つだけ)

【①食料】

食料については、一般世帯では「まったくなかった」が88.5%、「よくあった」と「ときどきあった」、「まれにあった」を合わせた『あった』は10.1%となっています。また、公的支援世帯では「まったくなかった」が50.5%、「よくあった」と「ときどきあった」、「まれにあった」を合わせた『あった』は46.9%となっています。

公的支援世帯は、一般世帯に比べ『あった』が36.8ポイント高くなっています。

問13 ①必要とする食料が買えなかった[%]



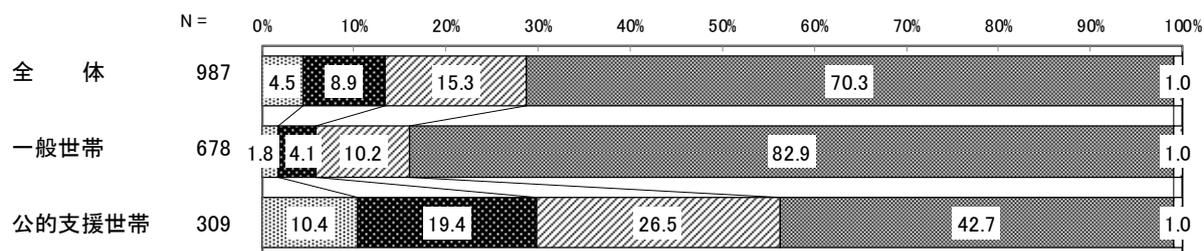
【②衣類】

衣類については、一般世帯では「まったくなかった」が82.9%、「よくあった」と「ときどきあった」、「まれにあった」を合わせた『あった』は16.1%となっています。また、公的支援世帯では「まったくなかった」が42.7%、「よくあった」と「ときどきあった」、「まれにあった」を合わせた『あった』は56.3%となっています。

公的支援世帯は、一般世帯に比べ『あった』が40.2ポイント高くなっています。

問13 ②必要な衣類が買えなかった[%]

■よくあった ■ときどきあった ■まれにあった ■まったくなかった □無回答



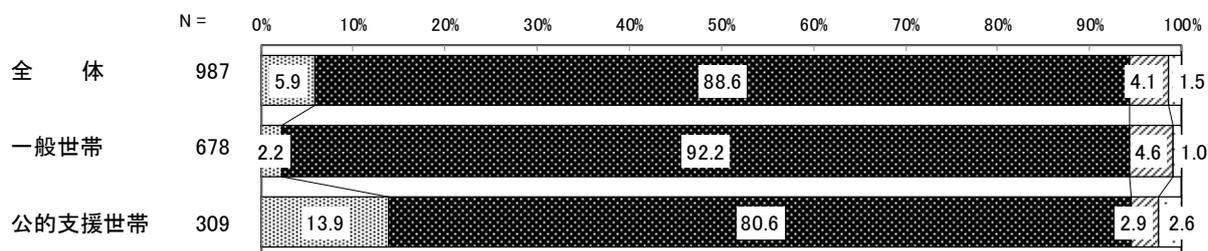
問14 あなたの世帯では、過去1年間に経済的な理由により、以下の①～⑥のサービス・料金について、支払えないことがありましたか。(①～⑥それぞれに○は1つだけ)

【①電話料金】

電話料金については、一般世帯では「あった」が2.2%、「なかった」は92.2%となっています。また、公的支援世帯では「あった」が13.9%、「なかった」は80.6%となっています。

問14 支払えなかったサービス・料金①電話料金[%]

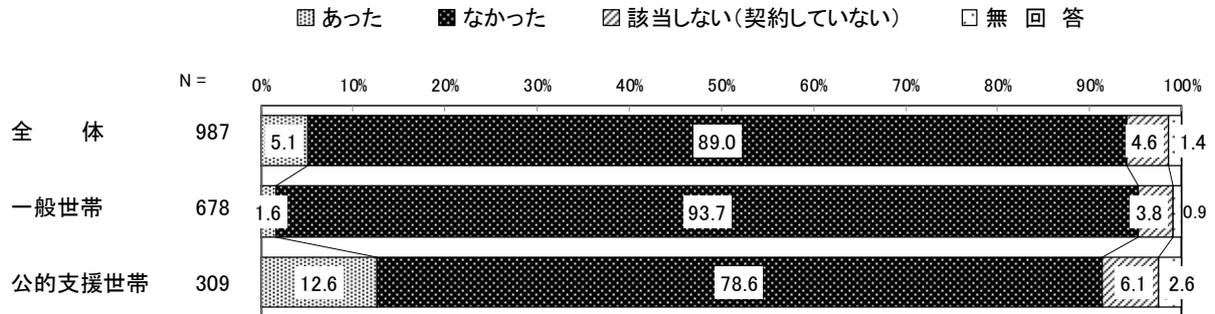
■あった ■なかった ■該当しない(契約していない) □無回答



【②電気料金】

電気料金については、一般世帯では「あった」が1.6%、「なかった」は93.7%となっています。また、公的支援世帯では「あった」が12.6%、「なかった」は78.6%となっています。

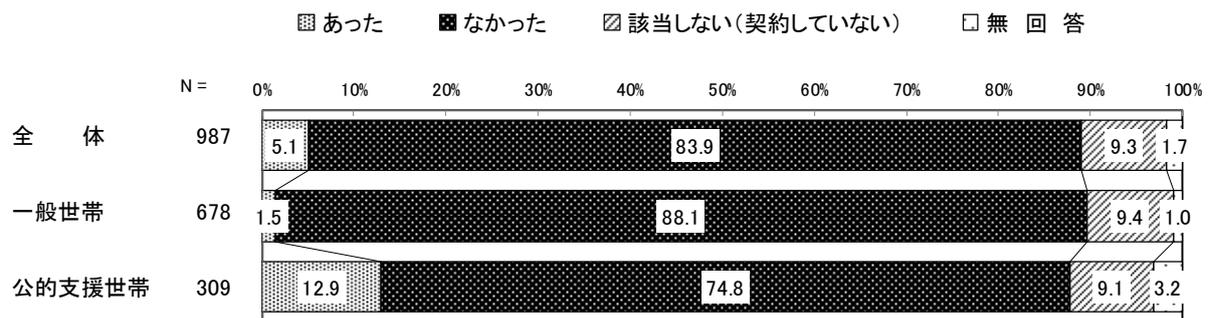
問14 支払えなかったサービス・料金②電気料金[%]



【③ガス料金】

ガス料金については、一般世帯では「あった」が1.5%、「なかった」は88.1%となっています。また、公的支援世帯では「あった」が12.9%、「なかった」は74.8%となっています。

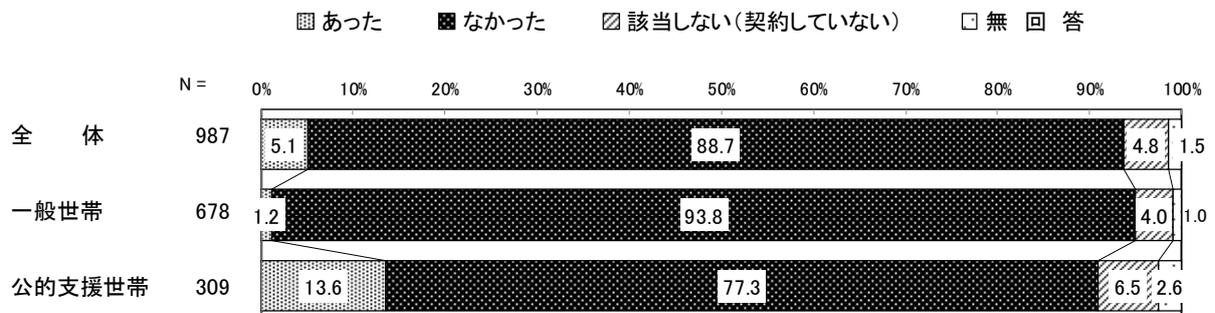
問14 支払えなかったサービス・料金③ガス料金[%]



【④水道料金】

水道料金については、一般世帯では「あった」が1.2%、「なかった」は93.8%となっています。また、公的支援世帯では「あった」が13.6%、「なかった」は77.3%となっています。

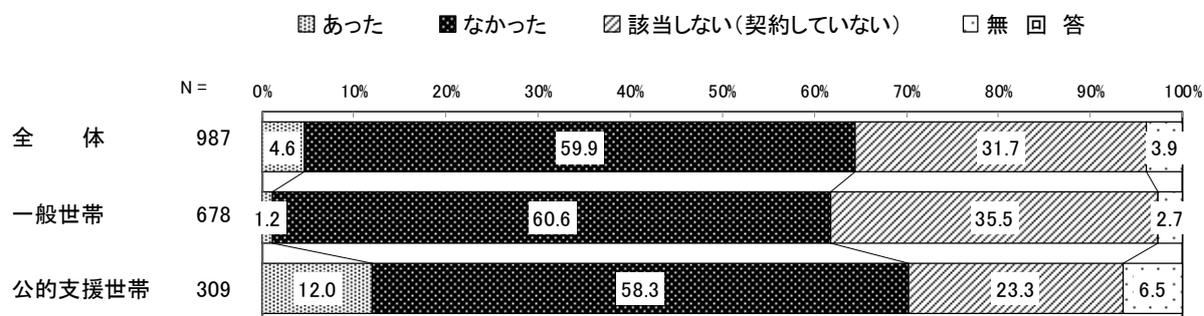
問14 支払えなかったサービス・料金④水道料金[%]



【⑤家賃】

家賃については、一般世帯では「あった」が1.2%、「なかった」は60.6%となっています。また、公的支援世帯では「あった」が12.0%、「なかった」は58.3%となっています。

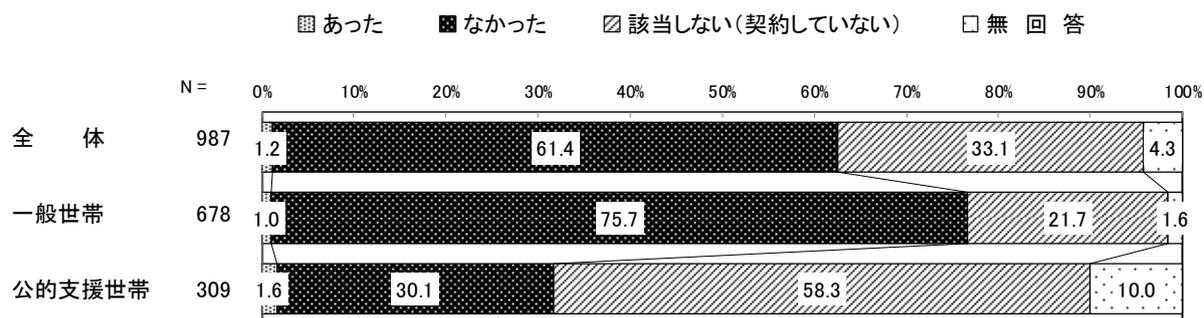
問14 支払えなかったサービス・料金⑤家賃[%]



【⑥住宅ローン】

住宅ローンについては、一般世帯では「あった」が1.0%、「なかった」は75.7%となっています。また、公的支援世帯では「あった」が1.6%、「なかった」は30.1%となっています。

問14 支払えなかったサービス・料金⑥住宅ローン[%]



【全体】

①～⑥の各サービス・料金について経済的な理由により支払えなかったことの有無については、一般世帯では「あった」はどの項目も1.0%～2.0%前後と低くなっていますが、公的支援世帯では、⑥住宅ローン以外の項目では、「あった」が13.0%前後と高くなっています。

	一般世帯				公的支援世帯			
	あった	なかった	該当しない	無回答	あった	なかった	該当しない	無回答
①電話料金	2.2	92.2	4.6	1.0	13.9	80.6	2.9	2.6
②電気料金	1.6	93.7	3.8	0.9	12.6	78.6	6.1	2.6
③ガス料金	1.5	88.1	9.4	1.0	12.9	74.8	9.1	3.2
④水道料金	1.2	93.8	4.0	1.0	13.6	77.3	6.5	2.6
⑤家賃	1.2	60.6	35.5	2.7	12.0	58.3	23.3	6.5
⑥住宅ローン	1.0	75.7	21.7	1.6	1.6	30.1	58.3	10.0

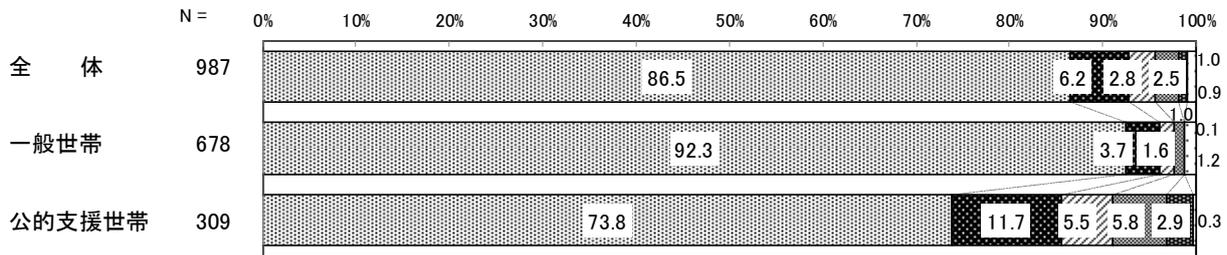
3. お子さんのことについて

問15 お子さんは、毎日朝食を食べますか。(○は1つだけ)

子どもは毎日朝食を食べているかどうかについては、一般世帯では「ほとんど食べない」と「食べない」を合わせた『食べない』は1.1%(8人)となっていますが、公的支援世帯では8.7%(27人)と一般世帯に比べ7.6ポイント高くなっています。一方、「毎日」、「週に4~5日」は公的支援世帯では85.5%と一般世帯の96.0%に比べ10.5ポイント低くなっています。

問15 お子さんは、毎日朝食を食べている[%]

■ 毎日 ■ 週に4~5日 ▨ 週に2~3日 ■ ほとんど食べない ■ 食べない □ 無回答

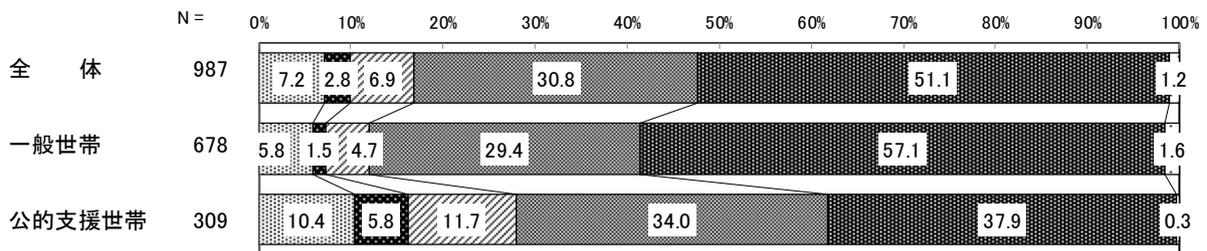


問16 お子さんは、夕食をお子さんだけで食べますか。(○は1つだけ)

子どもだけで夕食を食べているかどうかについては、一般世帯では「ほとんどない」と「まったくない」を合わせた『ない』は86.5%となっていますが、公的支援世帯では71.9%と一般世帯に比べ14.6ポイント低くなっています。一方、「毎日」、「週に4~5日」は公的支援世帯では16.2%と一般世帯の7.3%に比べ14.6ポイント高くなっています。

問16 お子さんは、夕食をお子さんだけで食べている[%]

■ 毎日 ■ 週に4~5日 ▨ 週に2~3日 ■ ほとんどない ■ まったくない □ 無回答



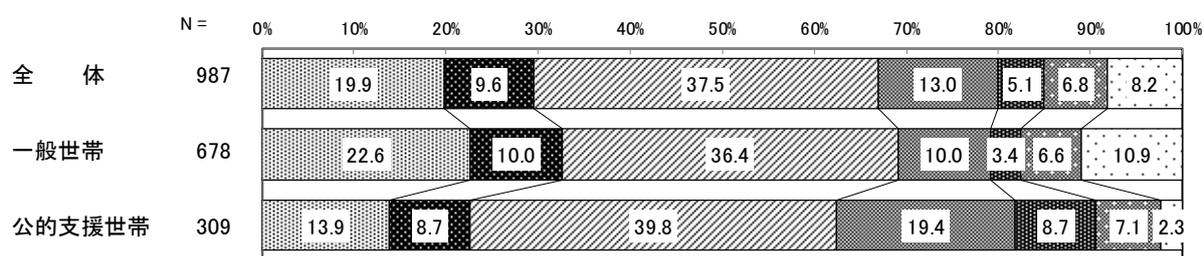
問 17 お子さんの学校での学習状況についてどう思っていますか。(〇は1つだけ)

子どもの学校での学習状況については、一般世帯では「普通」が36.4%、「良好」と「やや良好」を合わせた『良好』は32.6%、「やや遅れている」と「かなり遅れている」を合わせた『遅れている』は13.4%の順となっています。また、公的支援世帯では「普通」が39.8%、「やや遅れている」と「かなり遅れている」を合わせた『遅れている』は28.1%、「良好」と「やや良好」を合わせた『良好』は22.6%の順となっています。

公的支援世帯は、一般世帯に比べ『良好』が低く、『遅れている』が高くなっています。

問17 お子さんの学校での学習状況[%]

■ 良好 ■ やや良好 ▨ 普通 ■ やや遅れている ■ かなり遅れている ■ わからない □ 無 回 答



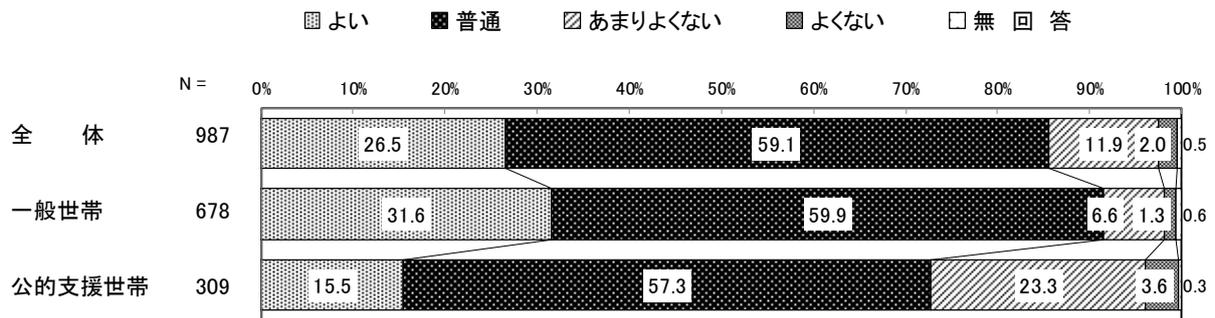
4. あなたのことについて

問18 あなたの現在の健康状態はいかがですか。(〇は1つだけ)

健康状態については、一般世帯では「普通」が59.9%、「よい」は31.6%、「あまりよくない」と「よくない」を合わせた『よくない』は7.9%の順となっています。また、公的支援世帯では「普通」が57.3%、「あまりよくない」と「よくない」を合わせた『よくない』は26.9%、「よい」は15.5%の順となっています。

公的支援世帯は、一般世帯に比べ『よくない』が19.0ポイント高くなっています。

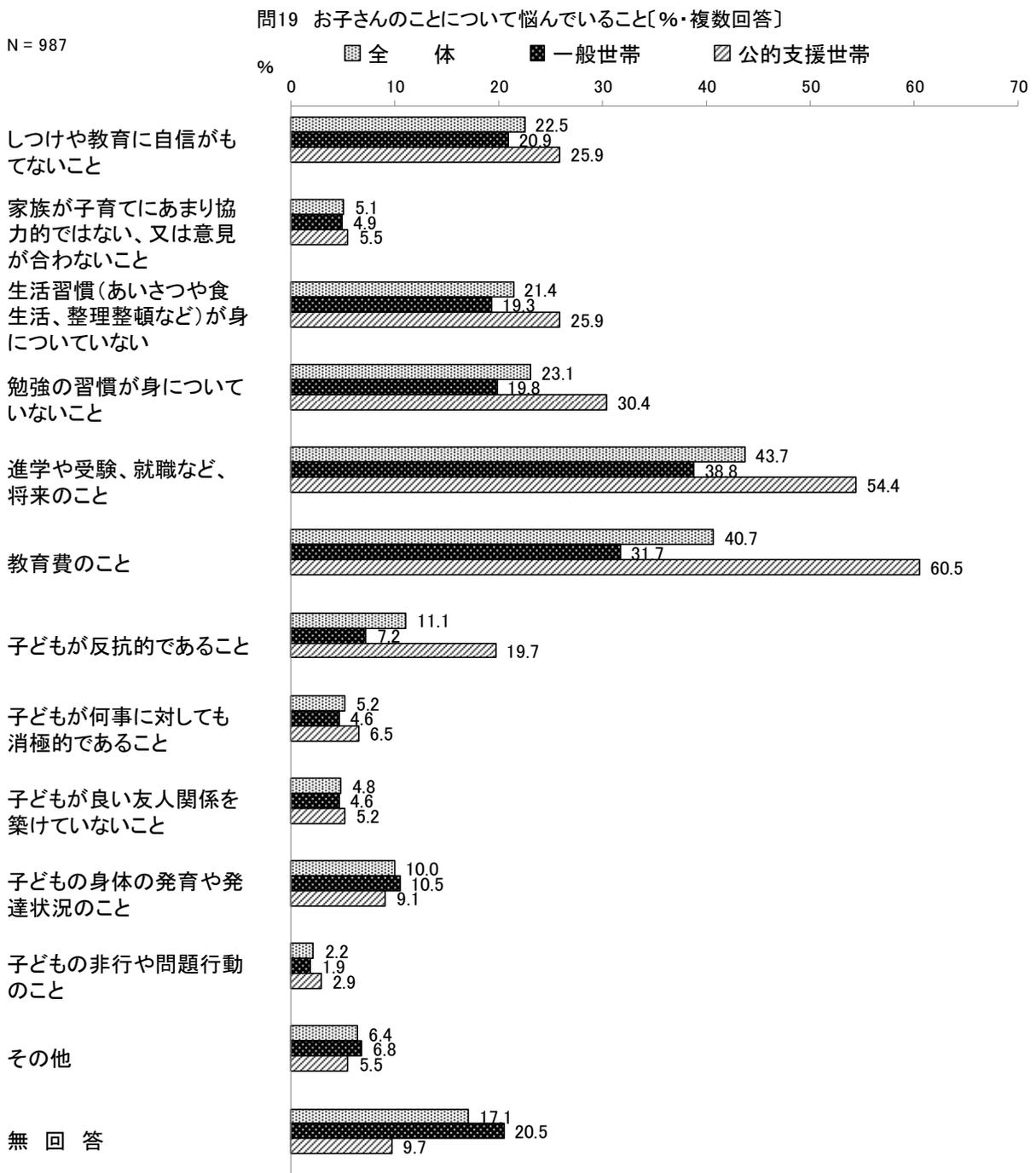
問18 あなたの現在の健康状態[%]



問 19 あなたは、お子さんのことについて悩んでいることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

子どものことで悩んでいることについては、一般世帯では「進学や受験、就職など将来のこと」が38.8%と最も高く、次いで「教育費のこと」が31.7%、「しつけや教育に自信がもてないこと」が20.9%、「勉強の習慣が身につけていないこと」が19.8%、「生活習慣が身につけていないこと」が19.3%の順となっています。また、公的支援世帯では「教育費のこと」が60.5%と最も高く、次いで「進学や受験、就職など将来のこと」が54.4%、「勉強の習慣が身につけていないこと」が30.4%、「生活習慣が身につけていないこと」、「しつけや教育に自信がもてないこと」がともに25.9%の順となっています。

公的支援世帯では、経済的な問題である「教育費のこと」が約6割と高くなっています。



一般世帯		
順位	項目	割合
1	進学や受験、就職など将来のこと	38.8
2	教育費のこと	31.7
3	しつけや教育に自信がもてないこと	20.9
4	勉強の習慣が身につけていないこと	19.8
5	生活習慣が身につけていないこと	19.3

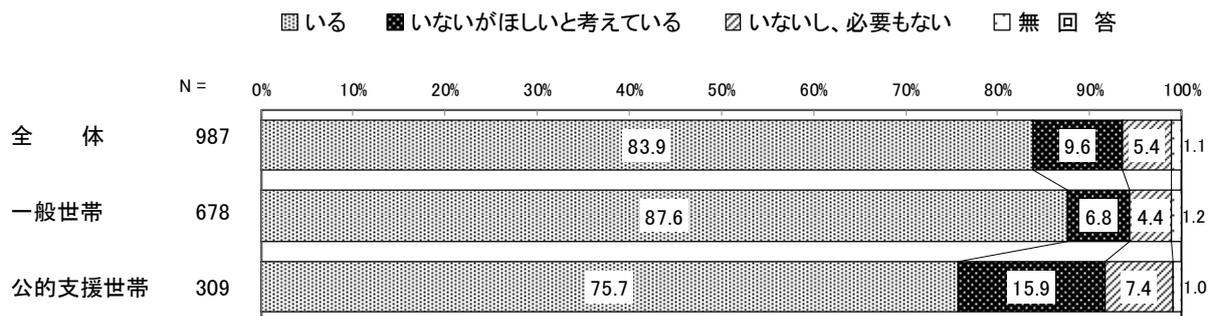
公的支援世帯		
順位	項目	割合
1	教育費のこと	60.5
2	進学や受験、就職など将来のこと	54.4
3	勉強の習慣が身につけていないこと	30.4
4	生活習慣が身につけていないこと	25.9
	しつけや教育に自信がもてないこと	

問20 あなたには、現在気兼ねなく相談できる相手がありますか。また、いない場合はほしいと思いますか。(○は1つだけ)

相談相手の有無については、一般世帯では「いる」が87.6%、「いないがほしいと考えている」が6.8%、「いないし、必要もない」が4.4%となっています。また、公的支援世帯では「いる」が75.7%、「いないがほしいと考えている」が15.9%、「いないし、必要もない」が7.4%となっています。

公的支援世帯は、一般世帯に比べ「いない」が低く、「いないがほしいと考えている」が高くなっています。

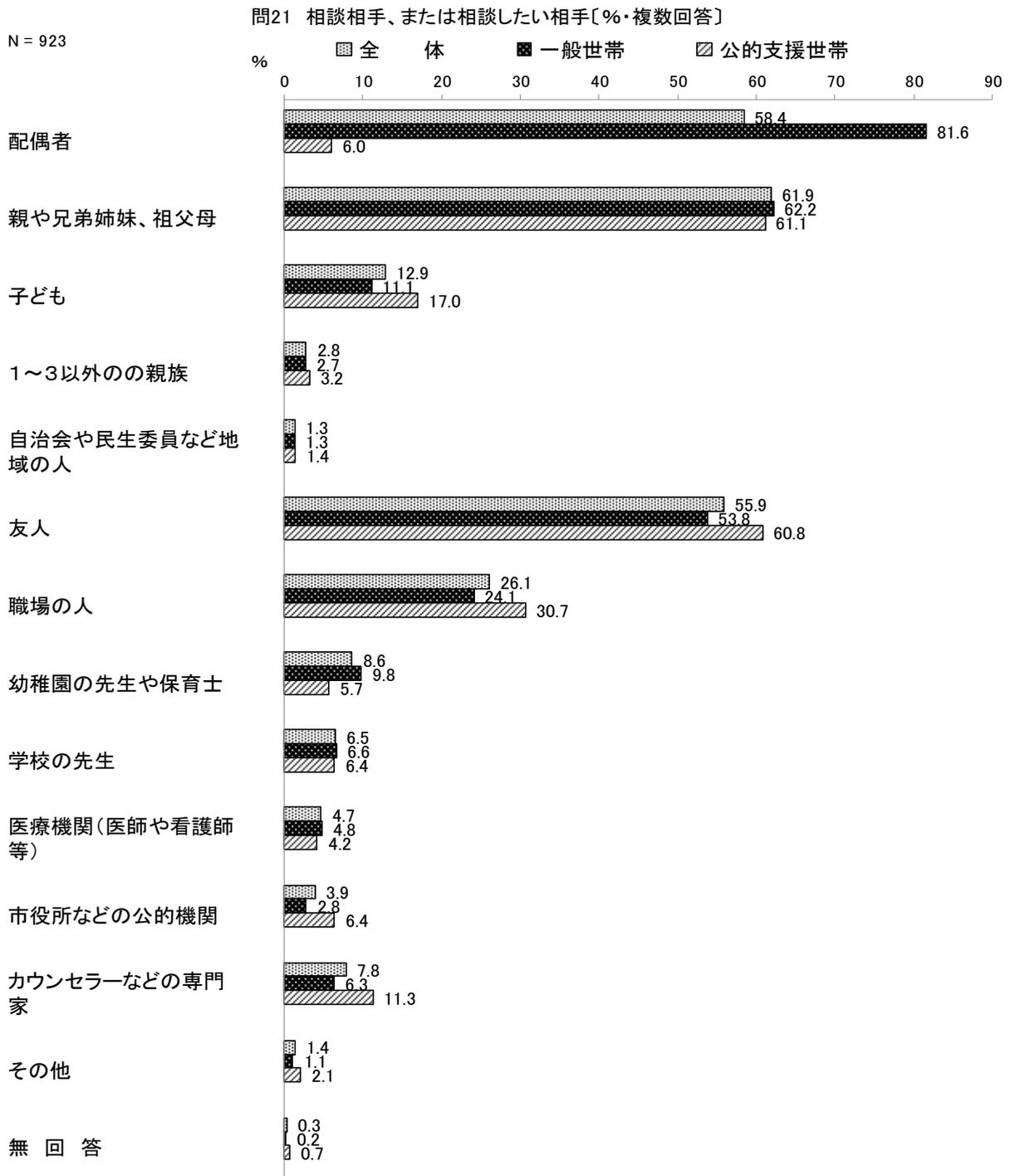
問20 現在気兼ねなく相談できる相手[%]



【問 20 で「1. いる」又は「2. いないがほしいと考えている」を選んだ方におうかがいします。】

問 21 その相談相手はどなたですか。また相談相手がほしい方はどのような相手に相談したいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

相談相手については、一般世帯では「配偶者」が 81.6%、「親や兄弟姉妹、祖父母」が 62.2%、「友人」が 53.8%、「職場の人」が 24.1%、「子ども」が 11.1%の順となっています。また、公的支援世帯では「親や兄弟姉妹、祖父母」が 61.1%、「友人」が 60.8%、「職場の人」が 30.7%、「子ども」が 17.0%、「カウンセラーなどの専門家」が 11.3%の順となっています。



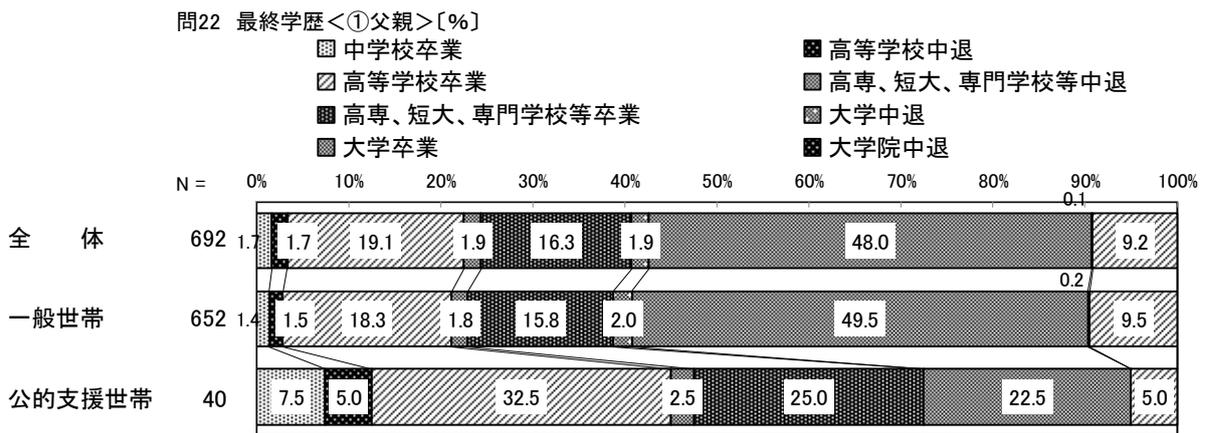
一般世帯		
順位	項目	割合
1	配偶者	81.6
2	親や兄弟姉妹、祖父母	62.2
3	友人	53.8
4	職場の人	24.1
5	子ども	11.1

公的支援世帯		
順位	項目	割合
1	親や兄弟姉妹、祖父母	61.1
2	友人	60.8
3	職場の人	30.7
4	子ども	17.0
5	カウンセラーなどの専門家	11.3

問22 お子さんのお父さんとお母さんの最終学歴は次のどれですか。(それぞれ1つずつ)

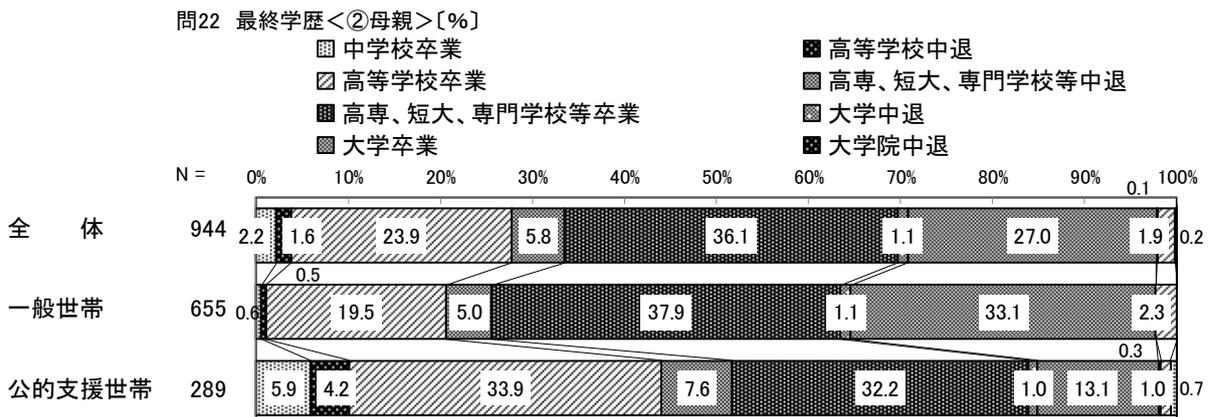
【①父親】

父親の最終学歴については、一般世帯では「大学卒業」が49.5%と最も高く、次いで「高等学校卒業」が18.3%、「高専、短大、専門学校等卒業」が15.8%の順となっています。また、公的支援世帯では「高等学校卒業」が32.5%と最も高く、次いで「高専、短大、専門学校等卒業」が25.0%、「大学卒業」が22.5%の順となっています。



【②母親】

母親の最終学歴については、一般世帯では「高専、短大、専門学校等卒業」が37.9%と最も高く、次いで「大学卒業」が33.1%、「高等学校卒業」が19.5%の順となっています。また、公的支援世帯では「高等学校卒業」が33.9%と最も高く、次いで「高専、短大、専門学校等卒業」が7.6%、「大学卒業」が32.2%の順となっています。

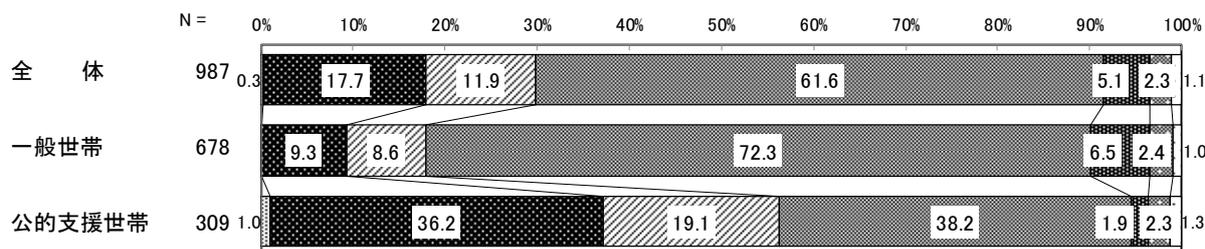


問 23 お子さんを将来どの学校まで行かせることができますか。(〇は1つだけ)

子どもを将来どの学校まで行かせることができるかについては、一般世帯では「大学」が72.3%、「高等学校」が9.3%、「高専、短大、専門学校等」が8.6%の順となっています。また、公的支援世帯では「大学」が38.2%、「高等学校」が36.2%、「高専、短大、専門学校等」が19.1%の順となっており、両世帯とも順位に違いはありませんが、「大学」は公的支援世帯の方が34.1ポイント低く、「高等学校」は26.9ポイント高くなっています。

問23 将来お子さんに行かせられると思う学校[%]

■ 中学校 ■ 高等学校 ▨ 高専、短大、専門学校等 ■ 大学 ■ 大学院 ■ その他 □ 無 回答



一般世帯

順位	項 目	割合
1	大学	72.3
2	高等学校	9.3
3	高専、短大、専門学校等	8.6

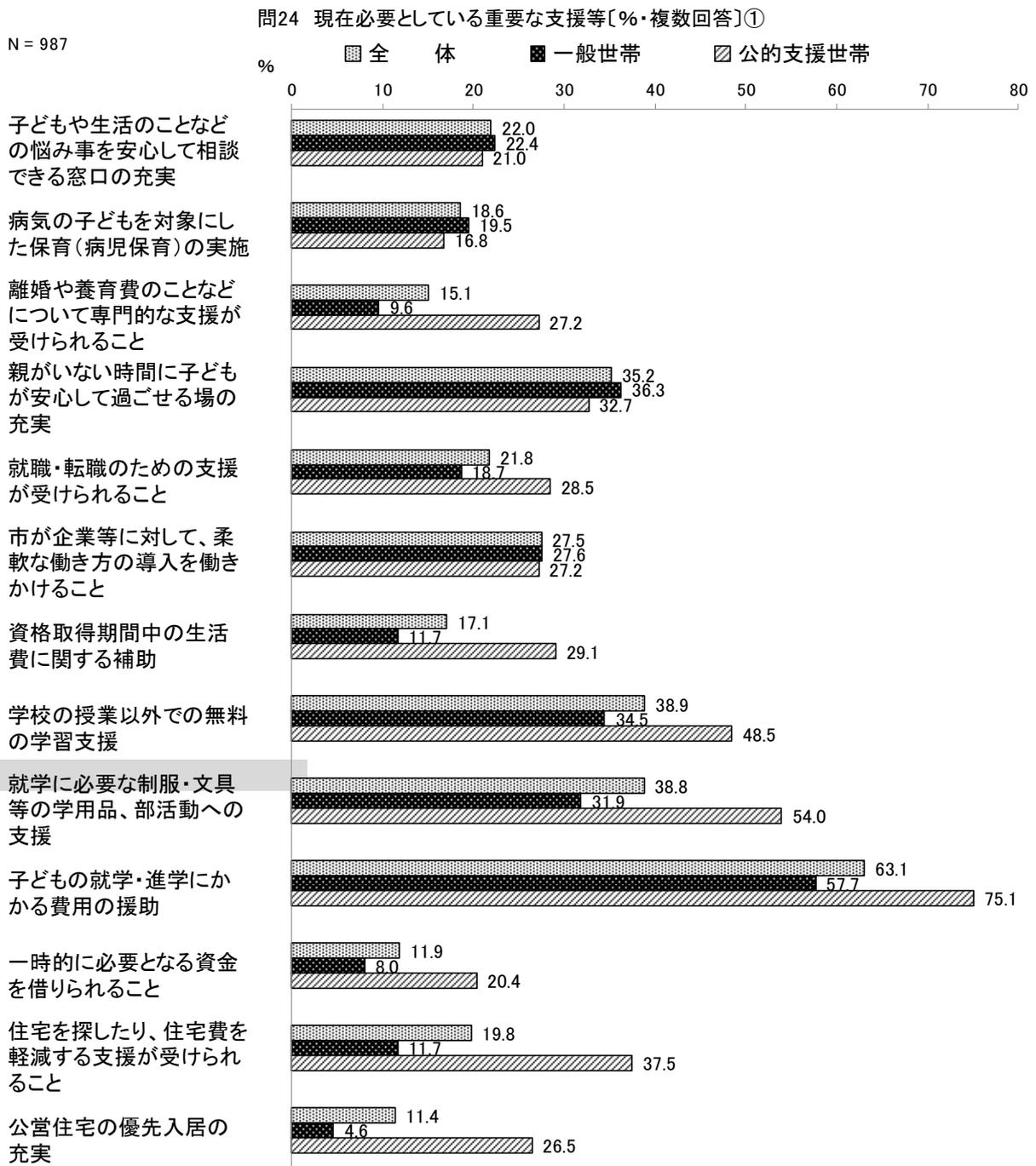
公的支援世帯

順位	項 目	割合
1	大学	38.2
2	高等学校	36.2
3	高専、短大、専門学校等	19.1

5. お子さんのいる世帯への支援のあり方について

問24 あなたが現在必要としていること、重要だと思う支援等はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○)

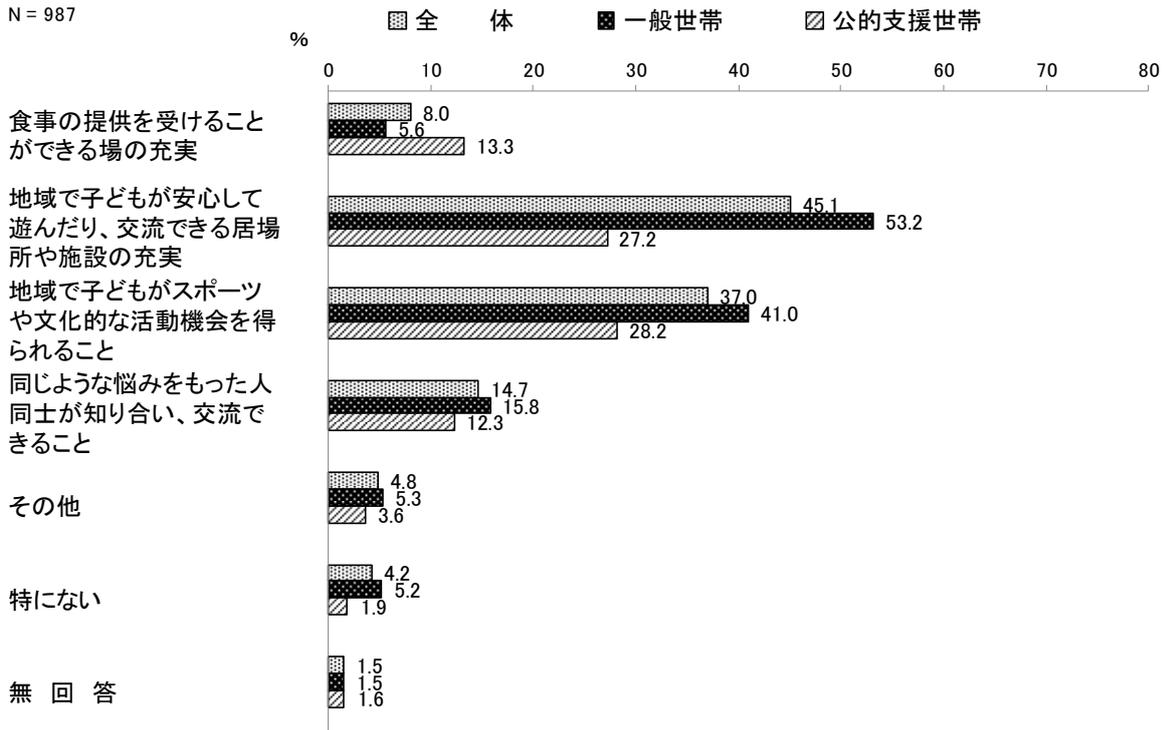
現在必要としていること、重要だと思う支援等については、一般世帯では「子どもの就学・進学にかかる費用の援助」が57.7%、「地域で子どもが安心して遊んだり、交流できる居場所や施設の充実」が53.2%、「地域で子どもがスポーツや文化的な活動機会を得られること」が41.0%と上位となっています。また、公的支援世帯では、「子どもの就学・進学にかかる費用の援助」が75.1%、「就学に必要な制服・文具等の学用品、部活動への支援」が54.0%、「学校の授業以外での無料の学習支援」が48.5%といずれも経済的な支援についての項目が上位となっています。



<続き>

問24 現在必要としている重要な支援等[%・複数回答]②

N = 987



一般世帯

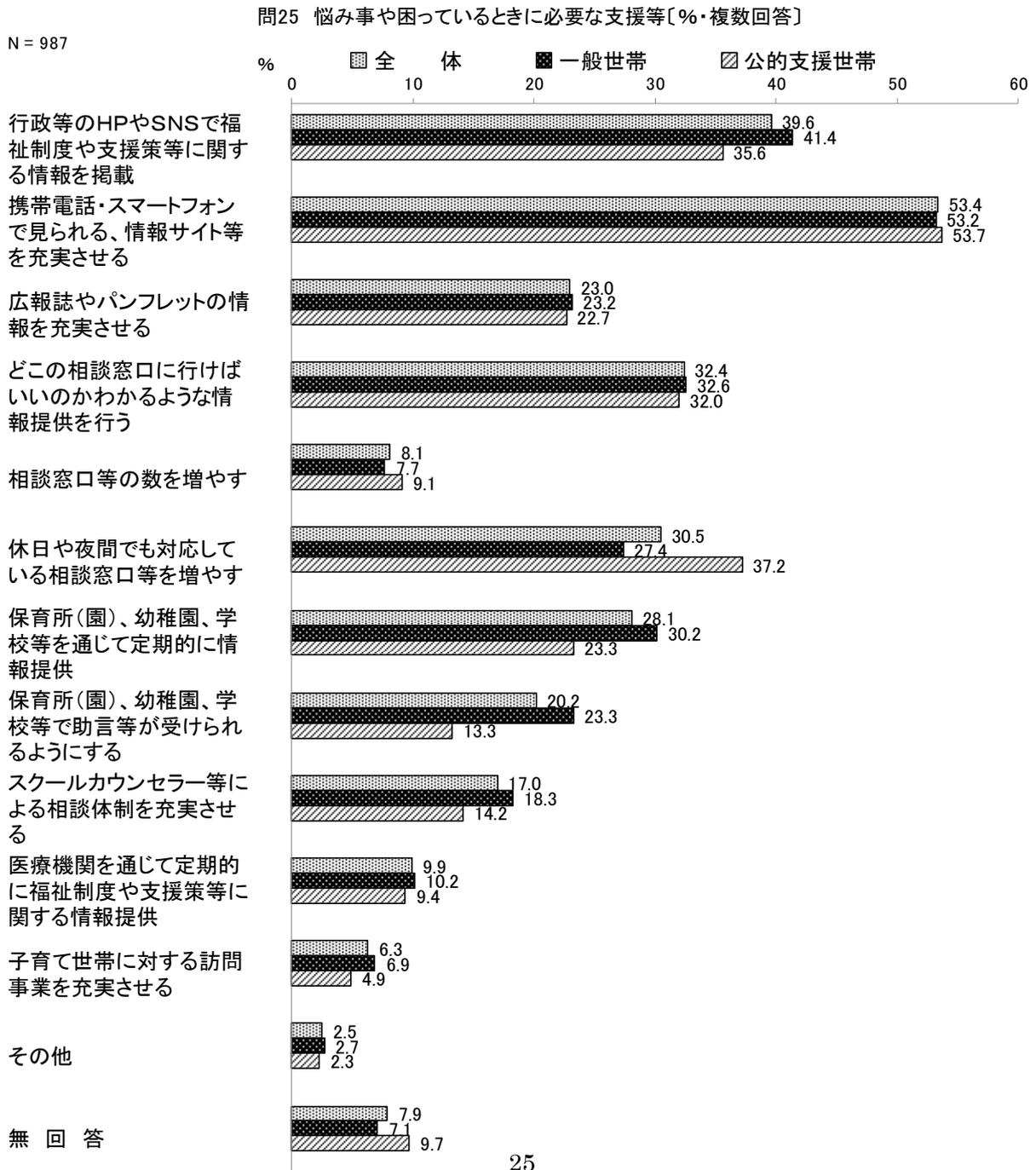
順位	項目	割合 (%)
1	子どもの就学・進学にかかる費用の援助	57.7
2	地域で子どもが安心して遊んだり、交流できる居場所や施設の充実	53.2
3	地域で子どもがスポーツや文化的な活動機会を得られること	41.0
4	親がいない時間に子どもが安心して過ごせる場の充実	36.3
5	学校の授業以外での無料の学習支援	34.5
6	就学に必要な制服・文具等の学用品、部活動への支援	31.9
7	市が企業等に対して、柔軟な働き方の導入を働きかけること	27.6
8	子どもや生活のことなどの悩み事を安心して相談できる窓口の充実	22.4
9	病気の子どもの対象にした保育(病児保育)の充実	19.5
10	就職・転職のための支援が受けられること	18.7
11	同じような悩みをもった人同士が知り合い、交流できること	15.8
12	資格取得期間中の生活費に関する補助	11.7
	住宅を探したり、住宅費を軽減する支援が受けられること	

公的支援世帯

順位	項目	割合 (%)
1	子どもの就学・進学にかかる費用の援助	75.1
2	就学に必要な制服・文具等の学用品、部活動への支援	54.0
3	学校の授業以外での無料の学習支援	48.5
4	住宅を探したり、住宅費を軽減する支援が受けられること	37.5
5	親がいない時間に子どもが安心して過ごせる場の充実	32.7
6	資格取得期間中の生活費に関する補助	29.1
7	就職・転職のための支援が受けられること	28.5
8	地域で子どもがスポーツや文化的な活動機会を得られること	28.2
9	地域で子どもが安心して遊んだり、交流できる居場所や施設の充実	27.2
	離婚や養育費のことなどについて専門的な支援が受けられること	
12	市が企業に対して、柔軟な働き方の導入を働きかけること	26.5
	公営住宅の優先入居の充実	

問25 お子さんのことや生活、仕事のことなど、悩み事や困っていることがあるときに必要な支援を受けられるようにするために、重要だと思うことはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

悩み事や困っていることがあるときに必要な支援を受けられるようにするために、重要だと思うことについては、一般世帯では「携帯電話・スマートフォンで見られる、情報サイト等を充実させる」が53.2%、「行政等のHPやSNSで福祉制度や支援策等に関する情報を掲載」が41.4%、「どこの相談窓口に行けばいいのかわかるような情報提供を行う」が32.6%と上位となっています。また、公的支援世帯では、「携帯電話・スマートフォンで見られる、情報サイト等を充実させる」が53.7%、「休日や夜間でも対応している相談窓口等を増やす」が37.2%、「行政等のHPやSNSで福祉制度や支援策等に関する情報を掲載」が35.6%と様々な手段による情報提供が上位となっています。



一般世帯

順位	項目	割合
1	携帯電話・スマートフォンで見られる、情報サイト等を充実させる	53.2
2	行政等のHPやSNSで福祉制度や支援策等に関する情報を掲載	41.4
3	どこの相談窓口に行けばいいのかわかるような情報提供を行う	32.6
4	保育所(園)、幼稚園、学校等を通じて定期的に情報提供	30.2
5	保育所(園)、幼稚園、学校等で助言等が受けられるようにする	23.3

公的支援世帯

順位	項目	割合
1	携帯電話・スマートフォンで見られる、情報サイト等を充実させる	53.7
2	休日や夜間でも対応している相談窓口等を増やす	37.2
3	行政等のHPやSNSで福祉制度や支援策等に関する情報を掲載	35.6
4	どこの相談窓口に行けばいいのかわかるような情報提供を行う	32.0
5	保育所(園)、幼稚園、学校等を通じて定期的に情報提供	23.3

問 26 あなたがいま悩んでいることや心配なこと、困っていることや、誰かに相談したいと思っ ていることについて

「いま悩んでいることや心配なこと、困っていることや、誰かに相談したいと思っ
ていることについて」記述式で聞いたところ、一般世帯では156人(23.0%)、公的支援世帯
では102人(33.0%)からさまざまな意見がありました。

■主なテーマ別意見数

【一般世帯】

順位	内 容	件数
1	保育園、幼稚園、学校、学童等預かりでのこと	47
	放課後児童クラブは、入るか否かの選択肢しかない。月数回の利用も可としてほしい。先生の負担を減らし、授業に専念できるようにしてほしい。学校でいじめにあったら、誰に相談すればいいのか。	
2	育児の問題	30
	第2子が生まれた時に、上の子の気持ちを考えた子育てができるか不安である。子どもが学校や勉強など自らやる気を出して取り組んでくれるにはどうしたらいいのか悩んでいる。	
3	経済的な不安	27
	子どもが望む将来に対しての資金を確保できるか等、経済的な不安が常にある。高校・大学・専門学校の無償化を望む。進学等にお金がかかるが準備できるか不安である。	
4	行政に対して	20
	他県から引っ越してきたため、相談窓口がわからない。困っていることを以前保育課に相談したが、ルール通りでないためだと断られた。高校補助金制度をわかりやすくしてほしい。知らない方もいると思うので、もっとFメールの存在を知らせることがよいと思う。	
5	遊び場	11
	いつでも気軽に子どもがボール遊びなどをできる、広めのグラウンドがある公園等があるといい。子どもが外で遊べる場所が少ないと思う。市の公園をすべて禁煙または分煙してほしい。子どもが遊べる公園があればいいと思う。	

【公的支援世帯】

順位	内 容	件数
1	学費・習い事等教育費	25
	子どもの受験や就職などの費用が不安である。大学への進学費用が不安である。今の収入で、将来子どもを大学入学から卒業まで支えられるか不安である。子どもの大学進学に向けての資金がなく、奨学金を借りても返済が心配である。	
2	母子・父子家庭の支援	18
	ふじみ野市は子育て支援に力を入れていると言っているが、ひとり親家庭に対する支援はないと思う。シングルマザーの支援策をもっと充実させてほしい。父子、母子家庭の子どもの医療費は、成人(18歳)まで支援してほしい。	
3	生活・将来の不安	16
	子どもたちの将来や、自分の今後が不安である。母親が倒れた時に子どもをどうしたらよいかかわからず困っている。市営住宅に関する情報を知りたい。生活を考えると、実家から出ること(引っ越し)ができない。	
4	不登校や学力低下など教育問題	13
	子どもが不登校になり、悩んでいる。この先の学習方法や進路など相談できる場がほしい。パートの収入が少ないので、習い事をさせられない。中学3年生の子どもが学校に行かないことが不安である。	
5	仕事に関すること	10
	保育園児が3人いて、現在休職中である。正社員はもちろんパートやアルバイトもなかなか決まらない。できれば子どもを大学まで通わせたいが、そこまで仕事を続けられるか不安である。仕事が忙しく、休日は疲れ果てている為、子どもの面倒をあまりみられない。	

■意見内容

【一般世帯】

内 容
子どもの発達の違いや、それに伴う悩み、支援の仕方等、家庭、学校、療育先で連携、情報の共有、進級、就学が円滑にいくような相談体制がほしい。子どもが困りやすいこと等伝えても学校の人事が変わる度に考えや利用できる支援も変わり、情報の共有もなされていないように感じ困っている。
妻が他界している。子どもが幸せに生活できる環境がほしい。ただし、それが何かはわからない。
潜在看護師だが、看護の仕事は拘束時間が長く、育児中は復帰しにくい。私の他にも資格は持っているけれど育児との両立は困難で、潜在看護師になっている方が何人かいる。週1～3日でOK、1日3時間からでOK等の求人があればよいと思う。例えば、保育園に配属される病児育児のための看護師の場合も、1人を雇用して拘束時間を長くするより、複数人雇用してシフトを組んだ方が働きやすい。
特に高校・大学進学にかかる費用が高額になるため、現在の世帯収入だけで支払えるかどうか非常に不安を感じる。問24の9、10について、支援・援助を少しでもしていただければありがたい。今後の支援計画に期待している。
上福岡駅西口の広場で昼夜問わずたむろしている外国人や不審な集団が見られ、治安的に不安になる。また、路上・歩行喫煙をしている人も多く、ポイ捨てなどマナーの悪い人がある。子どもを健全に育てる上で心配になる。
18歳まで医療費を無料にしてほしい。
コロナウィルス感染拡大にあたり、緊急事態宣言は仕方がないと思う反面、受験、卒業式、入学式など人生の大きな影響がある時に全ての学校を休校にし、子どもたちの大切な時間、その時にしかできない機会を損失したことは大きい。未来の日本を支えてくれる子どもたちをこれからどう補っていかねばいけないのか。行政及びその事に関わる全ての人たちの課題となる。「コロナ世代ね」と言わせないような。今、このような状況だからこそ明るい光をその子どもたちにも浴びる権利を与えてほしい。大切に育ててほしい。
学校の先生の負担を減らし、授業に専念できるようにしてほしい。
コロナウィルスの関係で仕事ができず、給与が入らなかったため、貯金を使ってしまい、将来的に経済的な不安があり、悩んでいる。
子どもを持つ親として思うことは、親の格差が子どもの格差につながっていると思う。今回、休校期間が3か月続いた時に、小学校でさえ、市内で統一の支援がされていない。家庭によっては塾に行くことで学校の支援がいない人もいると思うが、我が家は学校での学習を大事にしていくしかない。公立校なので、地域で学習のすすめ方が違うのはいかなものかと思う。不公平感がある。学校に任せるのではなく、市もチェックして確認してほしい。教育委員会があるのだから。
困っていることは、電気代とガス代と保育費である。父親は1週間で月、火、水だけ仕事をしているから、3人家族の生活費は困っている。
コロナウィルスの影響で収入が減っているため、この先どうになってしまうのが不安である。
子どもが安心して過ごせる市政を期待する。
子育てや介護は地域社会というよりは家庭内でのブラックボックスという側面では判断しにくいので、積極的に子育て世代と介護世帯が交流しやすい場があれば上記の悩みがコミュニケーションを通じて解決できるのではないかと考える。
現在、3歳と1歳の2人の子どもがおり、第3子も妊娠しているが、子どもたちにかかる費用を賄っていきけるか心配である。
第2子が産まれた時に、上の子の気持ちを考えた子育てができるか不安である。
3歳と1歳の子を育てる中、第3子を授かってなかなか体調が優れず、外遊びをさせてあげられないことが悩みである。家でできる遊びのアイデアがほしい。
いつでも気軽に子どもがボール遊びなどをできる、広めのグラウンドがある公園等があるといい。どの公園でもボール遊びが禁止でなかなかのびのびと遊べない。土日等に学校で野球等をやっていたり、有料の遠いグラウンドはあるが、普段子どもだけで安心して遊べる広場が少ないと思う。高い網などを張ったりと迷惑にならないよう対策をし、スポーツができる場所を作っていただきたい。
子どもが遊べる公園があればいいと思う。(ボール、花火ができる場所)
6歳の長女の肥満が心配である。内向的な性格なので友達を作るのが苦手なため、小学校に入学してからの生活が不安である。
学区の小学校がすごく遠い。
第2子が不妊である。体外受精が不妊の助成金や保険治療になるとよいと日々思っている。

第1章 保護者向け調査

<p>コロナ対策や支援などは一人親だけに支援があるが、親が二人いても変わらず大変な世帯はあるのと思う。あと、給食はまずく、本当に残り飯ばかりでもったいない。</p>
<p>新しい生活スタイルにより遊び場への抵抗感や人数制限などにより遊べる場が減少しており、子どもがのびのびと安全に過ごせる場所が減っている。性犯罪者が子どもに関わる仕事につけることが不安である。特に、埼玉は教育関係者の性犯罪ニュースが目立っている。関われないシステムや行政でしっかりと管理できるシステムを作してほしい。</p>
<p>今現在、心配に思っていることは、コロナの影響で真夏でも学校へ通わなければいけない期間が長くなってしまったことである。そのうえ、マスク着用で熱中症への不安がある。小学校ではネッククーラー、日傘などの利用を可としているが、中学生に対してはなんの知らせもない。帽子もなければ通学路に日陰もない中、これからの暑さ、熱中症予防に何かできないかと思う。帽子着用を自由にする（また、指定があっても構わないと思う）、抵抗のある女子は日傘可にするなど、夏の気温の上昇を考えると何か対策があった方がよいのではないかと危惧している。</p>
<p>子どもたちの健やかな成長を見守りいただき様々な取組を行っていただきありがたい。今はコロナのことで大変かと思うが、早く落ち着き、元の生活に戻ることを願う。その際には、また、児童館を利用させていただく。</p>
<p>現在、子どもが未就学児で一人っ子のため、進学予定の小学校の情報が得づらい状況である。幼稚園や保育園を通じて地域の小学校の情報提供や交流が活発にあれば、子どもへの家庭でのサポートがしやすくなるのではないか。</p>
<p>子どもはたくさんほしいと思っていた。でもやはり、育てていくにはすごいお金がかかる。今育ち盛りになり、食費だけでも大変である。やっと、やっとで3人を育てている。子どもは宝である。もっと皆が産んで育てやすい環境になるようにと願う。</p>
<p>子育て支援センターの充実（時間等）をしてほしい。</p>
<p>子どもが安心して遊べる街、暮らせる街にしてほしい。大きな公園が上福岡中央公園しかないのが残念である。イオンができた後の交通渋滞や車の量が増えることで、危険が増えないか心配である。上福岡駅横の踏切が街としての利便性、発展を阻害している。</p>
<p>先日、子どもが市から公園の使い方についてプリントをもらってきた。子どももマナーがなっていないところが多くあるが、最近ではタバコを吸う人が多かったり、高齢者がベンチを長時間も占領していたりと、大人のマナー違反も目立つ。子どもばかりあれば駄目、これも駄目といわれる世の風潮が一番子育てしにくい。</p>
<p>第2子を妊娠したいと思うが、産後、上の子の生活が心配である。両親は近くに住んでいても、まだまだ両親も働き盛りで平日日中の家族のサポートは期待できない。そう考えると、リスクや負担が大きく、2人目を考えることができない。産後サポートの充実を強く望む。</p>
<p>3人の息子を大学まで入れることができるのか。税金等の出費が多すぎて、働いても足りない。経済的な不安が大きい。</p>
<p>Fメールの存在を最近知り、メールが届くようになってから情報がいっぺんに入ってきた。知らない方もいると思うので、もっとFメールの存在を知らせることがよいと思う。</p>
<p>自分が他県出身のため、高校受験の情報や知識がないことが不安である。中学校での情報を頼りにしているが、そこがあまり充実していないという話を聞くととても心配である。</p>
<p>駐車場やコインパーキングが家の近くにないため、車を買えない。車がないと幼稚園の送迎が困難である。離婚したいが、仕事ができる状況ではないため、離婚を我慢している。</p>
<p>中学受験を控えている。コロナの影響で小学校登校日の変更、追い込みの長期休みの縮小で本当に大変である。小学校最優先で頑張ってきたが、今後もそうできるか不安である。</p>
<p>近くに西中央公園がある。マンションや家ばかりの中で皆が使えるたった1つの場所である。各年齢でその使用方法は異なると思う。高齢者も学生も子どもたちもそこは使いたいのである。ボール遊びが禁止と前からわかっていたが、小学校高学年、中学生以上の子の動き回れるところはほとんどない。それなのに大きな禁止の看板が公園の真ん中に立てられた。いつか小さな子どもも大きくなるし、高齢者も子どもだったことがあるのに。無駄な作りのものや余っている場所が多くある。もう一度公園の土地の使い方を検討し、どの年代も楽しめる場所にしてほしい。そのためにはまず現状を職員が見に来てほしい。机上の形だけの公園整備では何もならない。</p>
<p>子どもが外で遊べる場所が少ないと思う。キャッチボールやサッカーができるスペースがなく、遠出しなくてはならないので子どもたちだけで遊びに行けない。小学校の開放をお願いする（日曜・祝日も）。シングルマザーへの手当（給食費無料、子ども手当、保育費）は充実しているが、両親がいる世帯との格差が大きいと感じる。両親がいる世帯もこれからの手当拡充をお願いする。</p>
<p>子どもの進路、自分自身の健康について、精神面について不安である。</p>

もし、今後学校でいじめにあったら、誰に相談すればよいのか。また、学校に相談した場合、ちゃんと調査してくれるのか（隠ぺいなどされないか）が心配である。
子どもの受験が心配である。学童保育のお迎えに間に合わないこと（保育園は20時までだったので安心して働けた）、ファミリーサポートも登録者数に地域の偏りがあり、毎日頼ることができないし、他人に預けることには抵抗がある。
お金が苦しくて子どもを塾等に行かせることが難しい。家庭とお金ではなく問題ではなく送迎等人手が足りず塾等に行かせることが難しい。家庭と色々な理由があると思う。誰もが平等に学習を受けられる学校の教育を充実させてほしい。市独自で少人数制のクラスや教室配置、教員数の確保を考えてほしい。
新型コロナウイルスに関する以下の点が心配である。今後また休校になった際、授業確保はどうなるのか。休校になってしまったら、体力の低下、友人との関わりの減少の対策が必要だと思う。
子どもの就職に関すること。自分の定年後の就職に関すること。
保育園費が高額で、今の金額ではキャリアをつなげるために働けば働くほど出費が増えることになる。
子どもの将来に必要な就学、進学にかかる費用を捻出できるのか、自分の老後の生活資金との兼ね合いが心配である。
子ども2人がそれぞれ高校、大学へ進学するのに合わせてふじみ野市に引越してきた。双方、私立なので学費が高いが、私（母）がパートをすれば賄えると考えていた。ところがコロナの影響で希望に合う求人がなくなり、就職できなくなっている。今後、組んだばかりの住宅ローンも含め、学費を払っていくことができるか不安である。求人情報（ネットのハローワーク他）は毎日見ている。
イオンタウンがオープン予定だが、交通量が増えることが予想される。通学路で事故が起きないか心配である。
とにかく教育費が高く、心配である。税金はたつぷりと払っているのに、と子どもの成長とともに感じる。
学校内でのいじめは、親の目が届かないため、常に心配である。
学費がかかるので、もっと支援してもらいたい。
子どもが4人なので、それぞれ好きなことができるように（好きな進路に）進んでほしいと思っているので、子どもに我慢はさせないようにしているつもりだったが、今年に入り主人の給料が10万円以上減り、すごく困っている。主人は何とも思っていないのか、子どもの送り迎えも基本母の私がしていることが多く、たまにお迎えはしてくれるが、お金が足りないことを全く理解しておらず、この先とても不安である。友人（会社）たちに色々相談をしているが、解決方法は見つからない。
市の認可保育園が少なすぎる。定員も少ない。待機児童を0にすることを目標に掲げておきながら、1歳児クラスに入れられない順番待ちをしている人が大勢いる。それなのに市は何の対策もしてくれない。「働くな」ということか。それならば、補助金を出すとか、働かなくても収入の保証をしてほしい。こんなアンケートはまずそれを解決してから行うべきである。
コロナウイルスの影響で離婚調停が開かれず、離婚成立が遅れてひとり親家庭の助成が受けられずにいる。また、育児のため、フルタイム勤務にしたが時間と体力が足りず、辛さを感じている。家事を助けてくれるような制度があれば利用したいが、帰宅は19時過ぎなので公的な支援は諦めて過ごしている。まだ子どもたちが幼く（1歳と3歳）、とても不安を抱えている。
コロナの影響を受けての今現在の子どもの置かれている状況が心配である。感染防止の一環といってほとんどの行事や部活動がなくなる、試合等もできないというのには疑問がある。感染拡大を防ぐのはわかる。しかし、中止にすることだけが本当に子どもたちのためになっているのか。未来ある今しかない子どもたちに寄り添った策をとっているとは思えない。
子どもが学校や勉強など自らやる気を出して取り組んでくれるにはどうしたらいいのか悩んでいる。子ども対象にやる気を出す方法や向上心を持てるようなセミナーのようなものがあればよいと思う。また、親対象に思春期の子どもに対しての対応方法のセミナーがあったら是非行きたいと思う。
医療的ケア児の通う学校はどんな所なのか、どうやって通うのか情報を知る機会がなく不安である。まだ入学まで数年先のことだが想像ができなくて先の見通しがたない。ママケアのように年会費がかかる交流だけでなく、市内で集まっておしゃべりするだけの場所等をつくれないうちで思っている。
子どもの不登校。
老後のお金が心配である。家を買いたい、収入がなかなか増えない。子どもの教育資金。第2子を産むかどうか。自分はほしいがお金が心配である。
高校3年生なのに勉強しないので将来が心配である。
コロナ対策支援でひとり親世帯以外や市民全体への支援がふじみ野市は少ないと感じる。

<p>自分が病気になったり、倒れたら子どもがどうなるかが心配である。コロナの時も受入先が思い浮かばない。両親は高齢で遠方に住んでいる。独身の弟が見てくれるとは言っているがさらに遠方で1～2日は子どもだけで過ごさなくてはならない。友人のママが腹痛の時に、ふじみ野駅まで車で迎えに行った（その後入院）。タクシー代は無さそうであった。パディではないが、何かあった時にこの人に頼ってよいという制度があると安心（ベルギーのパディ制度）。子どもが母親と意見が合わない時に相談できる信頼関係の構築ができる大人の存在が必要である。</p>
<p>経済的に少し厳しく、できれば私（母親）も働きたいので保育園に入園したい。入園するのは難しいと聞いたので困っている。</p>
<p>上福岡駅近くの踏切の渋滞に困っている。中央公園内交番に警察官が不在（夜間）である。コロナ関連の支援策が薄い（志木市や和光市は手厚い）。良い病院が少ない。人と車のみ増えて必要な交通インフラの整備が遅れている。</p>
<p>経済面で生活が難しい場合、どこの相談窓口を利用したらいいかわからない。また、認可保育園に入園できるようにしてほしい。点数をただつけるだけでなく、家庭に寄りそって親身に相談にのってほしい。認可保育園に入園できない時の一時保育や無認可利用時の保育料の支援をしてほしい。母子支援を充実させてほしい。</p>
<p>現在第2子妊娠中のため、コロナの終息の見えない現状が漠然と不安である。自分や子ども、家族が感染したらと思うと仕事復帰が不安である（8月から復帰予定）。現在は保育園を自粛中だが、子どものストレスや食育、保育園で経験できることができていないので、子どもへの影響も心配である。出産時に立ち会い（夫）ができない可能性が高いことや、面会すらできないのではないかとということも不安である。立ち会い出産や産後の面会ができるようになればと思う。</p>
<p>子どもが食物アレルギーのため、給食の代替品を持たせることへのアドバイスや講習、この現状の改善（園での対処方法等）を充実してほしい。相談できる場があれば嬉しい。正解はなく、千差万別のため、孤独になりやすい。自分も含め、もっと勉強できる場があれば助かる。飲食店でも表示されているところが限られており、利用したくても利用しづらい。世の中全体でもっと食物アレルギーについて周知したい。</p>
<p>コロナで休校の時に中学校でオンライン授業をやってほしかった（教師が実際に授業をしている双方向授業）。</p>
<p>子どものことに関する相談先を充実させてほしい。同じ状況の方の話を聞きたい。</p>
<p>コロナ禍の中、休校が長引き、駆け足で授業が進み、子どもがとても苦しい思いをしている。ストレスから仲間外れ等もあるようである。学校に支援員さんを増やしたり、つらくなってしまった子どもたちの逃げ場を作ってほしい。</p>
<p>第2子が産まれる予定であるが、出産後の家事サービス（支援）が充実していないと聞く。実際に頼んだ知人は料理等を作る際も「あれはどこか、これはいいか」等聞かれ、ゆっくりできなかつたようである。キッチンが汚れ、掃除をする手間がかかり、「意味がない」と評価していた。その点の改善・充実があればよいと思う。</p>
<p>子どもがコロナで精神不安なため、その自分の子をフォローするのに自分（親）が疲れる。子どもは友だちと遊びたいけど、安全を考えると制限するしかなく、コロナのせいで子どもの遊び場も減った。</p>
<p>もともと消極的な性格の娘だが、進路を聞くと「ほうっておいて」と言われる。もう高校3年生だ。夫婦とも仕事であまり家にいないので、コロナで家にいた時間はそばにいてやれて、家事を手伝ってもらったり2人でゲームをして過ごしよい時間となった。大量の宿題や、学校が始まる直前に大学進学の見直しがあり、学校も大変なのはわかるが皆右往左往している。今一番は娘が進路を決めて頑張ることである。またコロナの影響が出てきていて、職場や学校がどうなるか心配である。</p>
<p>知的な遅れのある子どもを育てているため、将来自分たちが先立った後のことが気がかりである。</p>
<p>満身に提供されなかった給食の給食費はしっかり徴収するのに、水道代は減免するという市の政策形成能力が心配である。水道管は劣化していないのか。交換に費用がたくさんかかるのではないのか。市民は水道代の減免なんて望んでいない。生活保護世帯、低所得世帯向け、母子世帯向けの施策ばかりでうんざりする。中間所得層以上にとって魅力的な施策を打ち出さないと、良質な市民は呼び込めない。市の政策立案者はそういう意識はないのか。なぜゆうメールで送ってくるのか。経費の無駄である。三つ折りにして定形外等で送った方が安いのではないのか。結局返信用封筒に入れるときに三つ折りにするのだから最初から折って送ってほしい。アンケートの内容も、誘導する意図が透けて見える。本当に市民の意見を聞く気があるのか（特に問24）。なぜいちいちふりがながふっているのか。ふりがながないと読めないようなら質問の趣旨なんて理解できないと思う。ばかにされたようで不愉快である。</p>
<p>思春期発達相談（トゥレット症、チック症）がしたい。</p>
<p>教育資金が足りていない。</p>

<p>子どもが月に1度、扁桃炎で発熱するが頼れる親族が身近にいないため、職場での肩身が狭い。月1で起こる熱なので職場から疑われるし保育園からはこの時世なので嫌がられ、頼れる人もいないのでいつも自分が仕事を休むことになる。それも、熱がすぐ下がればよいのだが扁桃炎なので4、5日かかる。主人も8時～22時まで仕事なので毎日ワンオペである。病児保育は感染症（インフルエンザやアデノウィルス、ヘルパンギーナ等）の子どもが多く、仕切り等もない所で一緒に食事させたり、過ごさせたくない。きちんと個別対応してくれる病児保育をつくってほしい。願います。</p>
<p>コロナが早く終息するように願っている。</p>
<p>小さい子どもがいる家庭やお金に困っている家庭に、もっと費用を支援してほしい。このままだと高校も行かせてあげられるかわからず不安である。</p>
<p>子どもに色々な事をさせてあげたいがお金のかかることばかりである。スポーツや学習に関係する学校外の支出が多すぎる。スポーツも本人がやりたいことを応援したいが、親の知識や収入によって子どもの才能を活かしきれない。学校に関しても、大学に入ることが目標になっているのか。受験のための勉強はどうかと思う。高校3年間学習するために指定校推薦を増やしてはどうかと思う。</p>
<p>自宅近くの保育所を希望したが入所することができず、やむを得ず遠い保育所を利用している。保育所をもっと増やすべきである。特に公立保育所は、子育てに困難を抱える家庭にとって最後のよりどころとなるし、市にとっても子育て家庭の現状を直接知ることができるアンテナの役割を持つ。公立保育所の維持・増設をするべきである。</p>
<p>子どもが望む将来に対しての資金を確保できるか等、経済的な不安が常にある。</p>
<p>子どもの小学校の担任の先生の指導の仕方に疑問を持っている。特定の教科に関して、将来あまり必要ないと言ったり役に立たないと言ったりする。子どもは今まで学校に行きたくないと言ったことはなかったが、今年度から先生に会いたくないので学校が嫌というようになってしまった。今一番頑張っている習い事のこと否定されたようでやる気をなくしている。</p>
<p>自然災害時の市の対応能力と予防策、人口増加による治安維持ができるのか心配である。</p>
<p>一つくらいならと思っても、習い事をさせる余裕はあまりない。周りの家庭はたくさんさせているのですごいと思っている。コロナの対応が市町村によって違うので、幼稚園・保育園の対応もさまざまで、マニュアルができればよいと思う。こすず幼稚園に通っているが、三芳町のため何の対策もなく、園長も何も動かない。現在、年中組は35人で1クラスである。とんでもない人数で、行事も全て通常通り何の対策もせず、自由登園にするので、嫌なら休むように言われた。三芳町に言っても、私立なので何も言えないと言われた。園長にあきれている。担任の先生は若く、頑張ってくれているので園長のサポートもなくかわいそうである。ブラックな職場ではないかと思う。せめてイベントを分散させて行う等したらどうかと意見も言ったが「こちらが決めるので」と、全て却下された。園長は60歳くらいだろうか。今のコロナの時代を全く受け入れず、若い世代、30代の意見を無視する。今の60代がいかに恵まれた時代を生きてきたか知った方がよい。吐き出す場がなかったので書いてしまった。申し訳ない。自分達の親の世代と一緒にだが、その世代にあきれている。</p>
<p>母親が家出中のため大変である。</p>
<p>一般論だが、核家族化が進んで昔に比べて子どもが接する大人の数が減っているような気がする。近所にも育児が十分にされているかわからない子どもがいて、それを悪いと指摘する人も少ないし、いないのではと考えている。育児に関心の高い家庭へのサービス提供も大事であると思うが、関心の低い家庭に対して特にその子ども自身が自らの意思で相談やサービスを受けられるようになれば嬉しい。市だけでの対応は難しいかもしれないが、多くの子どもたちが幸せになってもらえたらよいと願っている。</p>
<p>通学路は危険が多いが、登下校の見守りが少ないのが心配である。熱中症が心配である。学校のトイレが和式である。</p>
<p>コロナでの休校に伴う学習面への影響が心配である。中学生まではスマホの制限をかけてほしい。</p>
<p>コロナの影響により、学校行事が中止になっている。本来、運動会や音楽会、修学旅行等を通して練習時間も含め、個々がやりがいを感じたりコミュニケーション能力を高めたりできると考えているが、そういう機会がどんどん削られてしまい、子どもが悲しがっているしそれを見守るのもつらい。</p>
<p>他県から引越してきたため、相談窓口がわからない。コロナにより、より相談相手が必要だけれど、そこへ行くのも感染を考えると怖い。コロナ前は何とかかなと思ってた。</p>
<p>コロナの影響で、勉強ばかりになってしまっている小学校を子どもが楽しいと思っていないようでかわいそうである。</p>
<p>上野台小へ入学予定だが、児童数の増加により教育やサポート体制が悪くならないか心配である。学童にも入れる予定だが、そこでの毎日の生活の様子が不明のため心配である。できれば宿題等をやれるように促してほしい。</p>
<p>進学等にお金がかかるが準備できるか不安である。住宅ローンを払いつつメンテナンス等でもローンを組み、子どもの進学にもローンを組み、返せるのか心配である。</p>

第1章 保護者向け調査

市外の幼稚園に通っているため、同じ小学校に行く子との交流がなく入学後の友人関係が不安である。年長の学年で入学前に交流できるような機会があればぜひ参加したい。
娘が学校や学童に行けない日があり、仕事を休みながら過ごしていて収入が減った。コロナとは関係ないことだが、こういうケースがあることも知ってほしい。
先天的なハンディキャップのある子どもへの教育の決め事に隔たりを感じる。健常者の為のシステムに、ハンディキャップのある人間を入れたら当たり前についていけない。現状の学校の仕組、就労への仕組を改良すべきである。特定のことははるかに上手にできることもある。市というより国が決めることであるが、市として取組、リーディングして他に広げていける市政を望む。
今、ふじみ野市内にマイホームを検討している。この町が大好きでずっと暮らしていきたいと思っている。ふじみ野市の支援計画に大いに期待しているのでどうぞよろしく願います。
下の子（1歳11か月）の言葉がなかなか出てこない。
出産を控えている。上の子2人は小学生で、主人は子どもたちが起きる前に出勤し子どもたちが帰宅する頃には帰って来られない。私が出産し入院している間にどのように小学校に通わせようか悩んでいる。
大きな問題ではないが10か月の息子が奇声を上げることが多く、少しでも思い通りに行かないと大きな声を出すため近所の方へ迷惑をかけているのではないかと毎日頭を悩ませている。
強制的にPTA役員をやられる心配がある。PTA役員によって給料が減る場合は保証してほしい。義務教育中は教材費は全て無料にしてほしい。年に数回しか使わない書初めの道具の強制購入はやめてほしい。
4月に上の子が小学生になった。私は主に在宅で働いており、出社しなければいけない日と仕事が忙しい時のみ、幼稚園の預かり保育を利用していた。ところが小学校は、放課後児童クラブに入るか否かという選択しかできず、私のように月に数回しか利用しない者にとっては使いづらく割高である。柔軟な働き方を、という時代の流れからも、日割での利用を推し進めてほしい。市役所で相談した際は、ファミリーサポートを勧められたが、月に数回利用すると結局放課後児童クラブの1か月の利用料と同じくらいになってしまい、今は仕方なく高齢の母を頼っている。
住宅がほしいと考えているがふじみ野市は高すぎる。充実した医療機関が少なく、上福岡総合病院等是对応が本当に悪くて行きたくないので、川越へわざわざ行くようにしている。クレームになってしまい申し訳ない。現在求職中で、子どもは保育園へ通わせているがそろそろ退園になってしまうので焦っている。また自粛に入ると就職活動ができなくなる。
妻が就職活動するにあたり、企業からは保育園が決まらないと雇用は難しいと言われ、保育園では働いている人が優先されることが多いと聞くのでその悪循環に悩み、経済的な部分で心配している。
高校・大学・専門学校の無償化を望む。
コロナ渦での子どもの精神面が心配である。学校生活での友達との距離感（近づくと怒られる、給食は黙々と食べる等）、また休校になった場合、再開時に詰め込み授業をする不安、いつもの風邪でもコロナだったらどうしようという必要以上に不安になる。
保育施設への入園に関しての要望なのだが、ふじみ野市と富士見市で制限をなくしてほしい。ふじみ野駅周辺は富士見市の方しか入園できないと聞いた。また、他の自治体では不承諾通知を希望すれば出してもらえたのに、ふじみ野市ではだめだと言われた。保育園の入園時期を自由に選択させてもらいたい。給付金の支給や、対象外の子どもへの市からの特別給付金等をありがたく思っている。ふじみ野市に引っ越してきてよかった。
困っていることを以前保育課に相談したが、ルール通りでないのだめだと断られた。本当に助けてほしい時に誰も助けてくれないと思った。
コロナの影響により夫の収入が2割減になったが市から助成されるのは1か月丸々休業になった人のみで、我が家は対象外であった。来年度は申請すれば助成されるかもしれないが、現実的には今困っている。2割減は会社の業績が戻るまで続く。また、昨年までは3人の子どもが市から就学援助を受けられていたが、上の2人の子どもが高校生になり今年を対象にならず今まで以上にお金がかかるのに、非常に厳しい。また、高校生まで医療費の支援もしてほしい。学校の健診で再検査になり1回7,000円でエコー等を受け、さらに大きい病院を受診する指示が出たが金銭的に行こうか迷ってしまう。他にも眼科・歯科・耳鼻咽喉科等もまだまだ受診することも多く非常に辛いところである。
自宅周辺や上福岡駅周辺に外国人や知的障害者が多く治安に不安がある。
思春期で多感な子どもへどう接しどう対応すればよいのか。何をアドバイスしたらよいのか。親はどこまで助言をしたらいいのか。
高校補助金制度をわかりやすくしてほしい。

<p>ふじみ野市はとてもよい町だとは思っているが、どうしても上福岡のイメージはよいものではない。今のところ、1歳の子どもはそのまま公立の小学校へ入学させるつもりでいるが、周りの環境について不安を抱いてしまう。非行や問題行動が起きにくい教育施設を築いていただきたい。</p>
<p>コロナ渦で収入が減っているので急な出費があると辛いことがある。子どもが3歳になるまでは子育てに集中したいので働くのを我慢している。子育てしながらも働ける就職先がもっとあればよいのにと思っている。</p>
<p>1歳7か月の子をもつ母親である。今年入園の保育園に応募したが、残念ながら待機児童になった。夏も近くなり外遊びが難しい季節になってきている中、不安なことは家遊びの限界である。コロナウィルスが終息しない今、支援センターなどで遊んだり、商業施設、保育園の園庭開放も積極的に行けない。この夏をどう乗り切ろうか考えているところである。プールは塩素なので殺菌作用があり有力候補なのだが、お金がかかると思うと悩む。できれば大人も割引などがあると嬉しい。</p>
<p>問 15 について、朝食が週 4～5 日なのは土日が朝昼一緒の時間に起きてくるから。問 16 について、夕食を「1人で食べる」については親はそばにいるが、洗濯物をしていたり他の片付け物をしているので家の中にはいるけど一緒に食べない（私はすべて家事を終えてから夕食をとる）。</p>
<p>自分が病気になり今後のことが心配になる。学校卒業後仕事に就けるのか。子どもの将来が心配。兄弟もいないし親戚等も近くにいないので。</p>
<p>コロナ対策、学校では教室の席や休み時間のソーシャルディスタンスがとれていない。リモート授業や消毒などの作業の委託（先生がもっと生徒にふれる時間を増やす）、学校の人数を増やす。</p>
<p>コロナによる自粛生活で家にいる時間が多く、家庭内がぎくしゃくしているときがある。支援センターなどにも行きづらい（感染リスク）。だが、たまに利用させてもらっているが外に出ると気が晴れるので続けてもらいたい。今後もしばらくこのような状態が続くが、この時代に対応した子育て、学校の支援をやってほしい。来年子どもの受験もコロナで通常通りにはいかない中、それに合わせた進路指導もお願いしたい。子どもの感染も広がっているように聞くと、情報開示で感染防止に努めてもらいたい。</p>
<p>どのような状況にある子どもでも等しく衣食住が保証され、教育が保証されるようになればよいと思う。</p>
<p>子育てと仕事の両立が上手に進めることができるかとても心配である。企業に対して主張できる柔軟な働き方について詳しく知りたいと思っている。他の方の経験の話も是非知りたい。</p>
<p>市の公園をすべて禁煙または分煙にしてほしい。子どもが遊ぶ公園に吸い殻が落ちているのはどうかしてほしい。</p>
<p>私の家庭は近くの祖父母がサポートしてくれているので共働きが成り立っているが、これがなければ両親のどちらかが会社を辞めるしかなかったと思う。学童は預かりの時間が短いのもっと柔軟に対応してくれる預け先があると安心して働ける親が増えると思う。</p>
<p>教育内容の充実、医療費補助の拡充、予防接種の負担（大人含む）。</p>
<p>子どもが成長して働くまで自分の収入で育てることが可能なのか、そのときに大学や塾にかかる費用はいくらになっているのか。物価や奨学金制度の在り方などが変わる可能性もあり、果たして経済的にゆとりをもって子育てできるのかという不安がある。そのあたりに不安がある現状だと少子化は止められないのではないかなと思う。</p>
<p>コロナ問題、子どもの集団生活、学校へ行かせることへの心配。仮に私たち親が感染してしまったときの収入減への不安。高校生の子どもが昨年、今年と入院・手術をし高校を辞めた。通信へ転学したが今後が心配。健康面の不安からあまり外へ出なくなってしまった、このまま籠ってしまわないかという不安。</p>
<p>うちの子は中学1年生のとき、摂食障害・拒食症になった。中学は身体測定が1学期だけだった。医者に2学期3学期の記録はないのかと聞かれ、年1回だということと言った。もしこの体重減少を学期ごとにしていけば防げたとは思わないが、身長・体重だけでも測定した方がよいと思う。子どもは自ら悩みを言わない。気づいてあげることが大事である。今後同じような子ができないよう検討してほしい。いじめに対しては調査などは子どもは望んでいないと思う。親としてはいじめの事実を内申点-3 など表す制度があればいいと思った。被害者の権利も欲しいと思った。</p>
<p>極度の勉強嫌い。</p>
<p>夫の親が近くにおらず、子が祖父母との関わりをもつ機会が少ないので、もう少し機会をもたせてあげたいと考えている。そのため私が体調を崩すと子の面倒をみる人が平日の日中誰もおらず、助けを呼べない状況である。保育園児と未就学児を育てている身としては緊張の日々である。ひたすら成長して安心できる年齢になるのを待ち遠しく思うこともある。同じような境遇の方はどうしているのだろうか。</p>
<p>夜間の病院を充実してほしい。駒林の小児科夜間は 22 時までとなっているが、21 時 40 分くらいで受付がいつも終わっている。21 時 55 分にかけたら誰もでない。他にに行ける場所を作ってほしい。</p>
<p>近隣の公園でボール遊びができなくなった（鈴松園）。普段多くの子どもたちが遊んでいてよかったのに現在は誰も遊んでいない。近くにボールで遊べるところがなく非常に困っている。遊べなくなった理由がわからず、場の有効活用ができていない。もっと子どもたちが遊べる環境作りについて検討してほしい。</p>

第1章 保護者向け調査

<p>ふじみ野市は子育て支援が足りない。保育園も認可とはいえ私立ばかりにしてしまったり、子どもを蔑ろにしているのでは。共働き家庭への支援が酷い。幼稚園の預かり保育の延長保育代の申請については書類が多すぎる。忙しいのがわからないのか。だいたい平日に申請しに市役所へ行けるわけがないのに、いちいち毎月申請を出せるとは本末転倒だと思わないのか。しっかり考えてやってほしい。</p>
<p>ふじみ野市に住み始めてまだ日が浅いが、住みやすいよい街と思っている。</p>
<p>もうやめてしまった方だが、市役所の教育相談員の方にはとても助けていただき、親子ともに前向きになれた。そんな方がいたことがとてもうれしかった。</p>
<p>世間では育児放棄やネグレクト、児童虐待のニュースが多々流れ、そのたびに心を痛め、我が子はしっかり育てていかねばと思っている。ぜひこのような調査を活かして、ふじみ野市の子どもたちが悲しい思いや怖い思いをせずに、幸せにすくすくと育つ環境づくりをお願いしたい。</p>
<p>子どもの大学費用が心配である。私立大理系は年間費用が高いので、子ども2人が大学生になった時は心配である。</p>
<p>子どもに多くの教育費が掛かるなか、コロナウィルスにより収入が大幅な減収だが、補助の対象ではないことが悩みである。</p>
<p>子どもの受験のことが不安である。子どものゲーム、ネットの時間が長く、ゲーム以外でやり甲斐、楽しさを見つけれず、ずっとゲームで過ごすことを止めさせたい。コロナ感染者情報を市のTwitterで確認しているが、小学生、幼稚園児の感染については公表されていないことや、また小学校の休校が1日だけだったことも不安に感じる。</p>
<p>税金が高すぎて困る。</p>
<p>これからの生活が不安である。子どもが専門学校を希望しているが、費用の問題があり不安である。今後離婚した場合、家やローンのこと、来年に18歳になる子どものこと等生活できるか不安である。小さい子どもの手当はあるが、年齢が上がるとお金は掛かるのに手当がないので、心配で今の状況から変えることができない。</p>
<p>市内の小中学校や幼稚園でコロナ感染者が出たのに、三密の環境にいる子どもや先生たちは、誰一人濃厚接触者とならず、PCR検査もされないまま学校と幼稚園が再開されている。コロナウィルスの感染拡大を助長するような市の対応に不安を感じる。もっと情報をオープンにしていかないと、余計な噂で感染児童が学校に居づらくなると思う。</p>
<p>公園でのボール遊び禁止等の制限による子どもの運動能力低下に不安を感じる。</p>
<p>コロナウィルスの影響により、学校に行けなくなった期間で遅れた学習面が気になっている。</p>
<p>子どもとの時間を増やそうと時短を選択しようと思うが、時短を選択すると保育園に入れず、常勤で働くしかなかく、子どもとの時間を増やせないことに悩んでいる。</p>
<p>小学校のプールの回数が少なすぎる。スイミングスクールに通わせない限り、小学校で泳げるようになるのは無理である。せめて夏休みの参加は自由にする、もしくは、エコパの子どもタイムを土曜だけでなく日曜も増やす、長期休暇の際にはほぼ毎日にする等、子どもがプールに入る回数を増やしてほしい。</p>
<p>このコロナウィルスの状況で、勉強の遅れや学校内で感染した場合の対応等今後の事が気になる。コロナウィルスによる失業もある中、支援がどこまで受けられるか等不安を感じる。子どもが健康に成長して、勉学に勤しむ環境が得られるよう支援をお願いしたい。</p>
<p>危ない箇所が気になる為、公園の整備（特に枝の剪定、雑草処理）にもう少し予算を割いてほしい。</p>
<p>まだ未定だが、高校卒業後の進学（たとえ専門学校でも）から卒業までに掛かる費用が心配である。医療費無料を高校卒業の18歳までにしてほしい。</p>
<p>子どもが学習内容を理解できないまま、どんどん先に進んでしまうことが心配である。貯蓄が少ない為、中学3年生の子ども希望が私立の場合支払う事ができない。もし入れる所に入学しても、本人の希望する学科や学校でないの、不登校になるのではないかと心配である。全く勉強せず、朝方までゲームしているので怒ったのだが、その際に暴力を受けたことがあり、それを見た子どもが怖がり、その子どもの精神面も心配である。</p>
<p>公園でのボール遊びができない環境は、自分たち世代からすると非常に恵まれなれないと感じる。年収700万程度で持ち家という余裕があると思われがちだが、そこまでの余裕はなく、家計は常に逼迫している。子どもの習い事は周辺の子も含め当たり前の中、市としての支援があると非常に助かる。</p>
<p>自分の周りで子育てに悩んでいる家庭がある。しかし、そういった家庭は、どんなに情報を提供しても窓口を増やしても無意味である。何か問題が起きた時はチャンス。一番関われる機関を窓口にし、少しずつ信頼を得ながら介入しないことには難しい。大体子どもの問題は親や家庭にあるので、もっと深く継続的に支援していかないと子ども親も不幸になる。特に、母親が育てず祖母が育てている家庭は要注意。</p>

【公的支援世帯】

内 容
保育園児が3人いて、現在休職中である。正社員はもちろんパートやアルバイトもなかなか決まらない。保育園の為、風邪や熱を出したら、次の日は登園できないし、雇う人も嫌なのは分かるが、困っている。週4日以上、1日4時間以上が希望だが、ひとり親にはもう少し融通をきかせてほしい。
仕事が忙しく、休日は疲れ果てている為、子どもの面倒をあまりみられない。
大学生と高校3年生の子どもがいて奨学金、給付金等を利用しているが、学費は高く、2人分だと特に大変である。一番お金が掛かる時期に支援があまりないように思うので、すべての子どもたちがもっと気楽に学生生活を過ごせる社会になるよう支援策がほしい。
ふじみ野市は子育て支援に力を入れていると言っているが、ひとり親家庭に対する支援はないと思う。手取り20数万では、親子で自立して生活できない為、実家に住み、そこにお金を入れて生活している。コロナでの定額給付金は有難いが、全世帯に出ているものであり、母子には足りない。まだ産まれていない子どもにあげるより、もっと困っている人たちに手当をあげる等世帯の家庭状況をみて支援してほしい。ふじみ野市は子育てしやすいとは言えない。
行政の書類や児童扶養手当の更新など、会社を休まないとできず大変なので、土日でも受け付けできる体制にしてほしい。
コロナの影響で就職活動をしていても全然見つからず、保育園の求職期間に間に合うのか不安である。期間は延長されても、就活が難しい。
母子・父子家庭の支援をもっと充実させてほしい。医者や病院にかかった際、ふじみ野市の受給者証はひとり親と書いてあり恥ずかしいので改善してほしい。受付で差別的な目で見られている感じがする。
シングルマザーの支援策をもっと充実させてほしい。
母子家庭である。保育園の規定の日数や時間が両親のがいる規定と同じで悩んでいるが、誰にも相談できない。卒園できないまま、学校に入学させては子どもがかわいそうで心配である。
コロナの影響で、大学に行きたくても経済面で行けない子どもが沢山いるので、給付型の範囲をもっと広げてほしい。小さい子ども対象ばかりで、18歳以上の子どもたちの事は考えてないように感じる。あまりバイトも出来ない状況なので、もう少し考えてほしい。
障がい者の親である。高齢者社会ということは重々承知だが、障がい福祉（特に肢体不自由の福祉サービス）が手薄に感じるので、もう少し障がい福祉施設の間口を広げてほしい。
コロナの影響でパートに行けず、また時間帯や子どものこともあり、新しいパートを探すことが難しく、今後の生活が不安である。生活保護を受けている為、早く安定したい焦りもあり、また体調が悪くても自分のことで病院に掛かることに気が引けてしまう。安定させる為にパートを変えたり等行動しようと思ってもうまくいかず、また子どもも大きくなってきていつまでも保護を受けていることに悩んでいる。窓口に行くのがなんだか悪いことのように感じる。
子どもたちの将来や、自分の今後が不安である。
日中、祖母が子どもを見ているが、とても反抗的である。中学になり、反抗期を迎えた時が心配である。まだ母子家庭という事を周りに知られていないようだが、友人間に広まった時に、子どもたちがどう受け止めるのか心配である。
パワハラが原因で現在転職活動中だが、コロナの影響、シングルマザー、子どもが乳児の条件下で仕事が見つかるか不安である。保育園を追い出されないか非常に不安である。相談するところもわからない。
できれば子どもを大学まで通わせたいが、そこまで仕事を続けられるか不安である。母子家庭の為、母親一人では年齢や身体の問題で、いつまでも体力がもつとは思えず、支えていける自信がない。就労時間が基本9:00～20:00の為、子どもとの触れ合いが持てない（日中は、祖母が見ている）。
子どもが小さかった頃は、子どもの具合が悪くなると預ける場所が無くて困った。シングルマザーなので、自分の具合が悪くなった時も、子どもを気軽に預けられる場所がなくて困った。
上の子どもが高校受験で、借りている家を退去しなければならず、アパートを借りても今の家賃から2～3万円多く出さないと住めない事が今一番の心配事である。
働いているがお金が足らず苦しい。児童手当の支援額を上げてほしい。
ひとり親なのに手当も貰えず、養育費もなく、子どもを大学まで行かせられるか不安である。塾にも今後行かせたいが授業料が高い。
元々子どもが好きではない自分が、年子を育てている。子育てがうまく行かず、毎日イライラしている。子どもに心ない言葉や態度をとってしまい、自分のことを毒親だと思う。また毒親の元で育った子どもはどうなってしまうのか心配である。些細なことですぐに怒鳴ってしまい、いい子にしている時は可愛いと思えるし優しくもできるが、反抗してきたり、癩癩を起こされると耐えられず、ノイローゼになる。育てづらくて悩んでいる。
コロナで収入が下がるなど影響が出ていて、長引くかどうか心配である。支援があれば有難い。

第1章 保護者向け調査

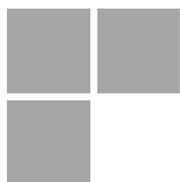
<p>当たり前のように塾に行く時代だが、母子家庭の我が家は余裕はなく、中三の二女は、何も言わずテーブルで教科書を広げ学習している姿を見ていると胸が苦しく、申し訳ない気持ちになる。小四の三女は、今後教育の格差が出てしまわないか不安である。スマホも持たせるのが普通のようなのだが、支払うのは親である。持っていない子どもは、時には遊んでもらえないこともある。親として考え深いことは多々ある。</p>
<p>子どもが不登校になり、悩んでいる。この先の学習方法や進路など相談できる場がほしい。</p>
<p>ふじみ野市役所の子育て窓口に行くと、担当者以外の人達の殆どが暇していたり、色々と筒抜けで嫌である。こちらは必死で働いているのに、暇している人達を見ていると、こんな暇で給料を貰っていると思うと頭にくる。</p>
<p>昨年度、コロナの関係で経済が不安定になり、ふじみ野市の実家へ引っ越してきた。家族に、家賃や生活費として以前の家賃と同じ額を支払い、世帯も別にしてあるのにも関わらず、同居人数と同居者の経済で色々と決められる事に不安や不満もある。自身の世帯は、自身で生活をしているという証明ができる様にしてほしい。ズルをする人ばかりに着目しないでほしい。</p>
<p>来年で小学4年生になるが、就労により学童に行かせる予定である。同じくらいの歳の子どものも減ってくると思うので、いつかは家で留守番させようと思うが、夏休みなど長い休みの時は、学童の方が安全で行かせ続けたい気持ちもある。うまく支援を活用しながら、できる方法はないか考えている。習い事も、仕事の為に行かせることは厳しく、一人で行かせるのも不安である。</p>
<p>不登校の子どもの進路、将来のことが不安である。</p>
<p>ふじみ野市はとても子育てしやすい。</p>
<p>今ではないが、子どもが未就学児の時代、育児ノイローゼとストレスから児童相談所に電話したところ、匿名での連絡を断られ、殺人の可能性を疑われた。育児と仕事の自信を失っていた。助けを求めて電話したのに、対応は冷酷だった。</p>
<p>児童扶養手当の額を引き上げてほしい。</p>
<p>児童手当等、役所に行かずに手続きができるようにしてほしい。所得制限でもらえない手当の為に、限られた日時に手続きに行かなければならない事が納得できない。ひとり親でも手当を貰わずに働いていることを理解してほしい。毎年、窓口で言っているが、全く解消されない。</p>
<p>お金のこと、子どもの将来のことが不安である。</p>
<p>子どもが18歳を過ぎたら生活が厳しくなるのではないかと不安であるが、子どもの希望も叶えたい。子どもの為に貰っている支援金を生活費に使ってしまう。パートから正社員になれるよう頑張っているが、子どもが4人いて、ひとり親でもなれるのか不安である。子どもが具合が悪くなくても、休もうにも悩む。無理してアパートで暮らしているが、本当にそれでいいのか悩む（学区に市営、県営がない）。子どもにイヤな思いはさせたくないの、学校は変えたくない。インフルエンザが子どもに多い為、かかった際は補助してほしい。今は安い所へ行って、予防接種を受けている。</p>
<p>受験生なので、新型コロナウイルスによる学力低下、体力低下が心配である。家庭ではゲームばかりで、注意すると怒る。</p>
<p>子どもと2人暮らしだが、子どもが中学3年生で来年受験なので勉強の遅れに不安がある。勉強の事を口にするに反抗する。持病もあり病院に通院中だが、先の事を考えると不安である。経済的にも先が見えず厳しく、今生きることでいっぱいである。</p>
<p>父子、母子家庭の子どもの医療費は、成人（18歳）まで支援してほしい。</p>
<p>ひとり親世帯で実家暮らしだと、市から手当が受けられない。住みやすい街と言っているが、正直住みやすいとは思えない。</p>
<p>離婚で養育費が支払われていない家庭である。マイナンバーカードなど番号で追跡できる等きちんと支払われる仕組みがあってほしい。</p>
<p>コロナウイルスで勉強の遅れを取り戻す為の養育費がかなりの金額になる。埼玉県内の私立の高校は、不便な所にある為行きたい学校が見つからないので、都内の私立へ行く為の補助金を出す仕組みを作ってほしい。</p>
<p>ひとり親家庭だが、子どもの将来を考えると奨学金を借りても大学は行かせてやりたい。認知症の親も抱えながら一人で働いているが、来年には雇用契約が切れ、定年になる。転職先がすぐに見つかるのか、収入を切らすことなく借金を返していけるのか不安である。</p>
<p>子どもが病気になった時、またその際の経済面が心配である。今までのふじみ野市の支援は有難いが、子どもが大学卒業（子どもが自立）するまでの支援があってほしい。</p>
<p>ひとり親（母）で反抗期の子ども2人の子育てが心配である。</p>
<p>公的な事に期待していない。</p>
<p>高校生の子どもの進学について経済的に大変厳しい。学校からは「コロナで高卒の求人が減っているので進学（専門等）も視野に入れてほしい」と言われたが、それだけの資金もなく、親、親戚もいない為、保証人が立てられず、奨学金を借りることができるか分からず、相談できる場所もない。ひとり親のせいで子どもには申し訳なく思う。</p>
<p>学費について不安である。高校受験の為、塾へ通わせたいが月謝が用意できず、子どもに申し訳なく思う。</p>
<p>子どもの受験や就職などの費用が不安である。また、収入が少ない為長時間労働をしているが、更年期障害の症状（疲れやすい等）が出始めてきたことも不安である。</p>

私立高校の入学料、授業料免除制度を設けてほしい。また県立（市立）高校の授業カリキュラムをより充実させてほしい（プログラミング、ビジネス、漫画のイラスト等、専門的な分野の授業も自由に選択できる環境整備）。また奨学金制度を充実させてほしい（金額の増額、県外私立への制度適用など）。
母子家庭への経済的支援、住宅支援を受けられるようにしてほしい。
社会保険に入りづらくなっているのが辛い。
日々の中で子どもとの関わり方（言葉遣い、生活態度等）や、中学生の子どもの今後が心配である。
子どもが高校受験を控えているのに、全く危機感を感じていないことが不安である。
子どもが進学する時のお金が心配である。子どもの夢を叶えるには、大学までいかないと叶えられないが、自分のパートだけの収入だけでは無理だと感じる。
子どもが高校2年生だが、大学や就職でお金がすごく掛かるので支払うことができるか心配である。
母親が倒れた時に子どもをどうしたらよいかわからず困っている。
ひとり親の公営住宅の優先入居順位をもっと上げてほしい。また入居できる場所をもっと増やしてほしい。
シングルマザーで両親と子どもと4人で暮らしている。職場までは片道2時間かかるが、とても協力的な両親の為、不自由なく過ごして子どもも懐いている。しかし、このままだと両親も年をとってくるので、両親の負担にならないか心配である。職場近くに子どもと2人で住むこともできるが、子どもにとって最適な環境はどこなのか、全員が幸せに過ごせる暮らし方はあるのか等相談したい。
これからの子どもの養育費をどう捻出したらよいか不安である。今の状態では高等教育は難しく、教育（塾）などは高額で行けないので学習支援があってほしい。
大学へ行かせたいが養育費が支払われないこと、子ども（18歳）の今後（高校中退後、アルバイト生活）や、現在の仕事、親の介護などが不安である。また相談したところで何も変わらないのではとも思う。
介護の為仕事ができず、収入が不安定で不安である。
大学への進学費用が不安である。
子どもの塾が高くて困る。高校受験では、昔と違って中学の先生は何もしてくれない。塾に通っていないと英検やテストのコツも教えてもらえず、高校の情報や確約も塾がほぼ持っている。中学の先生は、子どもの偏差値すら、こちらが伝えないと知らないで、アドバイスも出来ない状態であり、義務教育とは名ばかりである。コロナウィルスによる3か月の間、塾では朝から夕方まで毎日オンライン授業があったが、塾に行けてない子どもは落ちこぼれ状態である。
コロナウィルスにより高卒で就職先を見つけることは難しそうで、また大学進学にかなりお金が掛かりそうなことが不安である。
今の収入で、将来子どもを大学入学から卒業まで支えられるか不安である。子どもを奨学金の借金に縛らせたくないで、何とか今から貯蓄を増やしたいが家賃の負担が重く難しい。
保護対象世帯である。一定の決まりの中での支援であることは理解しているが、コロナによる現況や、家庭内事情等（保護に至る理由）から、その場に応じた一人ひとりに寄り添った支援も考えてほしい。苦しい時に、以前の支払いの為借金を背負うと心理的に前向きになれない。フル勤務の為役所へ行くことも厳しく、もう少し一人ひとりに応じた対応をしてほしい。電話での会話内容も、子どもも年齢が大きくなると気を遣う。小さなことだが、気を配ってくれたらありがたい。
本当に困っている人は、自分自身で頑張っている。気軽に支援を受けている人は向上心がなく、その環境に甘んじていると思う。自分自身が頑張らないのは勝手だが、他人を引きずり込まないでほしい。
平日働いていて、市役所へ行く時間が取れない。マイナンバーカードを申請したが、カードを受け取りに行けないので休日や時間外の対応をもっと増やしてほしい。期日の迫っている書類を取得する際は、仕事を遅刻や早退する時もある。子どもを一人で育てているので、収入は減らしたくない。マイナンバーカードで書類を取得できるようになってほしい。
子どもが18歳になると、ひとり親でも医療費の支払いが始まるが、進学等で出費もある為厳しい。
コロナウィルス感染拡大を防ぐ為でも、経済活動が止まってしまうと、元配偶者からの養育費がこれからはばらく止まってしまうのではと不安に思う。緊急事態宣言下の休校措置は、お弁当作り、子どもの家庭学習状況を確認すること（学童クラブでやった課題の丸付けや分からない箇所の説明等）で、仕事以外の時間を平日にとらなければならず大変だったので、できれば休校措置は無いようにと思う。シングルマザーの家庭の状況を、行政にも理解してもらい直接的支援も考えてほしい。また子ども・子育て会議のようなメンバーに当事者または福祉的な視点を持つ者も入り、施策を決定してほしい。
子どもにお小遣いをあげないと、親のお金を盗んだトラブルで数回呼び出されたり、また友人に高額に奢ってもらい、返金するという状況が増えてしまう。
中学3年生の子どもが学校に行かないことが不安である。

第1章 保護者向け調査

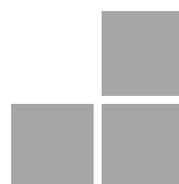
<p>働ける時間や給料は決まっているので、生活費の支援金の増加を希望する。病院等での窓口の支払いをなくしてほしい。母子で月1回1,000円の支払いもつらい。お金がない時に診療も治療も受けられないので、全額を市に負担してもらいたい。自転車の乗車率が高いのに、公共の場が有料なのは驚いた。気軽に無料でタイヤの空気ぐらい入れさせてほしい。大きいスーパーや、人のたくさん来る駐輪場にも設置してほしい。老人福祉について、資産を確認してお金に余裕のある人には適用せず、困っている人にだけに対応してほしい。ここに使いすぎている。老人増加に余計拍車をかけている気がする。あまり詳しくないけれど、寝たきりで病院にいただけでお金が入ってくるシステムをやめてほしい。健康で、自由に自分の意思が通せるのだから生きているのだと思う。難問だと思うが、老人福祉より未来の子どもにお金をかけてほしい。コロナでつらいのは大学生・専門学生である。税金滞納ではなく、免税にしてほしい。本当につらい。少額しか稼げないので老後資金の貯蓄ができない。お金のない若い世代から年金等を絞り取って老人に使い、自分達がもらえないのは、日本の未来は最悪なものになりかねない。私たちはどうなるのか。</p>
<p>子どもが生徒手帳を紛失した時に私が外国人という理由だけで、お店の人に親切な対応をしてもらえなかった。</p>
<p>今後の金銭面の不安が一番大きい。今は、高校までは義務教育と変わらない時代になってきている。だが、ひとり親だと金銭面できつくなることが多いと思うのももっと援助がほしい。</p>
<p>世帯は別だが母が認知症になり、子どものことも考えなきゃいけないけれど母が心配である。父と弟がいるがこの先が不安である。ひとり親への支援の充実やひとり親向けの街コン等があるとよいと思う。</p>
<p>母子家庭だが養育費をもらっておらず、貯金することもできなくて今年中学3年生の子どもの教育資金が不安である。25歳の長女は精神的な病気で仕事ができない状態なので、私の毎月の収入だけでは生活が苦しい。</p>
<p>新型コロナウィルスの感染が拡大している状況の中、もし自分が感染し入院することになったらと思うと、感染症でなければ遠方の実家を頼ることもできるのだが、母子家庭で親戚等が近くにいない我が家は、子どものことが心配でならない。以前からあったそういった不安を昨今痛感している。</p>
<p>家が古く間取りが悪い。兄妹のため、将来的にそれぞれ私室があるのが望ましいと思うが、今後の子どもたちの教育費、増えるであろう食費のことを考えると経済的に不安で、住み替え・リフォーム・住宅購入のいずれも踏みきれない。</p>
<p>持家だが、修理するところが多く出てきた。安価で信用できる業者がわからず、男性がいないので高額な支払いの見積もりをされたし、修理も進まないことが多い。安心して頼める業者の紹介などあればよいと思う。</p>
<p>子どもの教育費が無く、学習の遅れをフォローできない。収入が少ないため服が買えない。食料も、安いうどんやラーメンばかりで炭水化物過多で栄養のバランスがとれていない。病院にも行けない。子どもの発達障害について相談できるところがない。学校の先生が不適切な発言をしたり態度が悪かったりするのが不安である。昨年は学年主任を中心に悪く、ひどかった（先生同士のいじめ、暴言、不正の疑いもある）。</p>
<p>自分自身が高校までしか行っていないため、子どもは大学に行かせたいと考えているが、学費の面できついのではないかと思っている。児童扶養手当がもらえる条件が高いと思う。普通に会社員で働いている私は一度ももらえたことがないので、金額の見直しを希望する。</p>
<p>賃貸住宅に2割程度の手当がほしい。収入を増やしても、比例して税金が引かれるので貯金にまわらない。今は普通に生活できているが、万が一のための貯金もできている上での生活水準を知ってほしい。車を持つことに補助や手当がほしい。裕福な家庭は車で学校以外の体験をしたり、生活での苦勞（買い出し等）を減らせるが、そうでない場合、学校以外の体験や思い出はつくってはいけないうか。苦勞し続けたいいけないのか。浮気された人へのカウンセラーがほしい。浮気によって精神的ダメージを受け病気になった。</p>
<p>長女が大学生で、長男が来年から大学へ入学する予定のため、学費の捻出について相談したい。奨学金の情報や、利用できる制度の情報を収集したいが調べる時間がない。制度をよく知る人にアドバイスや情報を教えてほしい。</p>
<p>母子家庭だが、子どもの父親が飲食店経営のため、コロナの影響で養育費がもらえなくなった。一時的ではなく今後数年にわたり支払い不可と思われる。習い事や、今後塾等にも行かせられない不安がある。ひとり親家庭への援助を充実していただけるとありがたい。</p>
<p>派遣で働いているので経済的なことが心配である。</p>
<p>生活が大変で困っている。子どもが5人いて、私一人の収入では生活ができない。市の方でもう少し考えてもらいたい。学校にも行かせることができなかつたり、お金がかかるので食費が足りなくなることもあり、困っている。子どもの進学も不安である。</p>
<p>親が病気になって、高齢の親に頼めないときなど、他に預かってくれる場所などを知りたい。自分が体調を崩し、通院したい日に子どもも体調を崩してしまうと通院ができなくなるので、そういった時は病児保育が使えるのか、基本的なことがよくわからない。</p>
<p>市営住宅に関する情報を知りたい。</p>
<p>所得が少しの為、所得制限により児童扶養手当が貰えなくなった。でも生活は変わらず厳しく、本人が進学を希望した場合、親として悩んでしまう。</p>
<p>子どもの大学進学に向けての資金がなく、奨学金を借りても返済が心配である。</p>
<p>今まで困った時は市役所に相談していたが、コロナウィルスの影響で行きづらくなり困っている。子ども（小学生）が不登校になってしまったが、親は仕事に行かなければならず、家に一人でいさせているのが心配である。現在はパートの収入が少ないので、習い事をさせられず、家に電話、パソコン、インターネットの環境もない。収入が多く、育児と両立できる仕事が見つからないことに悩んでいる。</p>

大学まで行かせたいが、教育費が凄く掛かるので心配である。
子どもへの接し方に悩んでいる。
これから掛かる教育費が心配である。母子家庭で低収入だが、親と同居している為、児童扶養手当や医療費免除等が一切なく、しっかりした手当なのに、不正受給している人（婚姻関係があるのに離婚手続きをして不正受給している等）がいると自分は損している気分になる。
高校の学費と通学に伴う諸経費の捻出が不安である。ふじみ野市周辺に公営住宅が無い為、家賃が高い賃貸住宅から引っ越しをすることができない。
夫が週3回病院に行っている為、昼間に働くことができず、夜間に働いている。子どもを保育園に入れようとしたが、空いておらず窓口で断られて困ったので、もう少し家庭の状況を考えてほしい。今、幼稚園も無料化したので助かっている。周りはコロナウィルスで仕事が減っているようだが、元々収入が無い為、サポートを全く受けられないことが不安である。
家賃や税金（どんどん上がる高い年金、住民税等）を払えば、生活に必要なお金がなくなる。払っているから大丈夫ではなく、払っているから生活がきついことを理解してほしい。払っていない人の方が裕福に生活している事もある。
ふじみ野市は、他の市や区と比べて支援が少ないように感じる。一人親に対しての支援を検討してほしい。
生活を考えると、実家から出ること（引っ越し）ができない。ただ、子どもと高齢者の面倒をみることは大変なので、もし実家を出て高い家賃を負担した場合、食べるのみに困る状態になるのが怖い。
小学校2年生になった娘がいるが、コロナにより3/1～5/31まで休校になり、6/1から授業が始まった。毎日のように学校でテストがあるようなのだが、勉強に対する理解力が少なく、ついていけないようである。家で教えられることは一緒にやっているが、先生にわからないところを聞ける場を学校の授業以外につくってほしい。母子家庭なので、娘の将来が心配である。
誰も本気で相談なんか聞いてくれない。誰も助けてなんかくれない。
今の生活が精一杯で、子供を塾に行かせてあげられる余裕などは全くない。来层高3の子供もそれ以上の進学はさせてあげられないし、今年受験の子供もいるが、来年どうなるか心配しかない。学校の用事も優先したいので夜働いているが本当に心配しかない。本当は専門学校とかに行かせてあげたいが無理です。



第2章

児童・生徒向け調査



調査の概要

1. 調査の目的

小学5年生、中学2年生のみなさんに学校生活や家での過ごし方等をお聞きし、「第2期ふじみ野市子どもの未来応援プラン(ふじみ野市子どもの貧困対策推進計画)」策定のための基礎資料とするために実施しました。

2. 調査対象者

市内の公立小中学校に通う全小学5年生、全中学2年生

3. 調査方法、実施期間

調査方法：学校配布、学校回収

実施期間：令和2年7月1日(水) ～ 令和2年7月31日(金)

4. 地区別回収率

学 年	配布件数	有効回収件数	有効回収率
小学5年生	1,049 票	973 票	92.8%
中学2年生	998 票	914 票	91.6%
合 計	2,047 票	1,887 票	92.2%

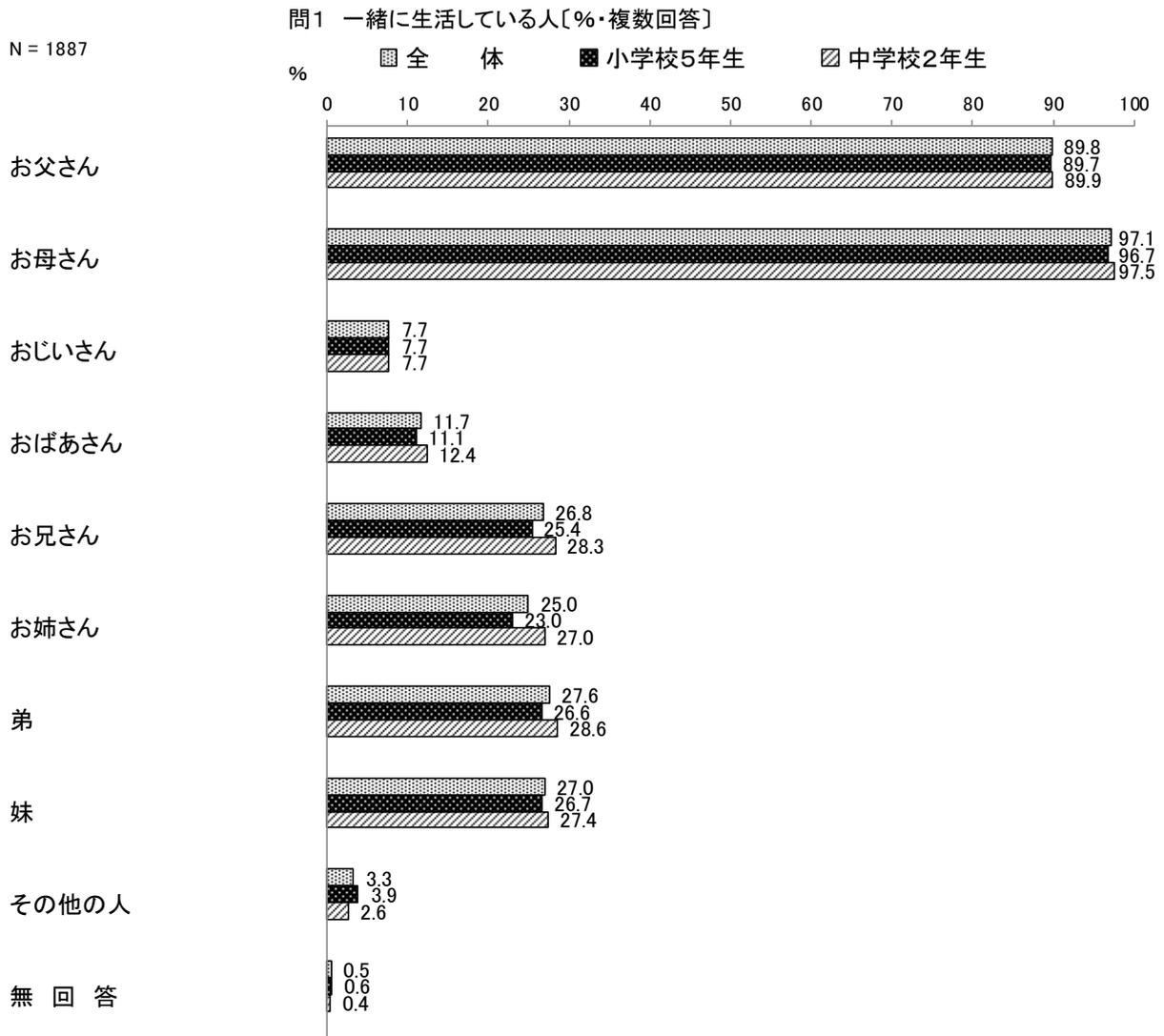
5. 報告書を読むにあたっての留意点

- 「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表しています。
- 「N」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。
- 百分率による集計では、回答者数を100%として算出し、本文及び図表の数字に関しては、全て小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表記しています。このため、全ての割合の合計が100%にならないことがあります。
また、複数回答（2つ以上選択）の設問では、全ての割合の合計が100%を超えることがあります。
- 図表中の「0.0」は、四捨五入の結果又は回答者が皆無であることを表します。
- クロス集計グラフでは、見やすさを優先し「0.0%」の数値表示を省略しているものがあります。

1. あなたの家族のことについて

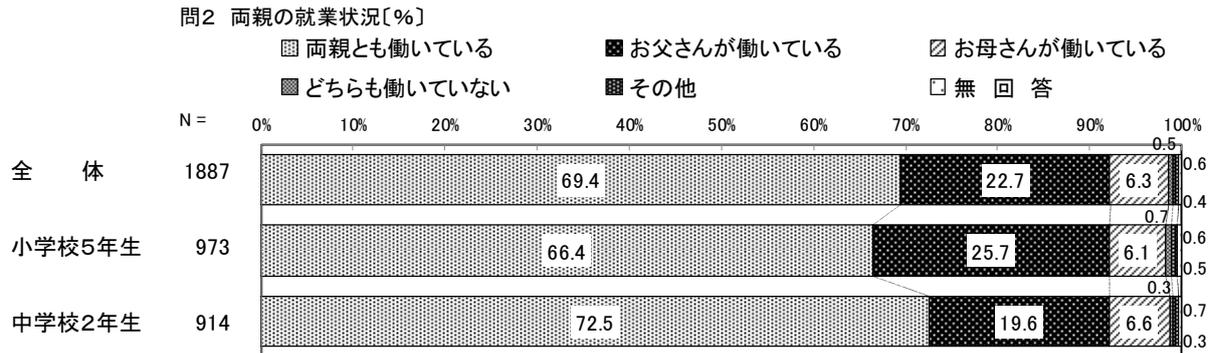
問1 あなたは、今だれと一緒に生活していますか。(あてはまるものすべてに○)

一緒に生活している人については、小学校5年生・中学校2年生ともに「お母さん」が97%前後、「お父さん」が約9割、「お兄さん」、「お姉さん」、「弟」、「妹」が25%前後、「おばあさん」が12%前後、「おじいさん」がともに7.7%となっています。



問2 あなたのお父さん、お母さんは家事以外のお仕事をしていますか。(○は1つだけ)

両親の就労状況については、小学校5年生では「両親とも働いている」が66.4%、「お父さんが働いている」が25.7%、「お母さんが働いている」が6.1%となっています。なお、「どちらも働いていない」は0.7%(7人)となっています。また、中学校2年生では「両親とも働いている」が72.5%、「お父さんが働いている」が19.6%、「お母さんが働いている」が6.6%となっています。なお、「どちらも働いていない」は0.3%(3人)となっています。



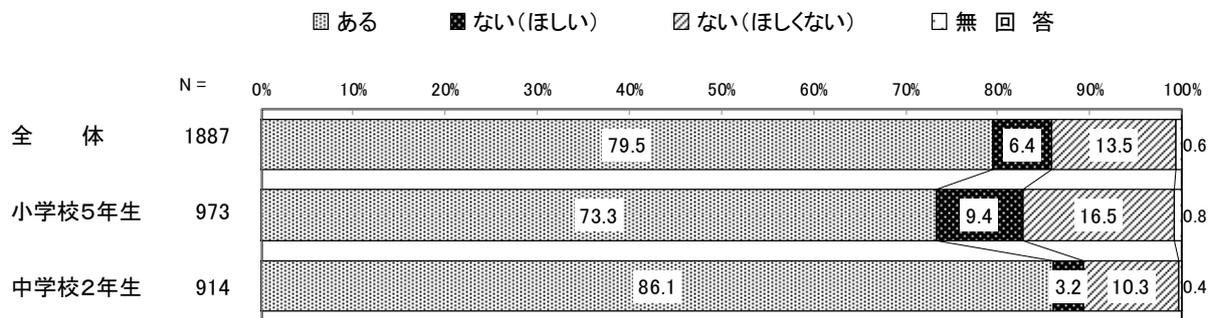
2. あなたのことについて

問3 あなたには、自分が使うことができる、次のものがありますか。(①～⑤それぞれ、あてはまる番号1つに○)

【①自分だけの本】

小学校5年生では「ある」が73.3%、「ない(ほしい)」が9.4%、「ない(ほしくない)」が16.5%となっています。また、中学校2年生では「ある」が86.1%、「ない(ほしい)」が3.2%、「ない(ほしくない)」が10.3%となっています。

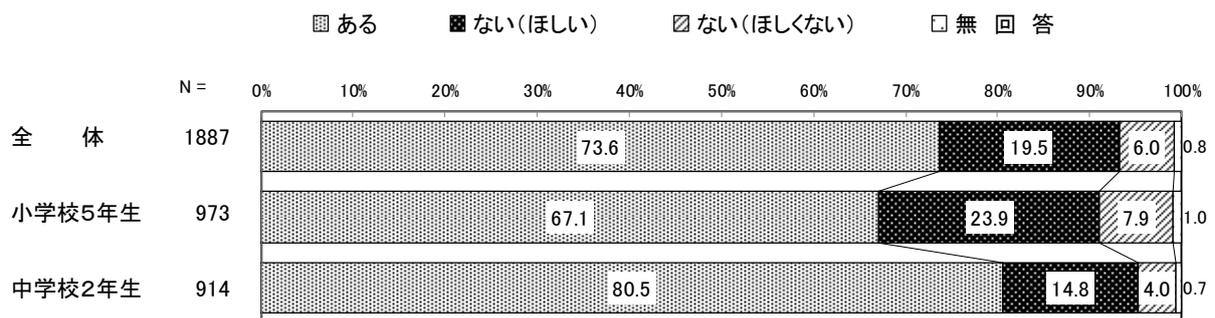
問3 使うことができる①自分だけの本[%]



【②子ども部屋】

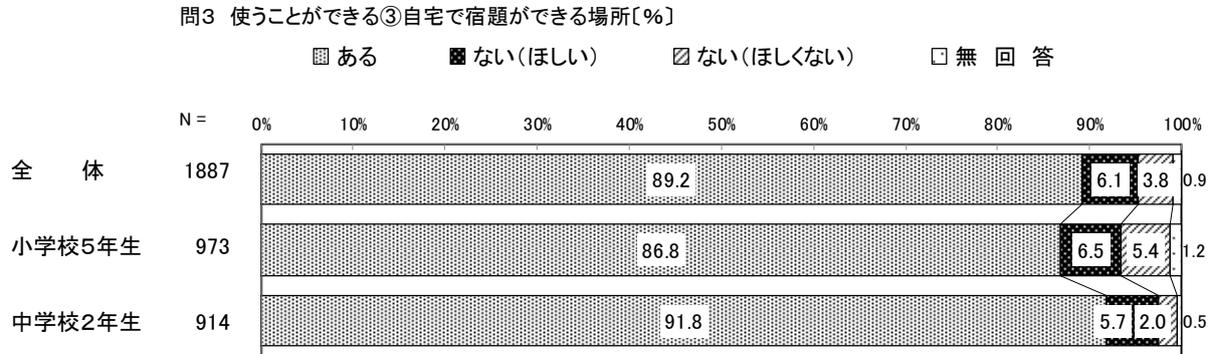
小学校5年生では「ある」が67.1%、「ない(ほしい)」が23.9%、「ない(ほしくない)」が7.9%となっています。また、中学校2年生では「ある」が80.5%、「ない(ほしい)」が14.8%、「ない(ほしくない)」が4.0%となっています。

問3 使うことができる②子ども部屋[%]



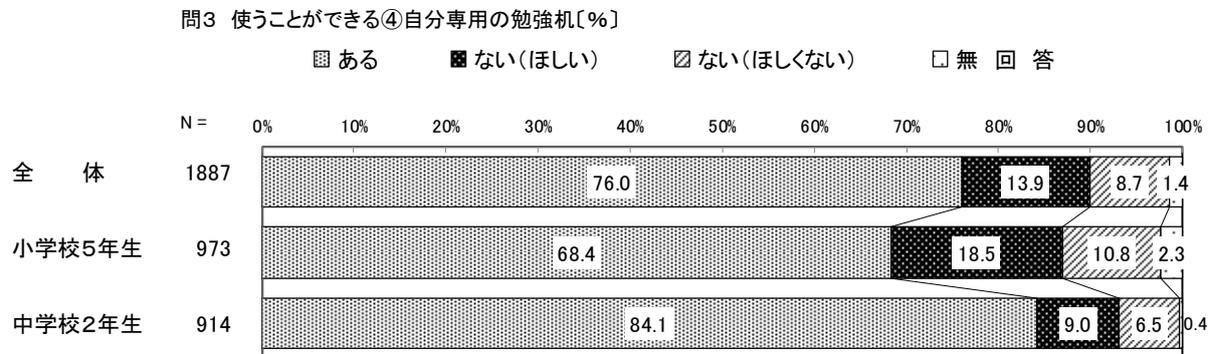
【③自宅で宿題をすることができる場所】

小学校5年生では「ある」が86.8%、「ない(ほしい)」が6.5%、「ない(ほしくない)」が5.4%となっています。また、中学校2年生では「ある」が91.8%、「ない(ほしい)」が5.7%、「ない(ほしくない)」が2.0%となっています。



【④自分専用の勉強机】

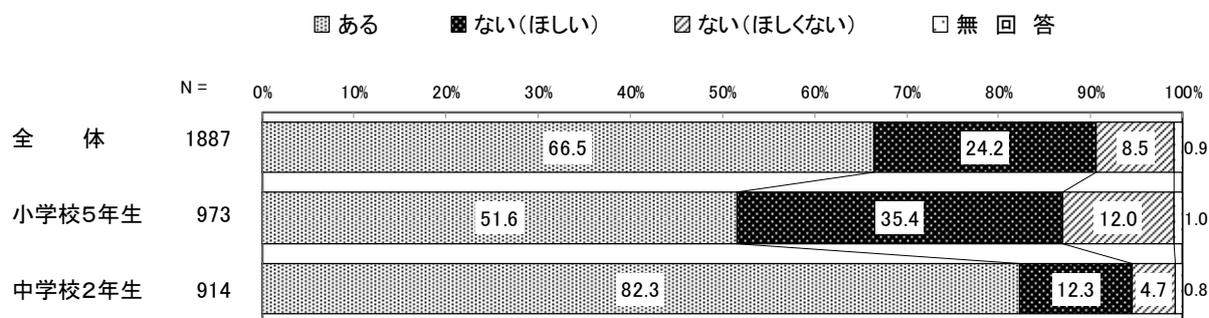
小学校5年生では「ある」が68.4%、「ない(ほしい)」が18.5%、「ない(ほしくない)」が10.8%となっています。また、中学校2年生では「ある」が84.1%、「ない(ほしい)」が9.0%、「ない(ほしくない)」が6.5%となっています。



【⑤けいたい電話、スマートフォン】

小学校5年生では「ある」が51.6%、「ない(ほしい)」が35.4%、「ない(ほしくない)」が12.0%となっています。また、中学校2年生では「ある」が82.3%、「ない(ほしい)」が12.3%、「ない(ほしくない)」が4.7%となっています。

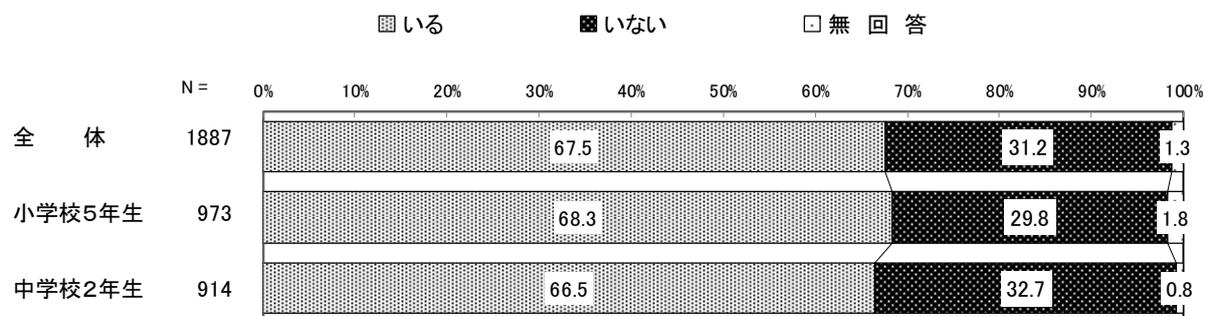
問3 使うことができる⑤けいたい電話、スマートフォン[%]



問4 あなたには、家族や学校・塾の先生以外で、相談できる大人や自分を大切にしてくれる大人はいますか。(○は1つだけ)

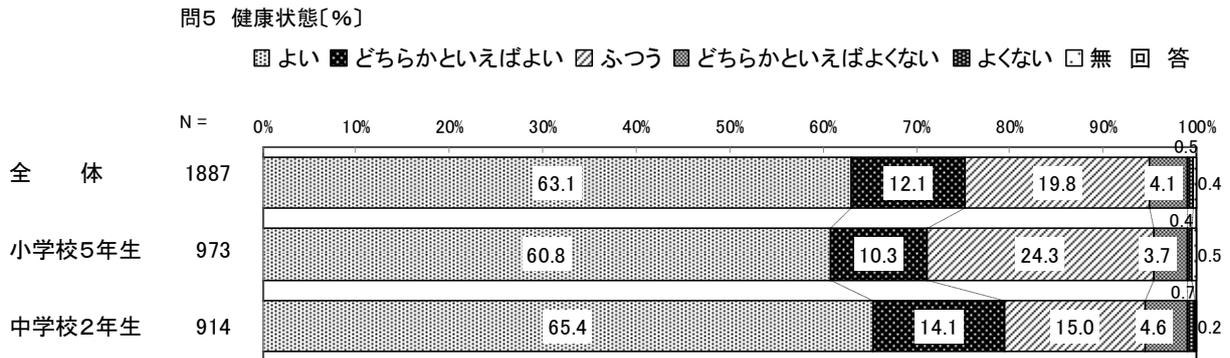
家族や学校・塾の先生以外で、相談できる大人や自分を大切にしてくれる大人の有無については、小学校5年生では「いる」が68.3%、「いない」が29.8%となっています。また、中学校2年生では「いる」が66.5%、「いない」が32.7%となっています。

問4 家族や先生以外で相談などができる大人[%]



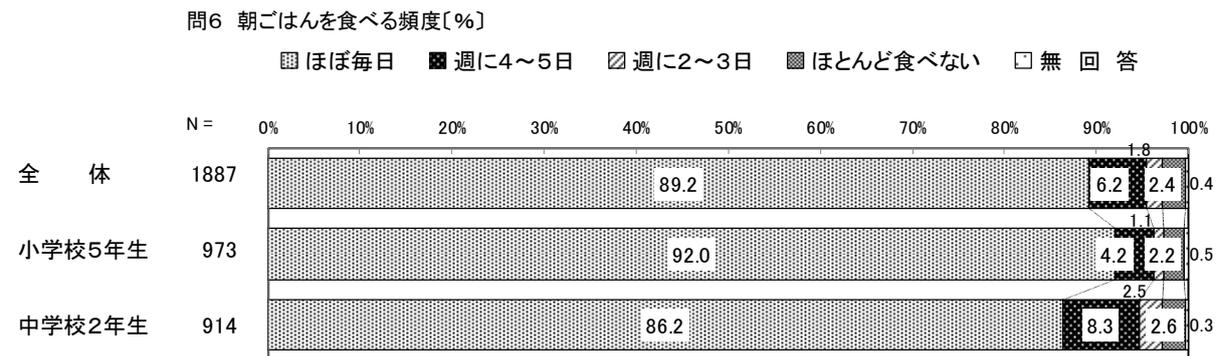
問5 あなたの健康状態は、次にうちどれにあてはまりますか。(○は1つだけ)

健康状態については、小学校5年生では「よい」と「どちらかといえばよい」を合わせた『よい』が71.1%、「ふつう」が24.3%、「どちらかといえばよくない」と「よくない」を合わせた『よくない』が4.1%となっています。また、中学校2年生では「よい」と「どちらかといえばよい」を合わせた『よい』が79.5%、「ふつう」が15.0%、「どちらかといえばよくない」と「よくない」を合わせた『よくない』が5.3%となっています。



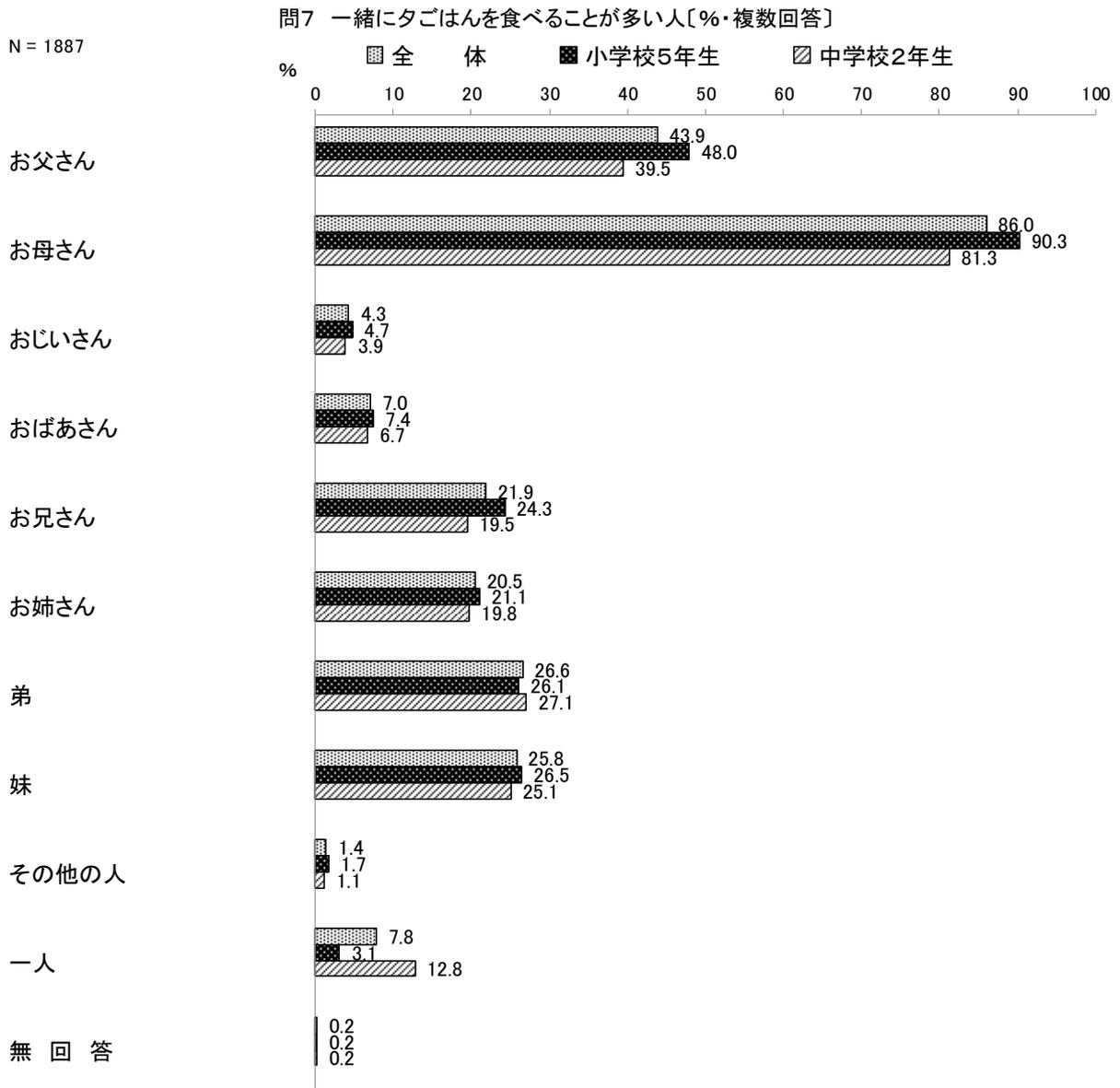
問6 あなたは朝ごはんを食べていますか。(○は1つだけ)

朝ごはんを食べる頻度については、小学校5年生では「ほぼ毎日」が92.0%、「週に4～5日」が4.2%、「週に2～3日」が1.1%となっています。なお、「ほとんど食べない」は2.2%となっています。また、中学校2年生では「ほぼ毎日」が86.2%、「週に4～5日」が8.3%、「週に2～3日」が2.5%となっています。なお、「ほとんど食べない」は2.6%となっています。



問7 あなたには、だれと一緒に夕ごはんを食べることが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

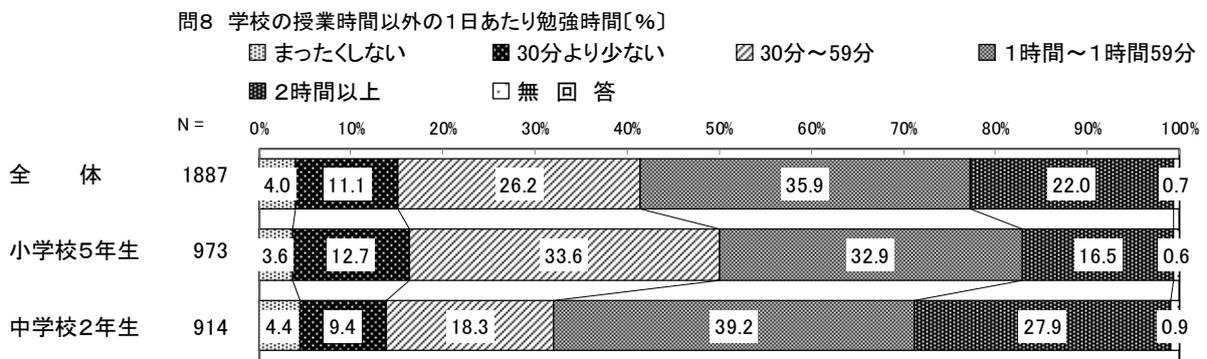
夕ごはんを食べることが多い人については、小学校5年生では「お母さん」が90.3%、「お父さん」が48.0%、「お兄さん」、「お姉さん」、「弟」、「妹」が25%前後、「おじいさん」、「おばあさん」が10%以下となっています。また、中学校2年生では「お母さん」が81.3%、「お父さん」が39.5%、「弟」、「妹」が25%前後、「お兄さん」、「お姉さん」が約2割、「おじいさん」、「おばあさん」が10%以下となっています。



3. 学校や勉強のことについて

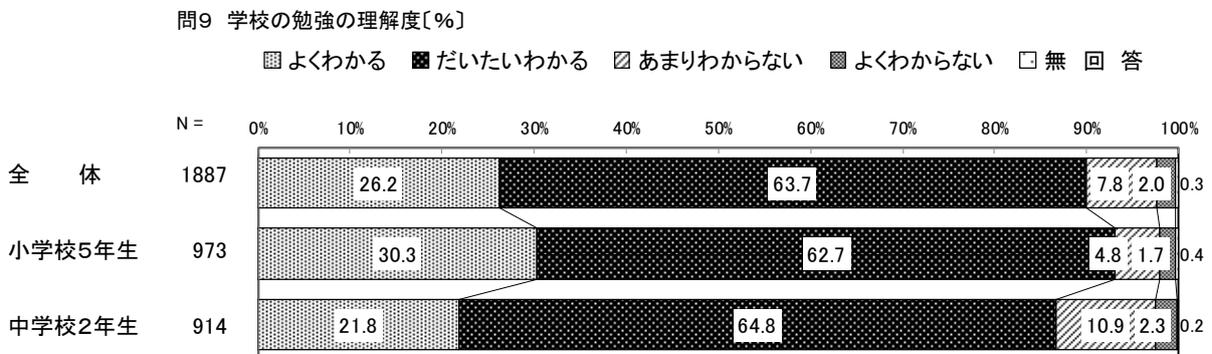
問8 あなたは、学校の授業時間以外に、1日あたりどのくらい勉強をしますか。(○は1つだけ)

学校の授業時間以外の1日あたりの勉強時間については、小学校5年生では「30分～59分」が33.6%と最も高く、次いで「1時間～1時間59分」が32.9%、「2時間以上」が16.5%、「30分より少ない」が12.7%となっています。なお、「まったくしない」は3.6%となっています。また、中学校2年生では「1時間～1時間59分」が39.2%と最も高く、次いで「2時間以上」が27.9%、「30分～59分」が18.3%、「30分より少ない」が9.4%となっています。なお、「まったくしない」は4.4%となっています。



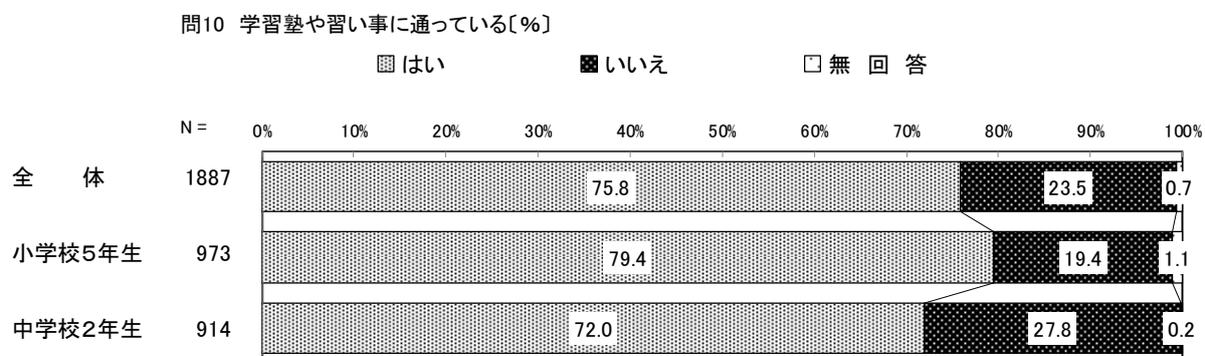
問9 あなたは、学校の勉強がどのくらいわかりますか。(○は1つだけ)

学校の勉強の理解度については、小学校5年生では「よくわかる」と「だいたいわかる」を合わせた『わかる』が93.0%、「あまりわからない」と「よくわからない」を合わせた『わからない』が6.5%となっています。また、中学校2年生では「よくわかる」と「だいたいわかる」を合わせた『わかる』が86.6%、「あまりわからない」と「よくわからない」を合わせた『わからない』が13.2%となっています。



問 10 あなたは、学習塾や習い事に通っていますか。(〇は1つだけ)

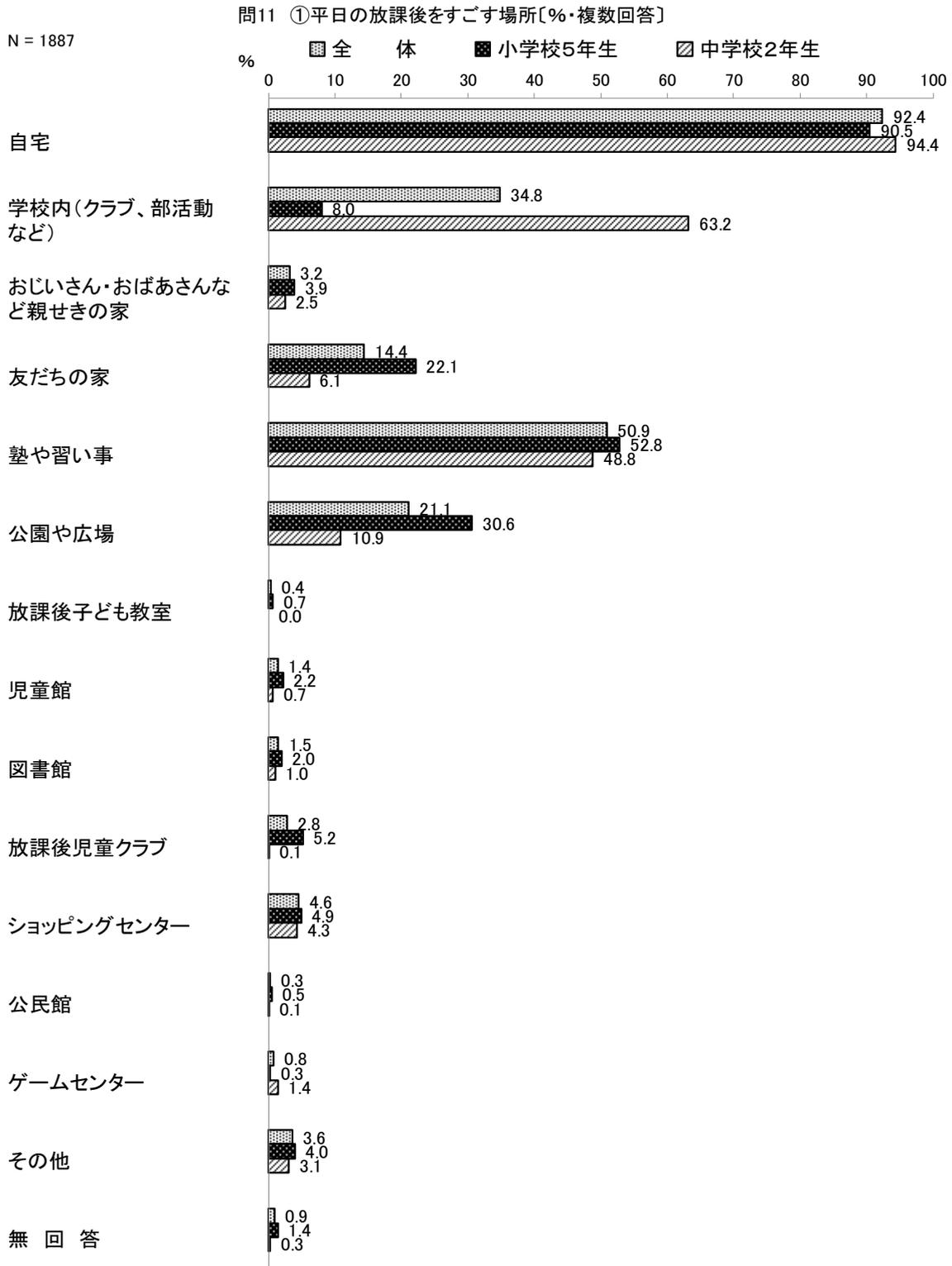
学習塾や習い事に通っているかどうかについては、小学校5年生では「はい」が79.4%、「いいえ」が19.4%となっています。また、中学校2年生では「はい」が72.0%、「いいえ」が27.8%となっています。



問11 あなたは、平日の放課後、休日の午後は主にどこですごすことが多いですか。(それぞれ、あてはまる番号3つ以内を記入)

【①平日の放課後】

平日の放課後を過ごす場所については、小学校5年生では「自宅」が90.5%と最も高く、次いで「塾や習い事」が52.8%、「公園や広場」が30.6%、「友だちの家」が22.1%となっています。また、中学校2年生では「自宅」が94.4%と最も高く、次いで「学校内(クラブ、部活動など)」が63.2%、「塾や習い事」が48.8%、「公園や広場」が10.9%となっています。



小学校5年生

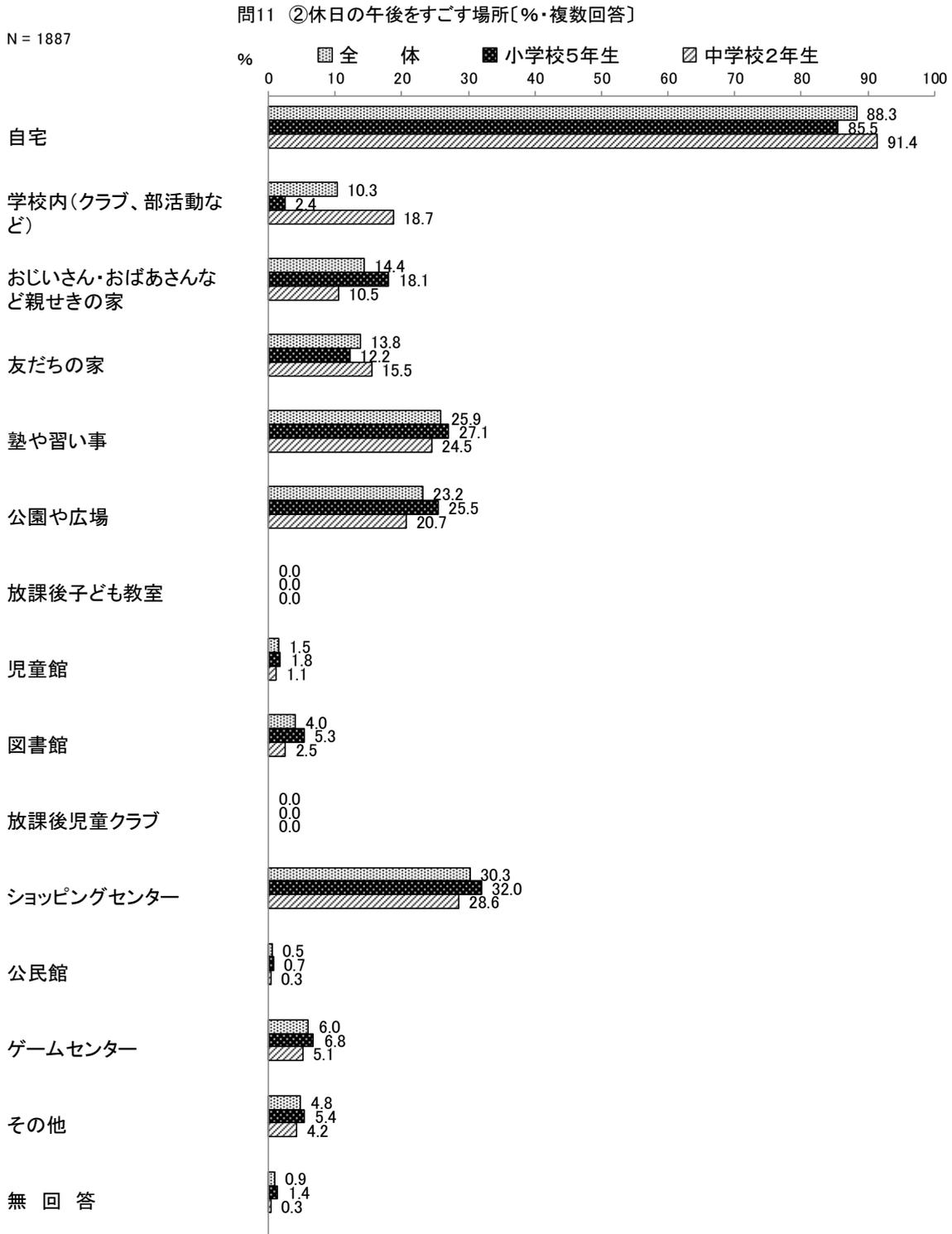
順位	項目	割合
1	自宅	90.5
2	塾や習い事	52.8
3	公園や広場	30.6
4	友だちの家	22.1
5	学校内(クラブ、部活動など)	8.0

中学校2年生

順位	項目	割合
1	自宅	94.4
2	学校内(クラブ、部活動など)	63.2
3	塾や習い事	48.8
4	公園や広場	10.9
5	友だちの家	6.1

【②休日の午後】

休日の放課後を過ごす場所については、小学校5年生では「自宅」が85.5%と最も高く、次いで「ショッピングセンター」が32.0%、「塾や習い事」が27.1%、「公園や広場」が25.5%、「おじいさん、おばあさんなど親せきの家」が18.1%となっています。また、中学校2年生では「自宅」が91.4%と最も高く、次いで「ショッピングセンター」が28.6%、「塾や習い事」が24.5%、「公園や広場」が20.7%、「学校内(クラブ、部活動など)」が18.7%となっています。



小学校5年生

順位	項目	割合
1	自宅	85.5
2	ショッピングセンター	32.0
3	塾や習い事	27.1
4	公園や広場	25.5
5	おじいさん、おばあさんなど 親せきの家	18.1

中学校2年生

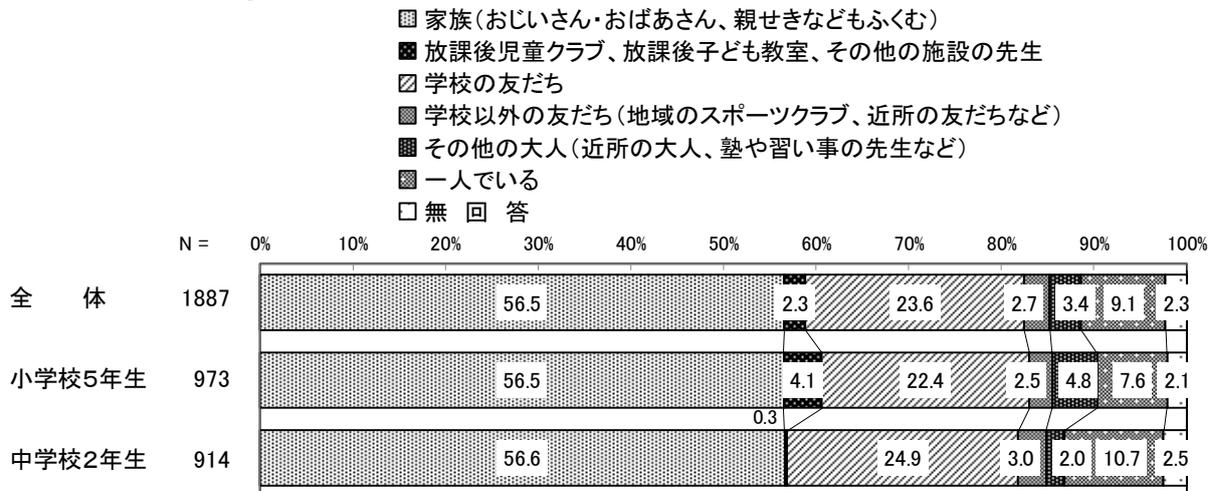
順位	項目	割合
1	自宅	91.4
2	ショッピングセンター	28.6
3	塾や習い事	24.5
4	公園や広場	20.7
5	学校内(クラブ、部活動など)	18.7

問12 あなたは、平日の放課後、休日の午後はだれとすごすことが多いですか。(それぞれ、あてはまる番号1つを記入)

【①平日の放課後】

平日の放課後を過ごす人については、小学校5年生では「家族(おじいさん・おばあさん、親せきなどもふくむ)」が56.5%、「学校の友だち」が22.4%の順となっています。なお、「一人である」は7.6%となっています。また、中学校2年生では「家族(おじいさん・おばあさん、親せきなどもふくむ)」が56.6%、「学校の友だち」が24.9%の順となっています。なお、「一人である」は10.7%となっています。

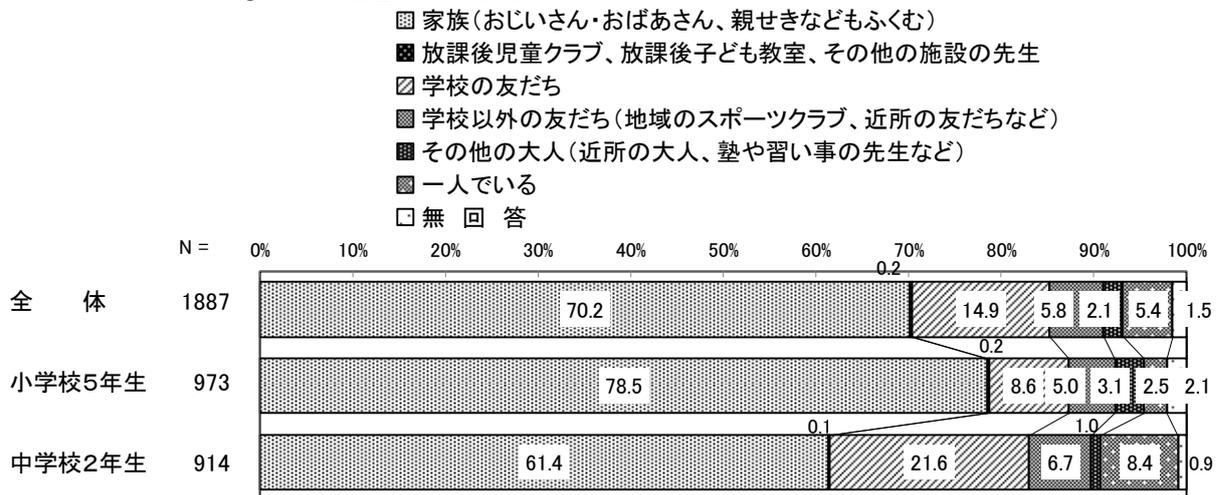
問12 ①平日の放課後を過ごす人[%]



【②休日の午後】

休日の放課後を過ごす人については、小学校5年生では「家族(おじいさん・おばあさん、親せきなどもふくむ)」が78.5%、「学校の友だち」が8.6%の順となっています。なお、「一人である」は2.5%となっています。また、中学校2年生では「家族(おじいさん・おばあさん、親せきなどもふくむ)」が61.4%、「学校の友だち」が21.6%の順となっています。なお、「一人である」は8.4%となっています。

問12 ②休日の午後を過ごす人[%]



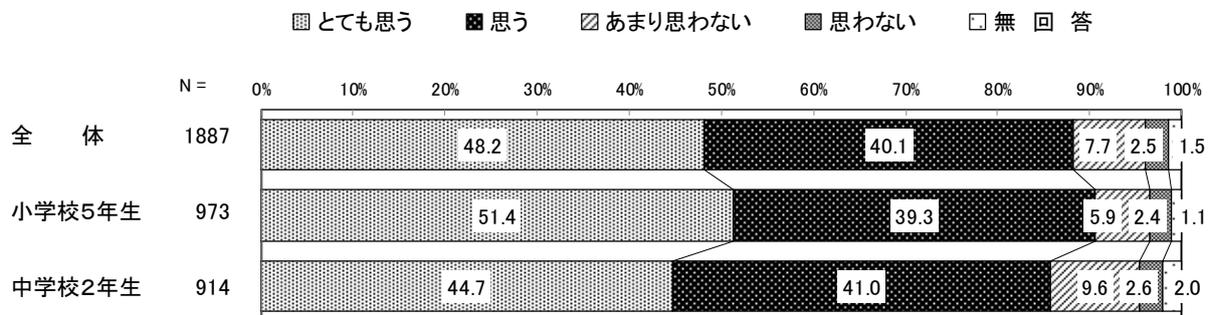
4. あなたが考えていることについて

問13 あなたは、次の①～⑧について、どう思いますか。(①～⑧それぞれ、あてはまる番号1つに○)

【①がんばれば、いい結果が出る】

小学校5年生では「とても思う」と「思う」を合わせた『思う』が90.7%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『思わない』が8.3%となっています。また、中学校2年生では「とても思う」と「思う」を合わせた『思う』が85.7%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『思わない』が12.2%となっています。

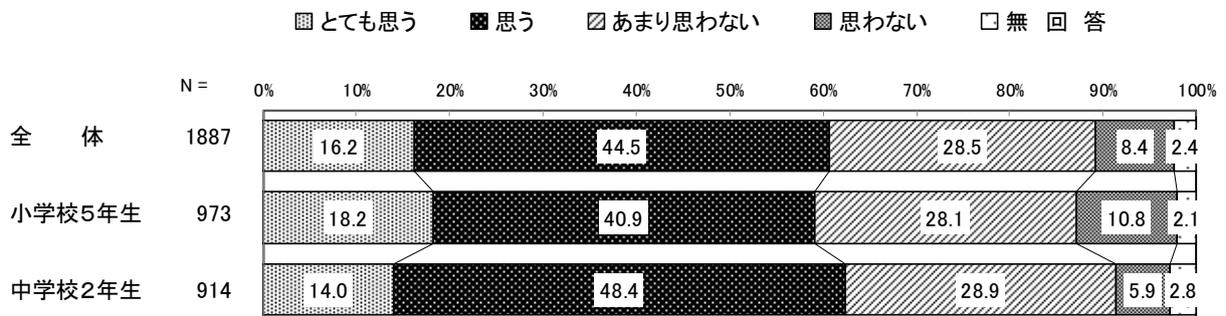
問13 ①がんばれば、いい結果が出る[%]



【②自分は必要とされる人間だ】

小学校5年生では「とても思う」と「思う」を合わせた『思う』が59.1%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『思わない』が38.9%となっています。また、中学校2年生では「とても思う」と「思う」を合わせた『思う』が62.4%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『思わない』が34.8%となっています。

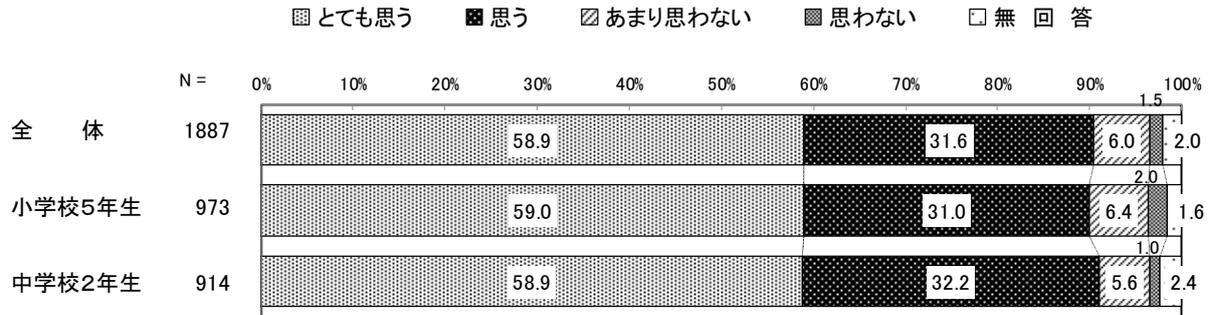
問13 ②自分は必要とされる人間だ[%]



【③家族に大事にされている】

小学校5年生では「とても思う」と「思う」を合わせた『思う』が90.0%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『思わない』が8.4%となっています。また、中学校2年生では「とても思う」と「思う」を合わせた『思う』が91.1%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『思わない』が6.6%となっています。

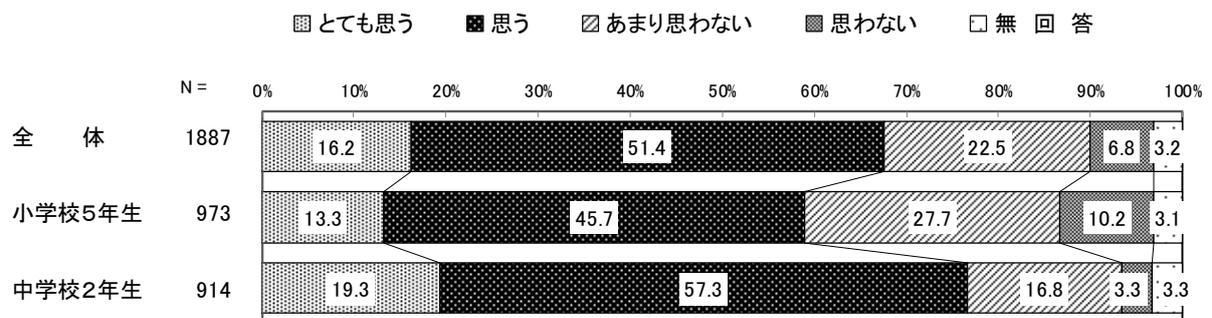
問13 ③家族に大事にされている〔%〕



【④自分は友だちに好かれている】

小学校5年生では「とても思う」と「思う」を合わせた『思う』が59.0%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『思わない』が37.9%となっています。また、中学校2年生では「とても思う」と「思う」を合わせた『思う』が76.6%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『思わない』が20.1%となっています。

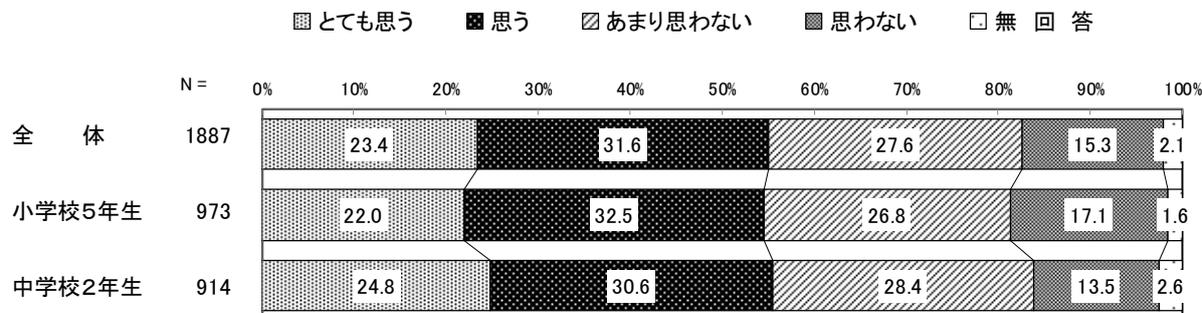
問13 ④自分は友だちに好かれている〔%〕



【⑤不安に感じることはない】

小学校5年生では「とても思う」と「思う」を合わせた『思う』が54.5%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『思わない』が43.9%となっています。また、中学校2年生では「とても思う」と「思う」を合わせた『思う』が55.4%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『思わない』が41.9%となっています。

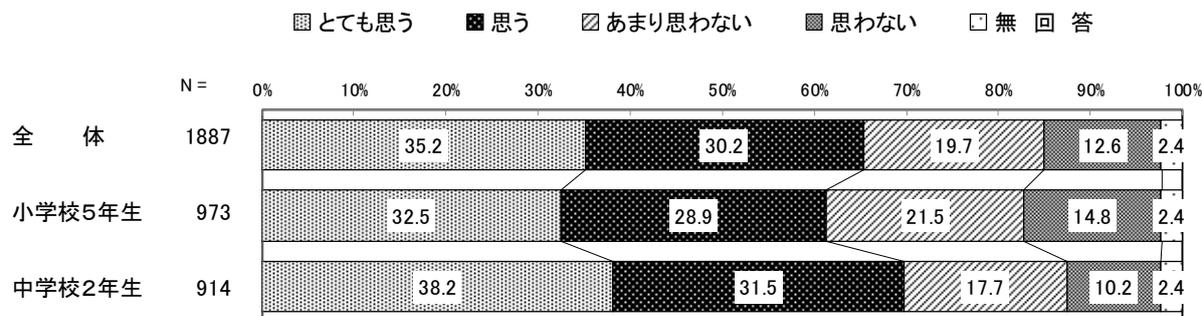
問13 ⑤不安に感じることはない[%]



【⑥孤独を感じることはない】

小学校5年生では「とても思う」と「思う」を合わせた『思う』が61.4%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『思わない』が36.3%となっています。また、中学校2年生では「とても思う」と「思う」を合わせた『思う』が69.7%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『思わない』が27.9%となっています。

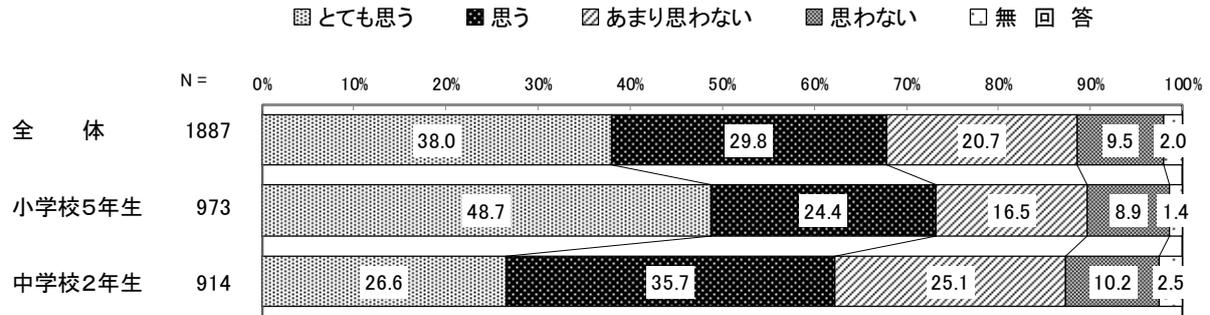
問13 ⑥孤独を感じることはない[%]



【⑦自分の将来が楽しみだ】

小学校5年生では「とても思う」と「思う」を合わせた『思う』が73.1%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『思わない』が25.4%となっています。また、中学校2年生では「とても思う」と「思う」を合わせた『思う』が62.3%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『思わない』が35.3%となっています。

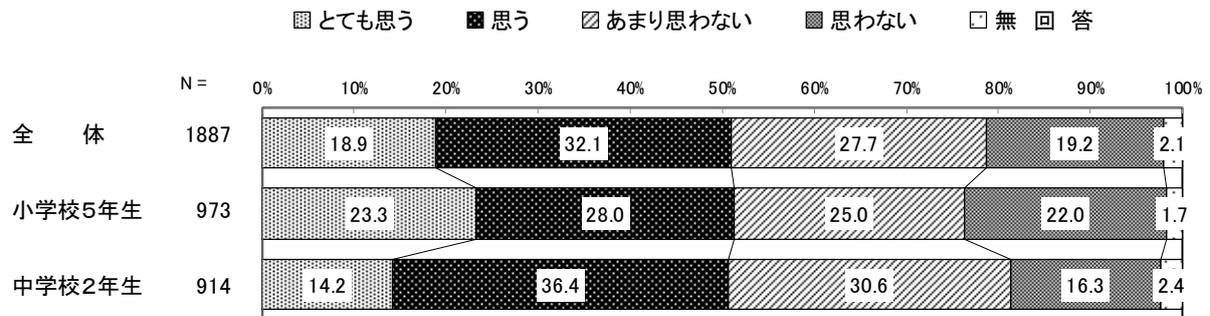
問13 ⑦自分の将来が楽しみだ[%]



【⑧自分のことが好きだ】

小学校5年生では「とても思う」と「思う」を合わせた『思う』が51.3%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『思わない』が47.0%となっています。また、中学校2年生では「とても思う」と「思う」を合わせた『思う』が50.6%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『思わない』が46.9%となっています。

問13 ⑧自分のことが好きだ[%]

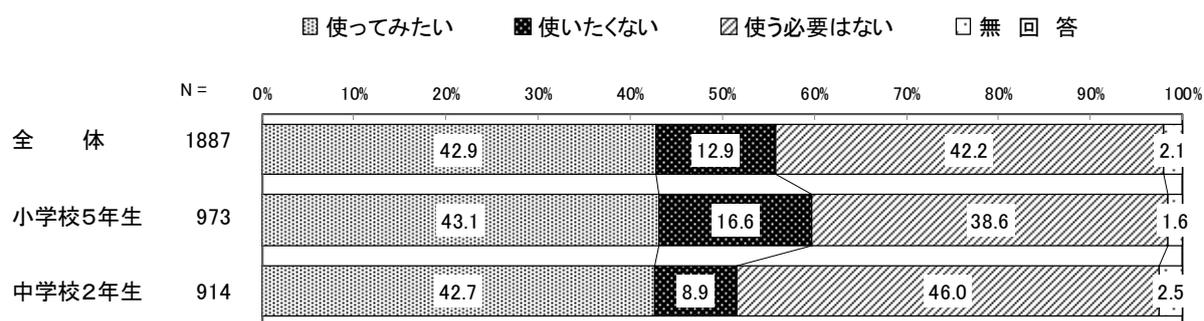


問 14 あなたは、次のような場所があれば使ってみたいと思いますか。(①～⑥それぞれ、あてはまる番号 1 つに○)

【①（自宅以外で）平日の放課後に夕方までいることができる場所】

小学校 5 年生では「使ってみたい」が 43.1%、「使いたくない」が 16.6%、「使う必要はない」が 38.6%となっています。また、中学校 2 年生では「使ってみたい」が 42.7%、「使いたくない」が 8.9%、「使う必要はない」が 46.0%となっています。

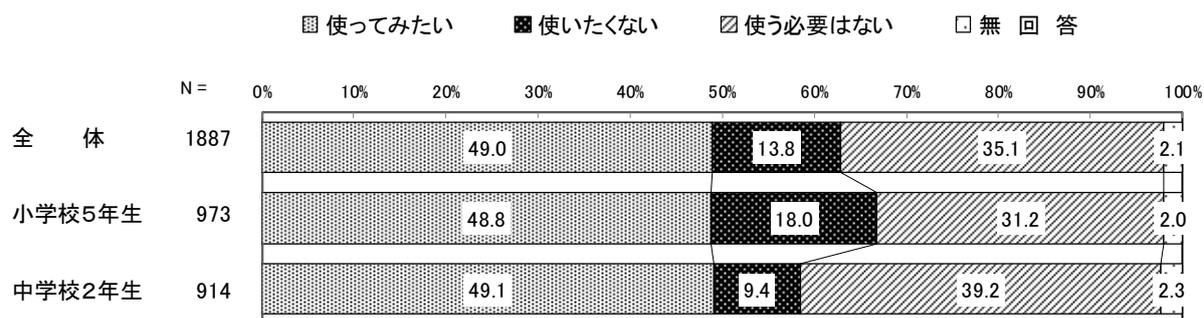
問14 ①平日の放課後に夕方までいることができる場所[%]



【②（自宅以外で）休日にいることができる場所】

小学校 5 年生では「使ってみたい」が 48.8%、「使いたくない」が 18.0%、「使う必要はない」が 31.2%となっています。また、中学校 2 年生では「使ってみたい」が 49.1%、「使いたくない」が 9.4%、「使う必要はない」が 39.2%となっています。

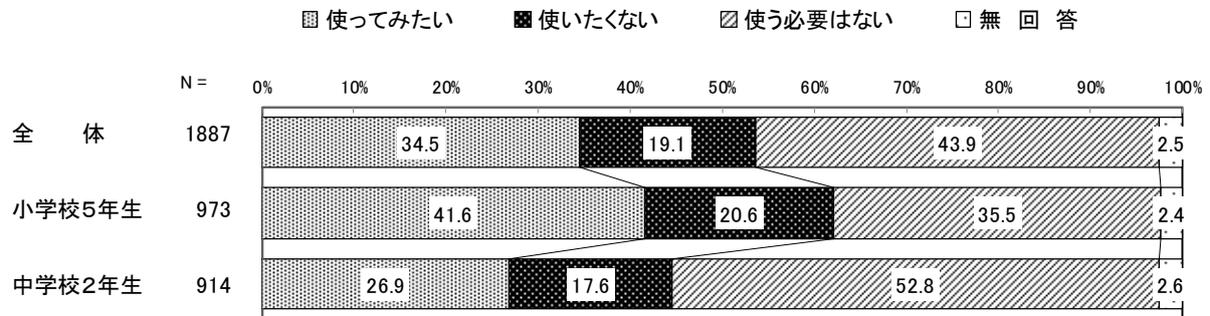
問14 ②(自宅以外で)休日にいることができる場所[%]



【③自宅に人がいないとき、夕ごはんをみんなで食べることができる場所】

小学校5年生では「使ってみたい」が41.6%、「使いたくない」が20.6%、「使う必要はない」が35.5%となっています。また、中学校2年生では「使ってみたい」が26.9%、「使いたくない」が17.6%、「使う必要はない」が52.8%となっています。

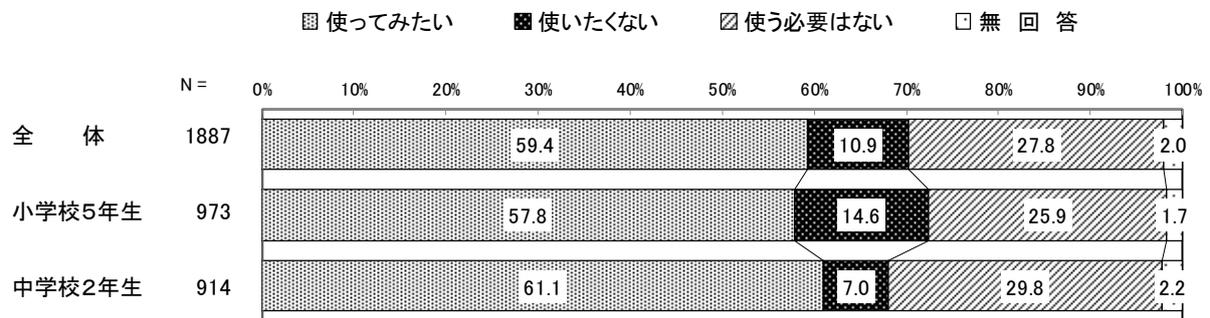
問14 ③夕ごはんをみんなで食べることができる場所[%]



【④自宅で勉強できないとき、静かに勉強ができる場所】

小学校5年生では「使ってみたい」が57.8%、「使いたくない」が14.6%、「使う必要はない」が25.9%となっています。また、中学校2年生では「使ってみたい」が61.1%、「使いたくない」が7.0%、「使う必要はない」が29.8%となっています。

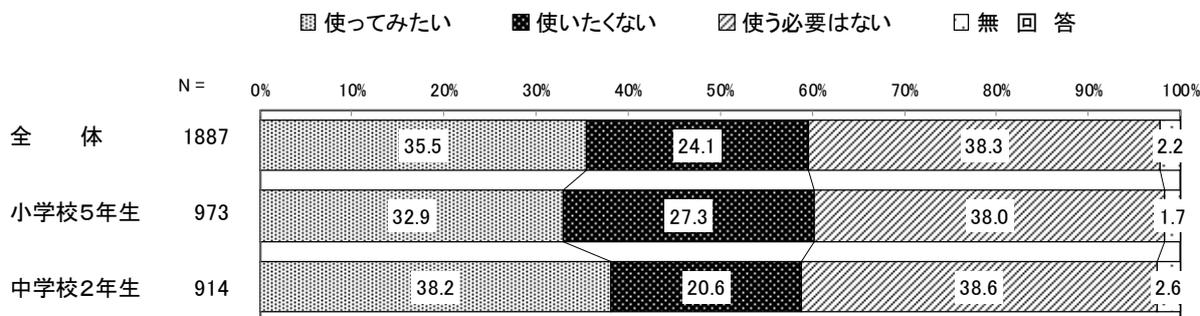
問14 ④自宅で勉強できないとき、静かに勉強ができる場所[%]



【⑤大学生のお兄さんやお姉さんが、勉強を無料でみてくれる場所】

小学校5年生では「使ってみたい」が32.9%、「使いたくない」が27.3%、「使う必要はない」が38.0%となっています。また、中学校2年生では「使ってみたい」が38.2%、「使いたくない」が20.6%、「使う必要はない」が38.6%となっています。

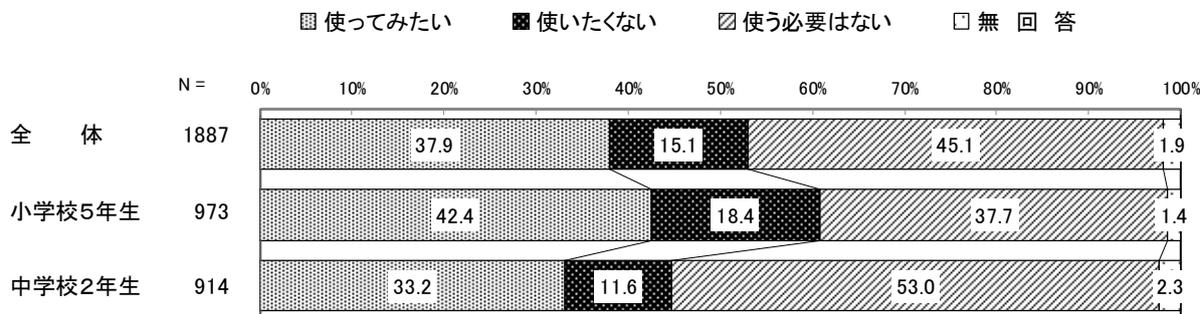
問14 ⑤大学生が、勉強を無料でみてくれる場所[%]



【⑥（学校以外で）何でも相談できる場所】

小学校5年生では「使ってみたい」が42.4%、「使いたくない」が18.4%、「使う必要はない」が37.7%となっています。また、中学校2年生では「使ってみたい」が33.2%、「使いたくない」が11.6%、「使う必要はない」が53.0%となっています。

問14 ⑥(学校以外で)なんでも相談できる場所[%]

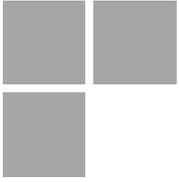


【全体】

小学校5年生では、「⑤大学生が、勉強を無料でみてくれる場所」を除くすべての項目で「使ってみたい」が最も高くなっています。また、中学校2年生では、「②(自宅以外で)休日にいることができる場所」、「④自宅で勉強ができないとき、静かに勉強ができる場所」が最も高くなっています。特に両学年とも、「④自宅で勉強ができないとき、静かに勉強ができる場所」がそれぞれ57.8%、61.1%と約6割と高くなっています。

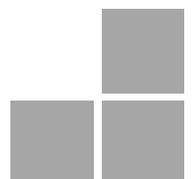
	小学校5年生			
	使ってみたい	使いたくない	使う必要はない	無回答
①平日の放課後に夕方までいることができる場所	43.1	16.6	38.6	1.6
②(自宅以外で)休日にいることができる場所	48.8	18.0	31.2	2.0
③夕ごはんをみんなで食べることができる場所	41.6	20.6	35.5	2.4
④自宅で勉強ができないとき、静かに勉強ができる場所	57.8	14.6	25.9	1.7
⑤大学生が、勉強を無料でみてくれる場所	32.9	27.3	38.0	1.7
⑥(学校以外で)なんでも相談できる場所	42.4	18.4	37.7	1.4

	中学校2年生			
	使ってみたい	使いたくない	使う必要はない	無回答
①平日の放課後に夕方までいることができる場所	42.7	8.9	46.0	2.5
②(自宅以外で)休日にいることができる場所	49.1	9.4	39.2	2.3
③夕ごはんをみんなで食べることができる場所	26.9	17.6	52.8	2.6
④自宅で勉強ができないとき、静かに勉強ができる場所	61.1	7.0	29.8	2.2
⑤大学生が、勉強を無料でみてくれる場所	38.2	20.6	38.6	2.6
⑥(学校以外で)なんでも相談できる場所	33.2	11.6	53.0	2.3



第3章

ヒアリング調査



調査の概要

1. 市内に住む0歳から18歳の子どもがいる保護者等

(1)調査実施の目的

第2期ふじみ野市子どもの未来応援プランの策定にあたり、困難な状況にある子どもを持つ家庭の実態、子どもの状況を聴取し、今後の課題や求められる支援等を整理し、基礎資料とすることを目的とする。

(2)調査対象

支援を必要とする方 10名程度

(3)調査方法

調査対象者（ひとり親家庭、子どもの学習支援教室利用世帯、障がいのある子どもの保護者等）から就労・生活状況、子どものさまざまな状況や要望について聞き取りを実施する。

(4)-1 調査項目【保護者】

(1)保護者（ひとり親家庭、ふたり親家庭）への就労支援

- ・雇用形態の状況
- ・企業に求めること(育休制度、看護休暇、短時間勤務制度等の労働環境の整備)
- ・よりよい条件で就労するために必要な自身のスキルアップと制度の利用
- ・就労全般について市等公的機関に支援してもらいたいこと

(2)保護者への生活支援

- ・経済的な状況
- ・生活(衣食住)で困っていること
- ・生活全般について市等公的機関に支援してもらいたいこと

(3)子どもへの支援

- ・学習、さまざまな体験状況
- ・食事等基本的な生活習慣
- ・放課後、土曜、日曜・祝日、長期休業の過ごし方
- ・保育所(園)、小・中学校への要望、市等公的機関への要望

(4)その他

(4)-2 調査項目【19歳～24歳】

◆学生

(1)現状把握

- ・①一人暮らしか②親と同居か
- ・生活費、学費はどうしているのか 奨学金をもらっているか、アルバイトをしているか等
- ・自分で生活費、学費を捻出している場合、どのように収入を得ているのか

(2)学生に対して支援してもらいたいこと

(3)今後、就職に向けて支援してもらいたいこと

(4)その他

◆社会人

(1)現状把握

- ・①一人暮らしか②親と同居か
- ・現在の経済的状況

(2)若者(社会人)に対して支援してもらいたいこと

(3)その他

2. 子どもの支援に係る関係団体

(1)調査実施の目的

第2期ふじみ野市子どもの未来応援プランの策定にあたり、貧困の状態にある子どもやその家庭の実態、支援のあり方や課題等について聴取を行うことにより、現状や今後求められる支援等を整理し、基礎資料とすることを目的とする。

(2)調査対象

市内の教育機関、放課後児童クラブ等の子育て支援機関、関係機関、庁内の関係各課、NPO団体等

①教育・保育機関

区 分	調査対象
市立保育所	全保育所
私立保育園	数か所
小 学 校	数か所
中 学 校	数か所
教育委員会	スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー

②子育て支援関連団体

区 分	調査対象
子育て支援関連団体	児童センター指定管理事業者、放課後児童クラブ指定管理事業者、ふじみ野市児童発育・発達支援センター運営事業者、子ども食堂運営従事者、放課後子ども教室推進事業協力者

③行政・福祉関連団体

区 分	調査対象
行 政	福祉課、福祉総合支援チーム、子育て支援課、保健センター、市民総合相談室
福祉関連団体 ・関連機関	ふじみ野市社会福祉協議会、ふじみ野市民生委員・児童委員協議会連合会、生活困窮者自立相談支援事業・被保護就労支援事業委託事業者、子どもの学習・生活支援事業委託事業者
NPO法人等	DV被害者支援団体、障がい者団体、外国人支援団体

(3)調査方法

調査対象である教育機関、関連団体等へ訪問し、貧困の状態にある児童・生徒の把握、状況について把握されている代表者・担当者・教諭等から聞き取りを実施する。

(4)調査項目

①教育・保育機関
<p>(1)生活困難な状況を抱えている子ども・家庭の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・困難な環境にある子ども・家庭の置かれている状況 (生活習慣、学習習慣、意欲、進路状況、保護者の特徴等) <p>(2)生活困難な状況を抱えている子ども・家庭への関わり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気になる子どもや保護者に対する対応 ・子どもや保護者からの相談の有無、相談内容、相談内容に対する対応 ・これまでの支援に対して、効果があったと思うこと（保護者・子どもの様子の変化など） ・困難な環境にある子どもやその保護者への支援にあたっての難しい、困難な点 <p>(3)他の機関との連携、支援ネットワークの必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育・保育機関としてできること ・関係機関との情報共有、連携(つなぎ)、支援ネットワークの仕組みづくり <p>(4)市等公的機関に対して期待する取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援を行う上で、県や市等公的機関に求めること（施策や役割など） <p>(5)その他</p>
②子育て支援関連団体
<p>(1)生活困難な状況を抱えている子ども・家庭の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・困難な環境にある子ども・家庭の置かれている状況 (生活習慣、学習習慣、意欲、進路状況、保護者の特徴等) <p>(2)生活困難な状況を抱えている子ども・家庭への関わり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気になる子どもや保護者に対する対応 ・子どもや保護者からの相談の有無、相談内容、相談内容に対する対応 ・これまでの支援に対して、効果があったと思うこと（保護者・子どもの様子の変化など） ・困難な環境にある子どもやその保護者への支援にあたっての難しい、困難な点 <p>(3)他の機関との連携、支援ネットワークの必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援団体の活動の中で、困難な環境にある子ども・保護者が参加しやすいような対策（工夫をしている内容等） ・地域の方々や学校等の支援機関から、子どもや保護者を繋いでもらったことの有無、その内容 ・関係機関との情報共有、連携(つなぎ)、支援ネットワークの仕組みづくり <p>(4)市等公的機関に対して期待する取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援を行う上で、県や市等公的機関に求めること（施策や役割など） <p>(5)その他</p>
③行政・福祉関連団体
<p>(1)生活困難な状況を抱えている子ども・家庭の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・困難な環境にある子ども・家庭の置かれている状況 (生活習慣、学習習慣、意欲、進路状況、保護者の特徴等) <p>(2)生活困難な状況を抱えている子ども・家庭への関わり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気になる子どもや保護者に対する対応 ・子どもや保護者からの相談の有無、相談内容、相談内容に対する対応 ・これまでの支援に対して、効果があったと思うこと（保護者・子どもの様子の変化など） ・困難な環境にある子どもやその保護者への支援にあたっての難しい、困難な点 <p>(3)他の機関との連携、支援ネットワークの必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援団体の活動の中で、困難な環境にある子ども・保護者が参加しやすいような対策（工夫をしている内容等） ・地域の方々や学校、支援関連団体等から、子どもや保護者を繋いでもらったことの有無、その内 ・関係機関との情報共有、連携(つなぎ)、支援ネットワークの仕組みづくり <p>(4)市等公的機関に対して期待する取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援を行う上で、県や市等公的機関に求めること（施策や役割など） <p>(5)その他</p>

子どものいる世帯の生活状況等に関する調査 結果報告書

発行年月：令和3年3月

発行：ふじみ野市

編集：ふじみ野市 福祉部 福祉総合支援チーム

所在地：〒356-8501 ふじみ野市福岡 1-1-1

電話：049-261-2611（代表）